

# 福島県避難地域広域公共交通計画

令和5年3月

福島県

## 目 次

<b>第1章 計画の位置付け</b>	1
1-1 計画策定の趣旨と背景	
1-2 県の上位計画・関連計画との関係	
1-3 計画期間	
1-4 計画の区域	
1-5 計画の対象	
<b>第2章 避難地域12市町村の現状</b>	7
2-1 避難地域12市町村における復興の現状	
2-2 人口動態(住民の帰還状況)	
2-3 気象・自然環境	
2-4 産業・観光の現状	
2-5 自動車保有台数、免許保有者数・返納者数の状況	
<b>第3章 避難地域12市町村における地域公共交通の現状・課題</b>	32
3-1 地域公共交通の概況	
3-2 福島県避難地域広域公共交通網形成計画の達成状況評価	
3-3 福島県避難地域広域公共交通網形成計画の総括	
3-4 広域公共交通の課題	
<b>第4章 基本目標</b>	58
4-1 避難地域12市町村における広域公共交通の意義・役割	
4-2 広域公共交通の将来像	
4-3 基本目標(計画期間内に達成する事項)	
<b>第5章 目標達成に向けた施策</b>	64
施策1 広域路線バスの運行	
事業1-1 川内～富岡系統	
事業1-2 いわき～富岡系統	
事業1-3 葛尾～船引系統	
事業1-4 川内～船引系統	
事業1-5 川内～小野系統	
事業1-6 南相馬～川俣～医大経由福島系統	
事業1-7 富岡～浪江 FH2R 系統	
施策2 浜通り地方を運行する地域公共交通のDX推進	
施策3 地域公共交通の維持・確保	
<b>第6章 計画の推進体制</b>	128
6-1 推進体制	
6-2 関連する主体と役割	
6-3 計画の評価方法	
付録 福島県避難地域広域公共交通検討協議会規約	

# 第1章 計画の位置付け

---

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号。以下「活性化再生法」という。)第5条第1項に規定する地域公共交通計画である。

## 1-1 計画策定の趣旨と背景

平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による災害(以下「原子力災害」という。)は、本県に甚大な被害をもたらした。

原子力災害により避難を余儀なくされた地域(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村をいう。以下「避難地域12市町村」という。)では、地域公共交通の整備・充実を始め、医療・介護提供体制の整備、子育て・買い物環境の整備・充実、物流機能の回復、治安の確保、防災体制の強化、荒廃抑制や国、県、市町村の連携による鳥獣被害対策の強化など、「福島12市町村の将来像」※の実現に向けた取組が必要である。

※ 福島12市町村の将来像

令和3年3月8日、復興庁「福島12市町村の将来像に関する有識者検討会」による目指すべき30～40年後の姿。

特に、帰還困難区域の特定復興再生拠点区域では、引き続き、地域公共交通を始めとした生活インフラの復旧や住居等の生活環境の整備を着実に推進し、避難指示が確実に解除されるよう取組を進めていく必要がある。

特定復興再生拠点区域以外では、帰還意向のある全ての住民が早期に帰還できるよう、国、市町村等と連携しながら、除染や生活環境の整備を進めていく必要がある。

また、平成26年6月、浜通り地域等に新たな産業の創出を目指すために国が主体的に取りまとめた「福島イノベーション・コースト構想」は、東日本大震災・原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトである。

廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙の重点分野を中心に、各種補助事業や課税特例の活用等により、拠点の整備や研究開発の推進、公共交通体系などの生活環境の整備や交流人口の拡大など、各施策の効果をビジネスにつなげることで、産業集積に厚みを持たせ、その効果を県全域に波及させていくことが重要である。

さらに、公共交通を維持・確保していくための最先端技術の活用に関連し、国は、令和3年5月にデジタル社会形成基本法(令和3年法律第35号)を制定し、高度情報通信ネットワークの利用及び情報通信技術を用いた情報の活用による、生活の利便性の向上、生活様式の多様化の促進及び消費者の主体的かつ合理的選択の機会の拡大などを基本理念として掲げている。

公共交通体系の整備・充実を図っていくためには、需要と供給に関するデータに基づく

検討が重要であり、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進が期待されている。

県では、平成28年5月に活性化再生法に基づく法定協議会(福島県避難地域広域公共交通検討協議会)を設置し、平成30年3月に避難地域12市町村及びその周辺中核都市を対象区域とした地域公共交通のマスターplan「福島県避難地域広域公共交通網形成計画」(以下「旧網形成計画」という)を策定した。

旧網形成計画の計画期間は平成30年度～令和4年度の5年間とし、目標を達成するために行う事業として、広域路線バス6路線を新たに運行又は計画に基づく路線として位置付けた。

旧網形成計画策定後、令和2年3月からJR常磐線が全線運転再開となり、令和2年6月に活性化再生法が改正され、全ての地方自治体は、これまでの公共交通のマスターplanから、新たに地域公共交通計画を策定することが努力義務化された。

地域公共交通計画では、従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源(自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等)を位置付け、地域の移動ニーズにきめ細かに対応するとともに、定量的な目標(利用者数、収支等)を設定し、毎年度の評価等により、データに基づくPDCAを強化することが求められている。

旧網形成計画は、令和4年度までが計画期間となっていることから、令和5年度以降の事業については、改正法に基づく地域公共交通計画の策定が必要である。

令和3年4月から第2期復興・創生期間がスタートし、国と関係自治体は、住まいとまちの復興、産業・生業の再生などの残された課題に全力で取り組むこととしており、避難地域12市町村における公共交通体系は、そのための重要な社会基盤となるものである。

本計画では、避難地域12市町村及びその周辺中核都市(福島市、いわき市)を対象区域とした公共交通体系の実施計画であり、避難地域12市町村における地域課題を検証しながら、避難地域の復興・再生という目標達成のために必要な地域公共交通の施策や事業を定めるものとする。

## 1-2 県の上位計画・関連計画との関係

本計画では、県の最上位計画である「福島県総合計画」との整合を図るとともに、県の関連計画や市町村が策定又は策定予定の「地域公共交通計画」などとの連携を図る。

### ＜最上位計画＞

#### ●福島県総合計画(令和4年度～12年度)

##### 基本目標

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる ふくしまを共に創り、つなぐ

##### 県づくりの理念

- ・ 多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会(県)づくり
- ・ 変化や危機にしなやかで強靭な地域社会(県)づくり
- ・ 魅力を見いだし育み伸ばす地域社会(県)づくり

## ＜関連計画との整合＞

### ●第2期福島県復興計画(令和3年度～12年度)

東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故、風評等からの復興に向けて、必要となる取組を総合的に示す計画である。

#### 基本理念

- ・原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり
- ・ふくしまを愛し、心を寄せるすべての人々の力を結集した復興
- ・誇りあるふるさと再生の実現

#### 基本目標

- ・避難地域等の着実な復興・再生
- ・未来を担う人材の育成・人とのつながりの醸成
- ・安全・安心に暮らせる地域社会づくりの実現
- ・持続可能で魅力的なしごとづくりの推進

### ●福島12市町村の将来像に関する有識者検討会提言(令和3年3月)

#### ＜目指すべき 30～40 年後の地域の姿＞

震災から30～40年後の福島12市町村は全域における避難指示の解除が実現したうえで、地域を震災前の状況に戻す災害復旧の観点をはるかに超え、若者を始め多くの人々を惹き付ける魅力あるまちづくりや福島イノベーション・コースト構想等の実現を通し、より発展した復興の姿を目指す創造的復興を成し遂げている。

将来世代を始めとする人々が幸せに暮らし、誇りや愛着が持てる魅力ある地域となり、併せて、原子力災害による被災地域というマイナスのイメージからの脱却はもとより、地方創生やロボット、再生可能エネルギーの導入拡大を含むエネルギー等の新産業分野、教育・ひとづくり、社会課題の解決等において、国内外を牽引する「希望の地」として、国内外の叡智を結集しつつ、取組が進められている。

### ●福島復興再生計画(令和3年度～7年度)

令和2年6月に改正された福島復興再生特別措置法において、原子力災害からの福島の復興・再生を推進するため、国が策定する「福島復興再生基本方針」に即して、県が「福島復興再生計画」を作成し、国の認定を受ける制度が創設された。

令和3年4月に内閣総理大臣の計画認定。

#### 目標

- ・安全で安心して暮らすことのできる生活環境の実現
- ・地域経済の再生
- ・地域社会の再生

### ●福島イノベーション・コースト構想

平成26年6月、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す構想である。

福島ロボットテストフィールド等の拠点整備を含めた主要プロジェクトの具体化に加え、産業集積の実現、教育・人材育成、生活環境の整備、交流人口の拡大等に向けた取組を進めている。

令和5年4月には、福島イノベーション・コート構想を更に具現化、発展させるものとして、福島を始め、東北の復興を実現し、日本の科学技術力・産業競争力の強化に貢献する「福島国際研究教育機構(F-REI)」の設立が予定されている。

### 重点推進分野

- ・ 廃炉
- ・ ロボット、ドローン
- ・ 医療関連
- ・ エネルギー、環境、リサイクル
- ・ 農林水産業
- ・ 航空宇宙

### ●都市計画区域マスタープラン

- ・ 地域の特性に応じて良好な都市環境を目指すため、市町村を超える広域的見地から、県が都市計画法に基づいて策定するもの。
- ・ 都市計画の目標や土地利用、主要な都市計画の決定の方針等を体系的、総合的に示す計画である。

### ●福島県地域公共交通計画

- ・ 活性化再生法に基づく全県域を対象とした法定計画であり、令和5年度中に策定予定。
- ・ 福島県地域公共交通計画では、本計画の基本方針、施策を共有するものとする。

### <市町村計画との整合>

### ●各市町村策定の総合計画及び都市計画マスタープラン

### 1-3 計画期間

本計画の期間は、令和5年4月から令和10年3月31日までの5年間とする。

令和7年度に第2期復興・創生期間が終了することを踏まえ、令和6年度に中間見直しを行うものとする。

また、計画を実行する中で、変更が必要となった場合には、隨時見直しを行うものとする。

## 1-4 計画の区域

本計画の対象区域を、避難地域12市町村及び周辺中核都市とする。

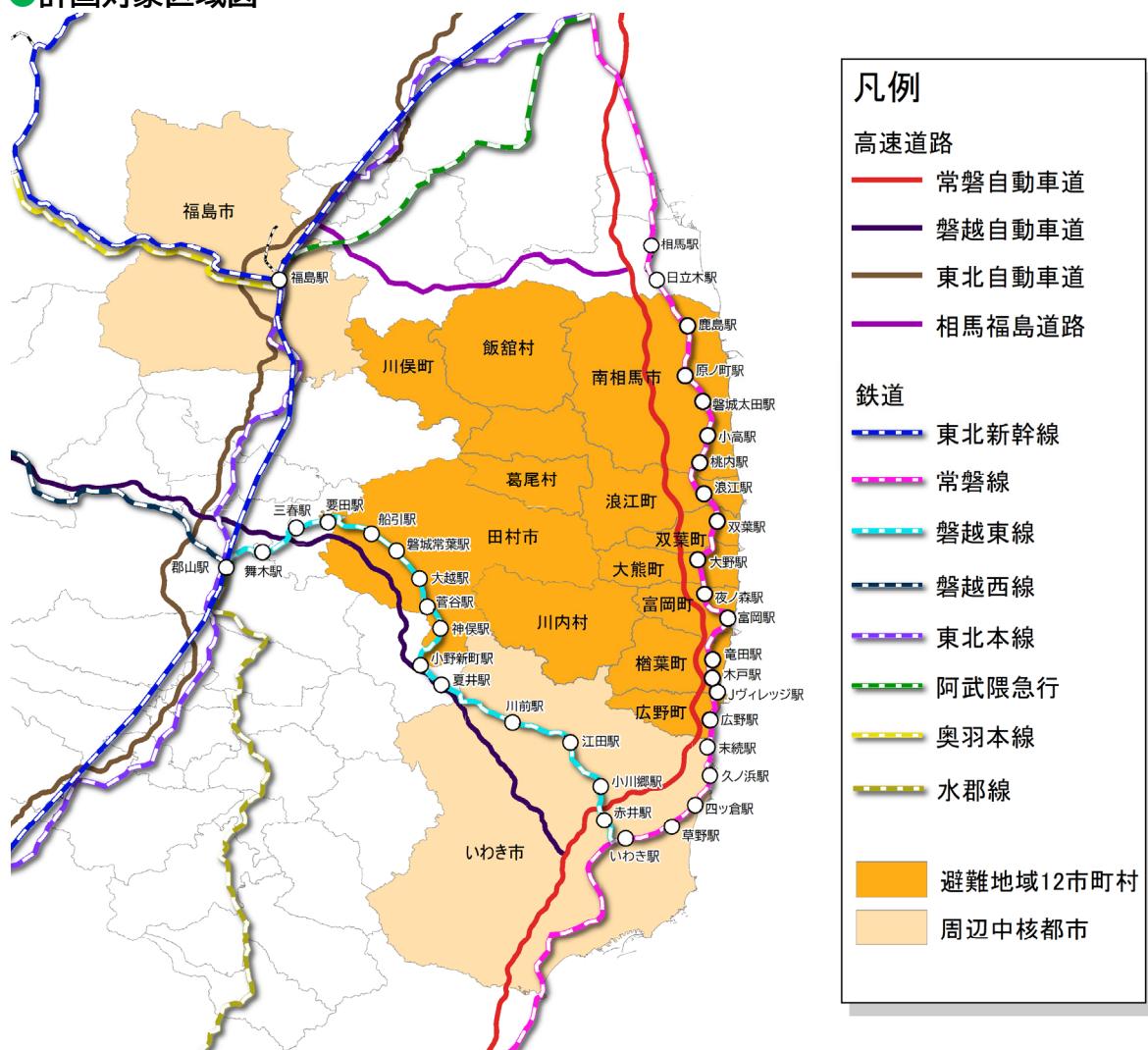
### <避難地域 12 市町村>

田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

### <周辺中核都市>

福島市、いわき市

### ●計画対象区域図



## 1-5 計画の対象

本計画は、避難地域12市町村における復興の進展を踏まえ、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた改善・見直しの方針を示すものである。

本計画では、地域公共交通(広域公共交通)の維持・確保に重点を置くものとし、主として以下に示す広域公共交通のうち広域路線バス(市町村をまたぐ路線、都市間バス)を扱う。

地域公共交通	定義	交通手段
<u>広域公共交通</u>	<u>周辺中核都市と避難地域12市町村の拠点間及び避難地域12市町村の拠点間を結ぶ公共交通</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>・鉄道</li><li>・高速バス</li><li>・<u>広域路線バス(市町村をまたぐ路線、都市間バス)</u></li></ul>
域内公共交通	避難地域12市町村の拠点と同一市町村内の各地域を結ぶ公共交通	<ul style="list-style-type: none"><li>・路線バス(市町村内で完結する路線)</li><li>・コミュニティ交通</li><li>・タクシー</li></ul>

## 第2章 避難地域12市町村の現状

### 2-1 避難地域12市町村における復興の現状

#### ●避難指示区域

平成23年3月の福島第一原発事故により、多数の市町村に避難指示区域(帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域)が設定されたが、その後は避難指示の解除により、現在では帰還困難区域だけが残されている。

#### ●特定復興再生拠点

平成29年5月の福島復興再生特別措置法の改正により、将来にわたって居住を制限するに至ってきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。

市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備(除染やインフラ等の整備)に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて除染やインフラ整備などを推進する。

葛尾村及び大熊町は令和4年6月、双葉町は令和4年8月にそれぞれ避難指示を解除。

浪江町では令和5年3月、富岡町では令和5年4月、飯舘村では令和5年春頃の避難指示解除を目指している。

#### ●福島復興再生計画

「避難解除等区域の復興及び再生の推進のために実施すべき施策に関する事項」において、公共交通関連施策は以下のとおり記載されている。

##### (5)まちづくり等—「ウ 地域公共交通」

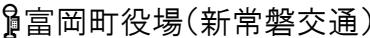
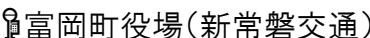
- ① 住民の帰還促進や新たな住民の移住等の促進に向け、買い物、通院、通学等の生活の利便性を向上させることが重要であり、道路等のインフラの整備とともに、持続可能な公共交通ネットワークの構築が不可欠であることから、国の財政措置を受けながら、交通事業者の安定的な事業運営に向けた支援を行う。
- ② 令和2年3月にJR常磐線が全線で運転再開されたところだが、更なる交通の利便性向上等について、JR東日本に要望活動を行うなど、住民の帰還促進や交流人口の拡大に向けて取り組むほか、観光の再生に向け、各自治体の沿線駅等を起点とした浜通り広域周遊観光の取り組みを進めていく。

## ●復興拠点の立地状況

バス停 駅

名称 (立地／設立時期)	拠点の概要
<b>福島ロボットテストフィールド</b> ○南相馬市原町区 ○平成30年7月  <b>福島ロボットテストフィールド</b> 前(東北アクセス)	福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された陸・海・空のフィールドロボットの開発実証拠点である。 インフラや災害現場など実際の使用環境を再現しており、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設となっている。 南相馬市復興工業団地内において、無人航空機エリア、インフラ点検・災害対応エリア、水中・水上ロボットエリア、開発基盤エリアの4つのエリアを設けている。
<b>福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)</b> ○浪江町 ○令和2年3月  <b>FH2R(新常磐交通)</b>	福島新エネ社会構想に基づき国(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が整備・運営する実証研究施設である。 再生可能エネルギーを利用した10MWの水素製造装置を備えており、再生可能エネルギーの導入拡大に伴い発生する余剰電力を水素に変換し、貯蔵・利用する技術(Power-to-Gas)の技術実証を行っている。
<b>福島ロボットテストフィールド</b> (浪江滑走路・滑走路附属格納庫) ○浪江町 ○令和2年4月  <b>浪江滑走路(新常磐交通)</b>	福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された陸・海・空のフィールドロボットの開発実証拠点である。 浪江町・棚塙産業団地内では、長距離飛行試験のための滑走路を整備、南相馬滑走路が南北方向であるのに対し、浪江滑走路は東西方向となっている。 南相馬市と浪江町の両拠点間の区域において、陸上海上で飛行コースを設定することが可能である。
<b>福島国際研究教育機構(F-REI)</b> ○浪江町 ○令和5年4月(一部)  <b>浪江駅</b> <b>浪江駅前(新常磐交通)</b>	福島イノベーション・コースト構想を更に発展させるため、ロボットや放射線科学などの5分野について、最先端の研究開発や人材育成を行う施設である。 我が国の科学技術力・産業競争力の強化をけん引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す。 ・研究開発機能 ・産業化機能 ・人材育成機能 ・司令塔機能
<b>福島県復興祈念公園</b> ○双葉町、浪江町 ○令和2年9月 (一部供用開始)	東日本大震災という未曾有の大災害を受け、国と地方が連携して、犠牲者への追悼と鎮魂を行い、我が国再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すための施設である。

名称 (立地／設立時期)	拠点の概要
<p>■ 伝承館・産業交流センター 前(東北アクセス)</p>	<p>国営追悼・祈念施設は、「東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂」等を目的とした、公園の中核的施設となるものである。</p>
<p><b>東日本大震災・原子力災害 伝承館</b> ○双葉町 ○令和2年4月</p> <p>■ 伝承館・産業交流センター 前(東北アクセス)</p>	<p>福島イノベーション・コースト構想の情報発信拠点にも位置付けられ、被災地域が復興に向き合ってきた証を、アーカイブとして収集、保存、展示することを目的として整備された施設である。</p> <p>展示や語り部、研修、調査・研究を通じて、未曾有の複合災害から得られた知見を国内外に伝える「知の交流拠点」としての役割を担っている。</p>
<p>双葉町産業交流センター ○双葉町 ○令和2年10月</p> <p>■ 伝承館・産業交流センター 前(東北アクセス)</p>	<p>双葉町復興まちづくり計画(第二次)に基づき整備された施設である。</p> <p>双葉町内の中野地区を復興産業拠点としており、産業交流センターでは、就業者サポートに加え、復興祈念公園や東日本大震災・原子力災害伝承館への来訪者に、地域特産品販売や地元グルメを提供するなど、地域産業振興に資する拠点としての役割を担っている。</p>
<p>link(りんくる)大熊 ○大熊町 ○令和3年10月</p> <p>■ 大熊町役場(新常磐交通)</p>	<p>大川原地区の交流ゾーンの中心に位置する地域交流施設であり、運動スタジオ、音楽スタジオ、多目的ホール、キッズコーナー、図書コーナーなどが設置されている。</p>
<p><b>大熊町産業交流施設</b> ○大熊町 ○令和6年12月(予定)</p> <p>■ 大野駅 ■ 大野駅前(新常磐交通)</p>	<p>大野駅西口に整備予定のオフィスビルであり、多様な業種の入居事業者が交流し、新たな雇用の場を生み出すことを目指すこととしている。</p>
<p>とみおかアーカイブ・ミュージアム ○富岡町 ○令和3年7月</p> <p>■ とみおかアーカイブ・ミュージアム(新常磐交通)</p>	<p>東日本大震災を富岡町の歴史の一部として位置付け、地域や町民の暮らしがどのように変化したかを伝える施設である。また、津波の脅威を後世に伝える役割を担っている。</p>

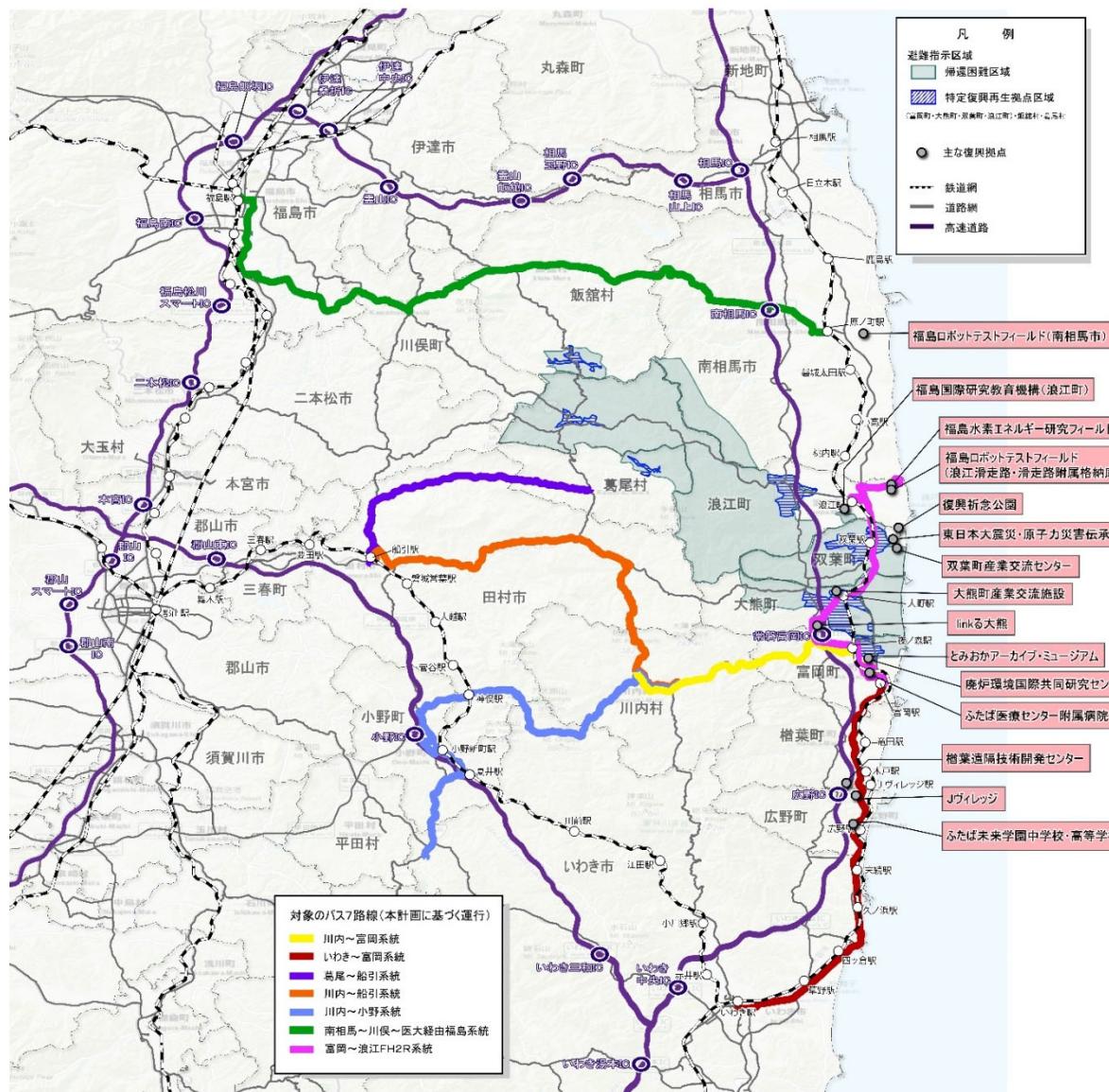
名称 (立地／設立時期)	拠点の概要
<b>ふたば医療センター附属病院</b> ○富岡町 ○平成30年4月 	<p>双葉地域に二次救急医療体制等を整備するために設置された医療機関である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病床数 30床(全室個室)</li> <li>・診療科 救急科、内科</li> <li>・福島県立医科大学の支援を受けながら、24時間体制で救急医療を提供</li> <li>・在宅診療や訪問介護を実施</li> </ul>
<b>廃炉環境国際共同研究センター</b> ○富岡町 ○平成27年4月 	<p>福島イノベーション・コースト構想の一翼を担う施設として国(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)が整備・運営する施設である。</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所の安全かつ確実な廃止措置等(廃炉)を実施するため、国内外の英知を一か所に集中させながら、以下の4つの機能を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際共同研究拠点機能(産学官が一体となった国際的な共同研究、一元的な廃炉研究等の拠点)</li> <li>・研究支援機能(産学官の国際共同研究推進、コーディネータ機能)</li> <li>・人材育成機能(国際拠点を活用し、大学等と連携)</li> <li>・情報発信機能(研究成果を公共財として共有)</li> </ul>
<b>Jヴィレッジ</b> ○楢葉町、広野町 ○平成9年5月 	<p>東京電力(株)が原子力発電所立地地域の地域振興事業として建設し、福島県に寄付したサッカー・ナショナルトレーニングセンターである。</p> <p>平成23～27年の間は、国の原発事故対応拠点として使用された。</p> <p>平成27年1月、県は「新生 J ヴィレッジ」復興・再整備計画を策定し、Jヴィレッジを福島県復興のシンボルとして、新たな価値を持った世界トップクラスの施設へと再整備、平成31年4月全面営業再開となった。</p> <p>2020東京オリンピック競技大会では、聖火ランナーのスタート地点となった。</p> <p>＜施設概要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天然芝ピッチ8面</li> <li>・人工芝ピッチ2面</li> <li>・全天候型練習場</li> <li>・雨天練習場、ホテル(総客室数200)</li> <li>・フィットネスジム</li> <li>・アリーナ</li> <li>・プール</li> </ul>

名称 (立地／設立時期)	拠点の概要
<b>楢葉遠隔技術開発センター</b> ○楢葉町 ○平成27年10月	<p>福島イノベーション・コースト構想の一翼を担う施設として国(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)が整備・運営する施設である。</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所の廃炉推進のため、遠隔操作機器(ロボット等)の開発実証を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究管理棟 バーチャルリアリティシステム、ロボットシミュレータ、音響映像設備等</li> <li>・試験棟 ロボットの性能評価等</li> </ul>
<b>福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校</b> ○広野町 ○平成27年4月(高校) 平成31年4月(中学)  ⑨広野町役場入口(新常磐交通)	<p>双葉郡8町村「福島県双葉郡教育復興ビジョン」に基づき設置された中高一貫校である。</p> <p>福島県内初の「スーパーグローバルハイスクール」及び「地域との協働による高等学校改革推進事業(グローカル型)」に指定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数 585名(中学180名、高校405名、令和4年5月1日現在)</li> <li>・学級数 21(中学6学級、高校15クラス) &lt;高校カリキュラム系列&gt;</li> <li>・アカデミック系列</li> <li>・トップアスリート系列</li> <li>・スペシャリスト系列 &lt;中学カリキュラム&gt;</li> <li>・実践力をみがく「未来創造学」</li> <li>・世界に飛び出す学び</li> <li>・深い学び、高い学力</li> <li>・未来の主人公となる学び</li> </ul>

### <現状分析>

避難地域12市町村では、福島イノベーション・コースト構想等に基づく復興拠点の整備が進められており、復興の進展と交流人口の更なる拡大が期待されているところであるが、復興拠点は各地に分散して立地しており、拠点と交通の結節点等をつなぐ移動手段の確保が求められる。

## ●復興拠点の立地状況 位置図



## ●復興公営住宅(災害公営住宅)の整備状況

バス停 駅

名称	戸数	住所／公共交通機関 (最寄り駅・バス停等)
南相馬市 ○大町西団地	40戸	南相馬市原町区大町2丁目 原ノ町駅、原ノ町駅(福・ア)
○大町東団地	80戸	南相馬市原町区大町2丁目 原ノ町駅、原ノ町駅(福・ア)
○大町南団地	29戸	南相馬市原町区大町2丁目 原ノ町駅、原ノ町駅(福・ア)
○栄町団地	33戸	南相馬市原町区栄町3丁目 原ノ町駅、栄町(福)
○萱浜団地	38戸	南相馬市原町区萱浜巣掛場 環境創造センター前(ア)
○上町団地	182戸	南相馬市原町区上町1丁目 西町(福)
○北原団地	264戸	南相馬市原町区北原字前田
○牛越団地	176戸	南相馬市原町区牛越字辻内 牛越(福)
○南町団地	255戸	南相馬市原町区南町 四ツ葉通り(福)
○西町団地	50戸	南相馬市鹿島区西町3丁目 鹿島駅、西町(福)
○西川原団地	28戸	南相馬市鹿島区鹿島西川原 鹿島駅、西町(福)
○西川原第二団地	32戸	南相馬市鹿島区寺内中才 鹿島中学校前(福)
○小高東町団地	20戸	南相馬市小高区東町2丁目 小高駅

名称	戸数	住所／公共交通機関 (最寄り駅・バス停等)
南相馬市 ○万ヶ迫団地	2戸	南相馬市小高区万ヶ迫、岡田養子坊
	18戸	南相馬市小高区上町1丁目  小高駅
浪江町 ○御殿南住宅	10戸	浪江町権現堂御殿南  浪江駅、  権現堂元町(常)
	22戸	浪江町幾世橋来福寺西  浪江町役場前(常)
	63戸	浪江町幾世橋来福寺西  浪江町役場前(常)
	26戸	浪江町請戸北迫
	80戸	浪江町幾世橋斎藤屋敷  浪江町役場前(常)
	10戸	浪江町大字下津島
双葉町 ○駅西住宅 (令和6年5月に全面供用予定)	86戸	双葉町長塚町西  双葉駅、  双葉駅(常、ア)
大熊町 ○大川原災害公営住宅	50戸	大熊町大川原南平  大熊町役場(常)
	42戸	大熊町大川原南平  大熊町役場(常)
	40戸	大熊町大川原南平  大熊町役場(常)
富岡町 ○曲田団地	104戸	富岡町小浜反町  曲田住宅(常)
	50戸	富岡町小浜中央  富岡駅(常)

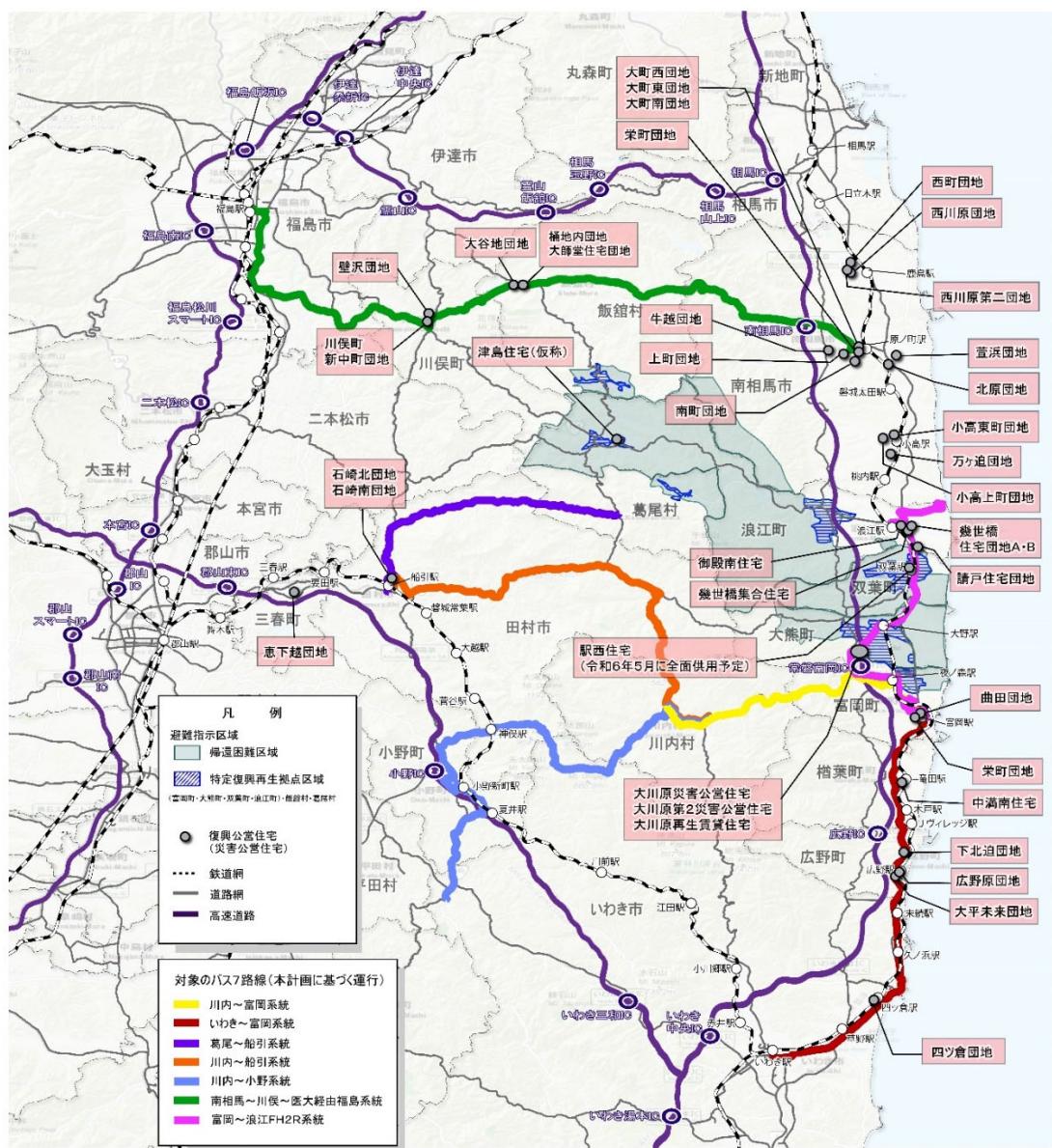
名称	戸数	住所／公共交通機関 (最寄り駅・バス停等)
楓葉町 ○中満南住宅	123戸	楓葉町北田
広野町 ○大平未来団地  ○広野原団地  ○下北迫団地	14戸	広野町折木大平  広野駅、  広野町役場入口(常)
	48戸	広野町下浅見川桜田  広野駅、  広野町役場入口(常)
	58戸	広野町下北迫上大吹
飯館村 ○大谷地団地  ○桶地内団地  ○大師堂住宅団地	16戸	飯館村草野大谷地  草野本庁(福)
	10戸	飯館村飯樋桶地内
	12戸	飯館村草野大師堂  飯館ふれ愛館前(福)
葛尾村(三春町) ○恵下越団地	106戸	三春町字恵下越
川俣町 ○壁沢団地  ○川俣町新中町団地	80戸	川俣町字壁沢  壁沢団地入口(福)
	40戸	川俣町字新中町地内  川俣南小学校(福)
田村市 ○石崎北団地  ○石崎南団地	6戸	田村市船引町船引字石崎  石崎団地(福)
	12戸	田村市船引町船引字石崎  石崎団地(福)
いわき市 ○四ツ倉団地	150戸	いわき市四倉町上仁井田字九反坪  四倉駅

※ (福):福島交通、(常):新常磐交通、(ア):東北アクセス

### <現状分析>

福島県復興公営住宅整備計画(第一次・第二次)に基づいて復興公営住宅(災害公営住宅)の整備が進められているが、住宅から徒歩圏内に店舗、医療機関、金融機関等の生活関連施設が立地していない場合もある。日常生活で自動車を利用しない居住者が安心して生活できるようにするため、公共交通等の移動手段の確保が求められる。

### ●復興公営住宅(災害公営住宅)の位置図



## 2-2 人口動態(住民の帰還状況)

避難地域12市町村の人口(避難者を除く)は、旧網形成計画の期間である平成30年度(平成30年10月1日基準)から5年間で約6,000人増加しており、主として住民の帰還によるものと考えられる。

市町村別では、広野町の人口は震災前の水準までほぼ回復しているものの、富岡町及び楢葉町、飯館村、葛尾村、川内村、田村市、川俣町では震災前の水準を下回っている。

避難地域12市町村の居住状況(令和4年10月)は、葛尾村、川俣町(山木屋地区)、浪江町、飯館村、富岡町、大熊町、双葉町の7町村において居住率が50%に達していない。

<人口> (単位:人)

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	H30-R4 増減率
南相馬市	70,878	54,455	57,467	+5.53%
浪江町	20,905	-	-	
双葉町	6,932	-	-	
大熊町	11,515	-	-	
富岡町	16,001	-	1,481	
楢葉町	7,700	-	3,578	
広野町	5,418	3,971	5,339	+34.45%
飯館村	6,209	-	901	
葛尾村	1,531	-	353	
川内村	2,820	1,951	1,893	▲2.97%
川俣町	15,569	13,398	11,530	▲13.94%
田村市	40,422	36,716	33,777	▲8.00%
12市町村計	205,900	110,491	116,319	+5.27%
福島県	2,029,064	1,862,705	1,790,362	▲3.88%

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」

※避難地域12市町村においては、住民の避難や復興事業の進捗等により、統計に基づく人口と実際の居住者数が大きく乖離している場合がある。

<避難地域12市町村の居住状況>(令和4年10月現在)

避難指示解除時期	区分	市町村	居住率
一	一	広野町	90.3%
平成 26 年	全域解除	田村市(都路地区)	85.4%
平成 27 年	全域解除	楢葉町	64.2%
平成 28 年	一部解除	葛尾村	35.6%
	全域解除	川内村	82.8%
	一部解除	南相馬市(小高区等)	60.6%
平成 29 年	全域解除	川俣町(山木屋地区)	49.0%

避難指示解除時期	区分	市町村	居住率
平成 29 年	一部解除	浪江町	12.3%
	一部解除	飯舘村	31.1%
	一部解除	富岡町	17.6%
平成 31 年	一部解除	大熊町	4.0%
令和 2 年	一部解除	双葉町	約 0.7%

※居住率は住民登録数に占める居住者の割合。居住者市町村のHP等の数値を基に計算

【出典】福島県「復興・再生のあゆみ（第9版）」

避難地域12市町村の年少人口（避難者を除く）は、旧網形成計画の期間である平成30年度（平成30年10月1日基準）から5年間で約100人増加しており、主として住民の帰還によるものと考えられるが、回復のペースは緩やかである。

市町村別では、富岡町及び楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村、川俣町、田村市において震災前の水準を下回っている。

〈年少人口〉

（単位：人）

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	H30-R4 増減率
南相馬市	9,649	4,391	4,838	+10.18%
浪江町	2,719	-	-	
双葉町	928	-	-	
大熊町	1,848	-	-	
富岡町	2,242	-	76	
楢葉町	1,021	-	281	
広野町	765	237	405	+70.89%
飯舘村	792	-	6	
葛尾村	173	-	27	
川内村	260	101	97	▲3.96%
川俣町	1,761	1,112	826	▲25.72%
田村市	5,100	3,901	3,320	▲14.89%
12 市町村計	27,258	9,742	9,876	+1.38%
福島県	276,069	215,103	195,798	▲8.97%

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」

避難地域12市町村の生産年齢人口（避難者を除く）は、旧網形成計画の期間である平成30年度（平成30年10月1日基準）から5年間で約1,000人減少しており、住民の帰還は進んでいるものの、順調であるとは言い難い状況にある。

市町村別では、富岡町及び楢葉町、広野町、飯舘村、葛尾村、川内村、川俣町、田村市において震災前の水準を下回っている。

<生産年齢人口>

(単位:人)

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	H30-R4 増減率
南相馬市	42,196	29,641	29,206	▲1.47%
浪江町	12,550	-	-	
双葉町	4,119	-	-	
大熊町	7,252	-	-	
富岡町	10,245	-	992	
楓葉町	4,684	-	1,896	
広野町	3,365	2,564	2,819	+9.95%
飯舘村	3,552	-	262	
葛尾村	865	-	171	
川内村	1,567	1,028	765	▲25.58%
川俣町	8,863	6,845	5,581	▲18.47%
田村市	23,601	20,187	17,589	▲12.87%
12市町村計	122,859	60,265	59,281	▲1.63%
福島県	1,236,458	1,056,487	982,815	▲6.97%

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」、「-」はデータ公表無し

避難地域12市町村の老人人口(避難者を除く)は、旧網形成計画の期間である平成30年度(平成30年10月1日基準)から5年間で約4,400人増加しており、主として住民の帰還によるものと考えられるが、回復のペースは緩やかである。

市町村別では、富岡町及び楓葉町、飯舘村、葛尾村、川内村において震災前の水準を下回り、川俣町、南相馬市、広野町及び田村市は震災前水準を上回っている。

<老人人口(65歳以上)及び高齢化率>

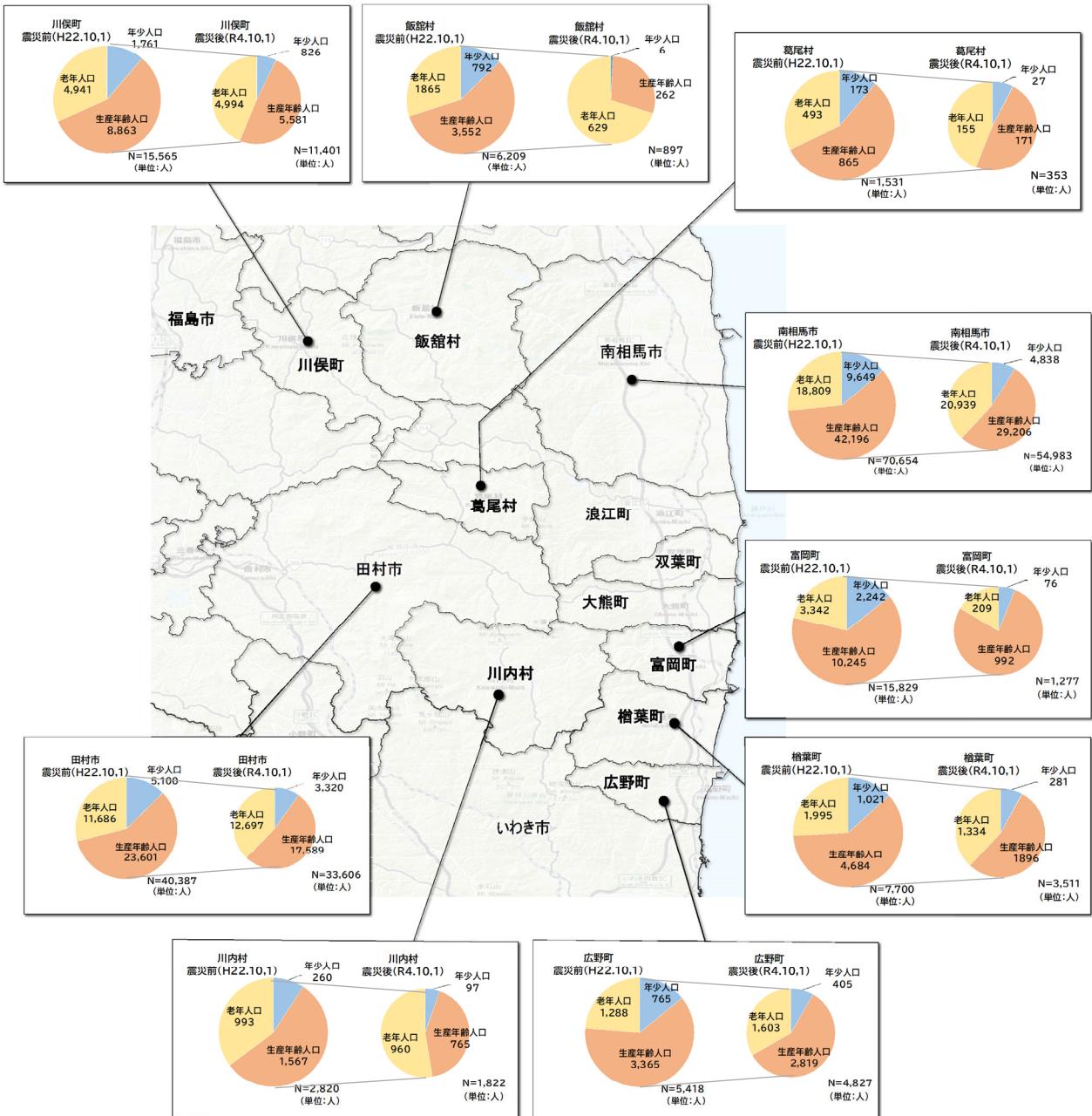
(単位:人)

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	H30-R4 増減率
南相馬市	18,809 26.54%	19,342 35.52%	20,939 36.44%	+8.26%
浪江町	5,548 26.54%	-	-	
双葉町	1,879 27.11%	-	-	
大熊町	2,413 20.96%	-	-	
富岡町	3,342 20.89%	-	209 14.11%	
楓葉町	1,995 25.91%	-	1,334 37.28%	
広野町	1,288 23.77%	1,168 29.41%	1,603 30.02%	+37.24%
飯舘村	1,865	-	629	

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	H30-R4 増減率
葛尾村	30.04% 493	-	69.81% 155	+16.93%
川内村	32.20% 993	821 42.08%	43.91% 960	▲7.24%
川俣町	35.21% 4,941	5,384 40.19%	50.71% 4,994	+2.86%
田村市	31.74% 11,686	12,344 33.62%	43.31% 12,697	+11.42%
	28.91%	39,059	37.59%	+1.63%
12 市町村計	55,252 26.83%	35.35% 568,536	43,520 37.41%	
福島県	504,451 24.86%	30.52%	577,815 32.27%	

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」、「-」はデータ公表無し

## ●避難地域12市町村における年少人口、生産年齢人口、老人人口の震災前と震災後の比較図



※浪江町、双葉町、大熊町は震災後の人口が確認できないため記載なし。

※合計(N)は年齢不明者がいるため、人口総数と一致しない市町村もある。

東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律(原発避難者特例法)に基づき指定される13指定市町村以外の区域に避難している者の人数は、避難指示区域の縮小、復興公営住宅の整備等を背景として平成24年度から10年間で 13万人余り減少しており、平成24年5月時点と比較して約5分の1以下となっている。

なお、市町村域の大半に帰還困難区域が設定されている浪江町、大熊町、双葉町では、いまだ多くの住民が避難生活を送っている。

#### <避難者数>

(単位:人)

福島県	H24.5	H25.5	H26.5	R3.5	R4.9	H24-R4 増減率
県外への避難者数	62,038	54,680	45,854	28,171	22,727	▲63.36%
県内への避難者数	102,827	97,286	83,250	6,966	6,481	▲93.69%
避難先不明者		147	50	13	5	
合 計	164,865	152,113	129,154	35,150	29,213	

【出典】福島県

避難地域12市町村における移住・定住人口は平成29年度以降、年々増加傾向にある。

#### <移住・定住人口>

12市町村計	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
定住					
世帯数	26世帯	77世帯	114世帯	155世帯	326世帯
人数	35人	111人	151人	213人	436人
二地域					
世帯数	1世帯	2世帯	1世帯		
人数	2人	2人	1人		
合計					
世帯数	27世帯	79世帯	115世帯	155世帯	326世帯
人数	37人	113人	152人	213人	436人

【出典】福島県

#### <現状分析>

避難地域12市町村では東日本大震災以前の人口にまで回復しておらず、高齢化が進行している。今後は、特定復興拠点再生区域における避難指示解除の進展とともに徐々に人口の増加が期待されるが、当面の間、公共交通等の日常生活に不可欠なサービスは、採算性の確保が困難と予想される。

## 2-3 気象・自然環境

避難地域12市町村の区域は、太平洋沿岸部と阿武隈高地の海、山、川の豊かな自然を擁した温暖な気候の地域である。

原発事故により放射性物質に汚染された地域では、環境を回復するための除染が進められ、国が除染の計画を策定し除染事業を進める除染特別地域では、平成27年3月末までに帰還困難区域を除く全ての市町村で面的除染が完了している。

近年、気象災害が頻発化、激甚化の傾向にあり、令和元年10月の令和元年東日本台風では、県内で初めて大雨特別警報が発令され、各地の河川の氾濫、堤防の決壊、土砂災害、住宅被害、農林水産業への被害が生じている。この台風から2週間後にも低気圧の影響により、浜通り地方を中心激しい雨となり、更に被害が広がっている。

令和3年2月には、福島県沖を震源とするマグニチュード7.3、最大震度6強の地震が発生し、家屋を始め、高速道路、港湾、農業用ため池など、県内各所に大きな被害をもたらした。

令和4年3月にも、福島県沖を震源とするマグニチュード7.4、最大震度6強の地震が発生し、高速道路、JR常磐線など、県内各所に大きな被害をもたらした。

## 2-4 産業・観光の現状

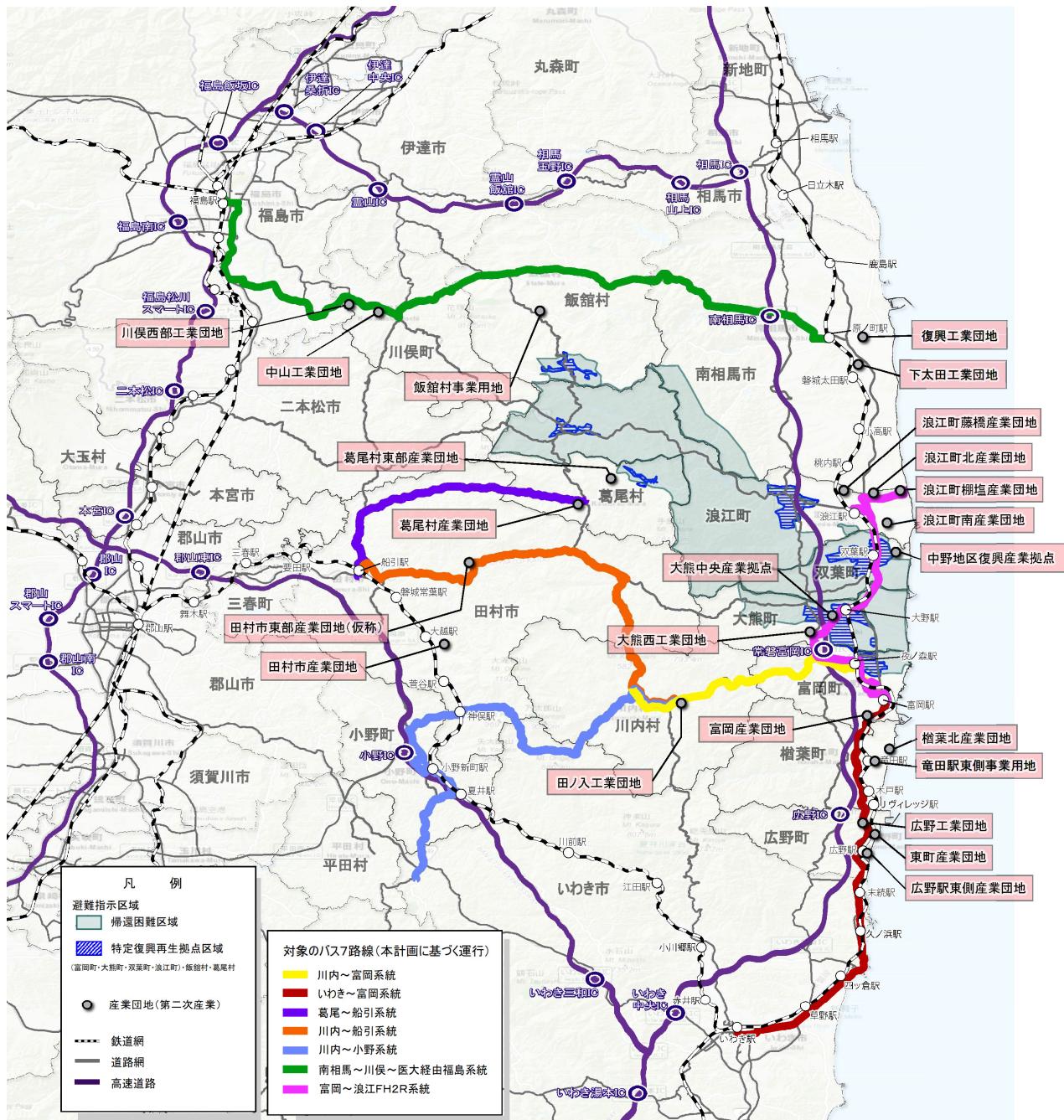
避難地域12市町村における産業団地の整備状況及び観光資源の分布については以下のとおりである。

### ●産業団地の整備状況(第二次産業)

名称	事業者数／雇用者数 (目標値を含む)	公共交通機関 (最寄りバス停等)
南相馬市 ○復興工業団地 ○下太田工業団地	4社／約150人 12社／約290人	福島ロボットテストフィールド前(ア) -
浪江町 ○浪江町北産業団地 ○浪江町南産業団地 ○浪江町棚塙産業団地 ○浪江町藤橋産業団地	2社／約50人 2社／約300人 4社／約100人 4社／約100人	北産業団地入口(常) - 棚塙産業団地入口(常) -
双葉町 ○中野地区復興産業拠点	20社(うち13社操業済み) ／約300名	伝承館・産業交流センター前(ア)
大熊町 ○大熊西工業団地 ○大熊中央産業拠点	2社／約40人 1社／約40人	大熊町役場(常) -
富岡町 ○富岡産業団地	4社／約150人	-
楓葉町 ○竜田駅東側事業用地 ○楓葉北産業団地	7社／約50人 1社／約100人	竜田駅 -
広野町 ○広野駅東側産業団地 ○東町産業団地 ○広野工業団地	14社 (造成中) 20社	広野駅 -

名称	事業者数／ 雇用者数 (目標値を含む)	公共交通機関 (最寄りバス停等)
葛尾村 ○葛尾村産業団地 ○葛尾村東部産業団地	5 社／約 60 人	湯ノ平(福) -
川内村 ○田ノ入工業団地	2 社／約 40 人	坂シ内(福)(常)
川俣町 ○中山工業団地 ○川俣西部工業団地	2 社／約 190 人 3 社／約 30 人	川俣警察署前 鶴沢宮前
田村市 ○田村市産業団地 ○田村市東部産業団地(仮称)	3 社 (未定)	大越駅 余平田(福)

## ●産業団地の位置図



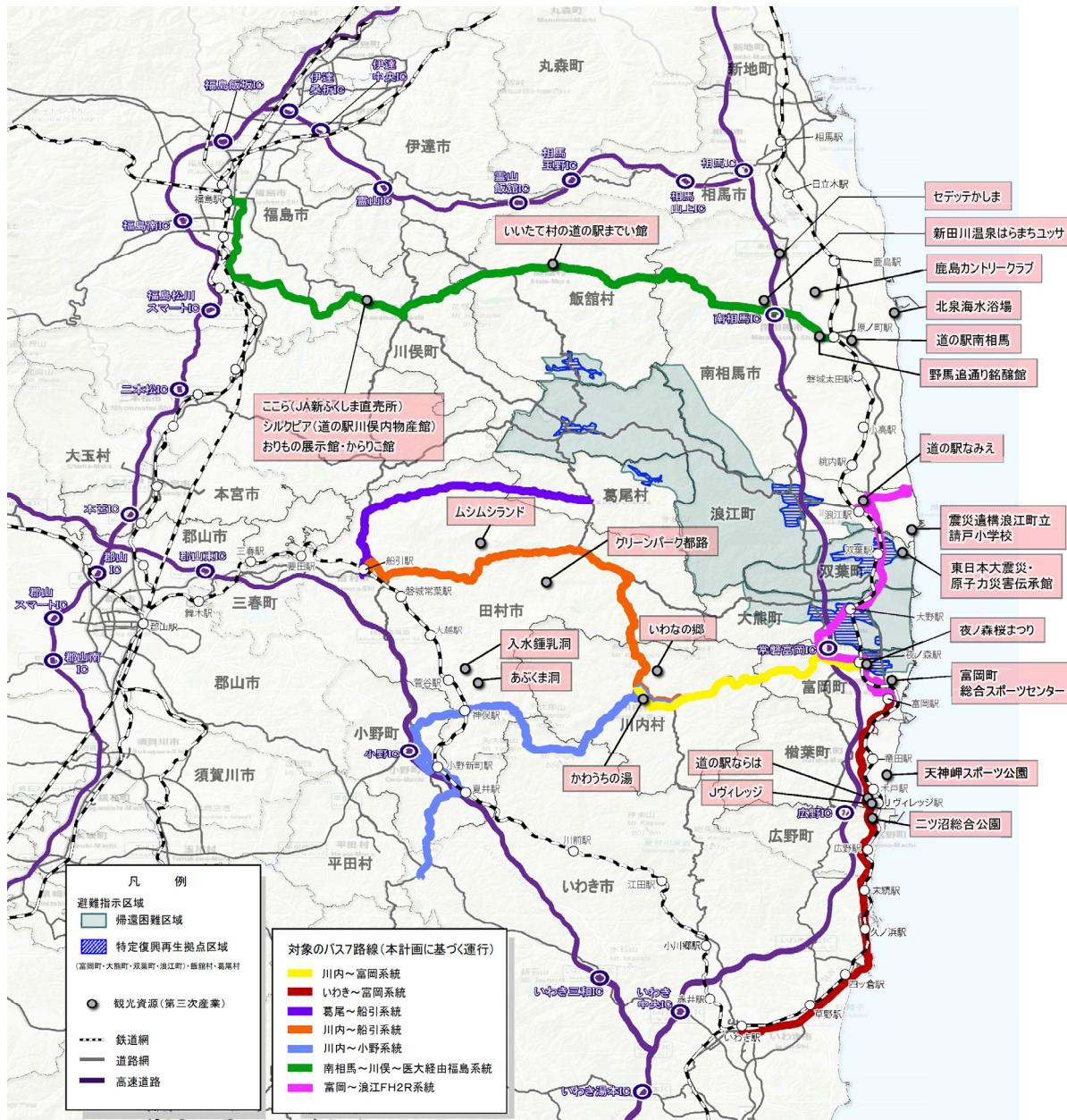
## ●観光資源の概要(第三次産業)

バス停 駅 (単位:人)

観光地名	観光客入込数	公共交通機関 (最寄りバス停等)
南相馬市 ○北泉海水浴場 ○鹿島カントリークラブ ○新田川温泉はらまちユッサ ○野馬追通り銘醸醸館 ○道の駅南相馬 ○セデッテかしま	23,875(R2) 35,026 57,137 19,009 227,920 834,392	- - - ■南相馬市役所(福) ■南相馬市立総合病院前(ア) -
浪江町 ○震災遺構浪江町立請戸小学校 ○道の駅なみえ	13,628 467,025	- ■道の駅なみえ(常)
双葉町 ○東日本大震災・原子力災害伝承館	62,106	■伝承館・産業交流センター前(ア)
富岡町 ○富岡町総合スポーツセンター ○とみおかアーカイブ・ミュージアム ○夜ノ森桜まつり	15,848 18,135 7,000	■富岡町文化交流センター(常) ■とみおかアーカイブ・ミュージアム(常) ■夜ノ森駅、■夜ノ森駅西口(常)
楢葉町 ○天神岬スポーツ公園 ○Jヴィレッジ ○道の駅ならは	100,639 278,287 186,405	- ■Jヴィレッジ駅 ■道の駅ならは
広野町 ○ニツ沼総合公園	25,095	-
飯舘村 ○いいたて村の道の駅までい館	127,147	■いいたて村までい館
川内村 ○いわなの郷 ○かわうちの湯	14,970 46,323	■いわなの郷前(福) ■役場・かわうちの湯前(福)(常)

名称	事業者数／ 雇用者数 (目標値を含む)	公共交通機関 (最寄りバス停等)
川俣町	71,227	■絹の里シルクピア前(福)
○ここら(JA 新ふくしま直売所)		■絹の里シルクピア前(福)
○シルクピア(道の駅川俣内物産館)		■絹の里シルクピア前(福)
田村市	121,254	■神俣駅
○あぶくま洞・入水鍾乳洞		-
○ムシムシランド		-
○グリーンパーク都路		-
【出典】福島県「福島県観光客入込状況令和3年分」ほか		

## ●主な観光資源の位置図



## <現状分析>

避難地域12市町村では、重要な経済基盤である産業団地の整備が進められ、震災を伝承する施設や観光資源が立地している。復興の更なる進展とともに、雇用人口や交流人口の増加及び経済波及効果が期待される。自動車を利用しない者であっても、これらに容易にアクセスできるよう、移動ニーズを踏まえた交通手段の充実が求められる。

## 2-5 自動車保有台数、免許保有者数・返納者数の状況

人口1人当たり保有台数では、南相馬市及び広野町、川俣町、田村市は県全体と同程度、富岡町及び飯舘村、葛尾村、川内村は県全体より多い。

1世帯当たり保有台数では、南相馬市及び富岡町、楢葉町、広野町、川俣町、田村市は県全体と同程度、飯舘村及び葛尾村、川内村は県全体より多い。

<自動車保有台数>

(単位:台)

市町村名	自動車保有台数 (R4.3.31)	人口1人当たり 保有台数	1世帯当たり 保有台数
南相馬市	25,609	0.45	0.97
浪江町	2,191		
双葉町	403		
大熊町	962		
富岡町	1,968	1.33	1.19
楢葉町	2,325	0.65	1.10
広野町	2,650	0.50	0.89
飯舘村	2,325	2.58	4.04
葛尾村	421	1.19	1.95
川内村	1,306	0.69	1.79
川俣町	4,519	0.39	0.95
田村市	14,240	0.42	1.16
12市町村計	58,919	0.51	1.14
福島県	759,088	0.42	1.01

【出典】東北運輸局福島運輸支局「福島県内市町村別自動車数調」

自動車運転免許の保有者数は、南相馬警察署管内では、人口 1 人当たり保有数、1 世帯当たり保有数ともに県平均と同程度となっている。なお、双葉警察署管内では人口及び世帯に避難者を含んでいない。

<自動車運転免許保有者数>

(単位:人)

警察署名	自動車運転免許 保有数	人口1人当たり 保有数	1世帯当たり 保有数
南相馬警察署 南相馬市、飯舘村	45,727	0.78	0.59
双葉警察署 浪江町、双葉町、大熊町 富岡町、楢葉町、広野町 葛尾村、川内村、川俣町	37,641	1.56	0.33
田村警察署※ 田村市	43,132	1.28	0.28
福島県	1,277,319	0.71	0.59

【出典】福島県警察本部「令和4年版交通白書」

※ 田村市のほか、三春町及び小野町の分を含む。

自動車運転免許返納者数は、年齢の上昇とともに増加する傾向となっている。

免許返納の主な理由は、運転の不要、身体機能の低下、家族からの勧め、適正不合格などとなっている。

<自動車運転免許返納者数:令和3年>

(単位:人)

市町村名	65歳未満	65～74歳	75歳以上
南相馬警察署 南相馬市、飯舘村	8	54	232
双葉警察署 浪江町、双葉町、大熊町 富岡町、楢葉町、広野町 葛尾村、川内村、川俣町	4	24	49
田村警察署※ 田村市	5	34	87
福島県	249	1,902	4,459

【出典】福島県警察本部「令和4年版交通白書」

※ 田村市のほか、三春町及び小野町の分を含む。

## 第3章 避難地域12市町村における地域公共交通の現状・課題

### 3-1 地域公共交通の概況

#### (1)鉄道

##### ●JR常磐線

東京から仙台までを、千葉県、茨城県、福島県の太平洋沿岸地域を経由して結ぶ全線電化の鉄道路線である。東日本大震災で全線が運休、一部区間で壊滅的な被害を受けたが、その後、復旧工事が進められ、順次運行再開し、令和2年3月には、最後まで不通であった富岡駅～浪江駅間が復旧し、全線で運転再開することとなった。

避難地域12市町村では、以下の駅が設置されている。

市町村	駅名	駅の特徴
南相馬市	鹿島駅	無人駅
	原ノ町駅	直営駅、みどりの窓口、特急ひたち停車
	磐城太田駅	無人駅
	小高駅	無人駅
	桃内駅	無人駅
浪江町	浪江駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
双葉町	双葉駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
大熊町	大野駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
富岡町	夜ノ森駅	無人駅
	富岡駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
楢葉町	竜田駅	簡易委託駅
	木戸駅	無人駅
	Jヴィレッジ駅	無人駅
広野町	広野駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車

令和4年12月現在、上記区間では、特急列車が1日3往復、普通列車が1日11往復運行している。

桃内駅を除いて交通系ICカード(Suica<sup>※</sup>)対応駅となっているが、浪江駅以南は首都圏エリア、小高駅以北は仙台エリアに区分されており、両方のエリアをまたいでの利用はできない。※「Suica」は、JR東日本株式会社の登録商標である。

原ノ町駅は、常磐線から飯舘村へのアクセスルートの下車駅、富岡駅は川内村へのアクセスルートの下車駅となっている。

なお、原ノ町駅～いわき駅間は、令和3年度現在、「利用の少ない線区※1」とされている。

※1 令和元年度実績で1日当たりの平均乗客数(輸送密度)が2千人未満の線区。なお、東京電力福島第一原発事故の影響で令和元年度当時、未再開だった区間が含まれるため、収支や乗客数、輸送密度は公表していない。

## ●JR磐越東線

いわき市から郡山市までを結ぶ全線非電化の鉄道路線(地方交通線)である。

避難地域12市町村では、以下の駅が設置されている。

市町村	駅名	駅の特徴
田村市	神俣駅	簡易委託駅
	菅谷駅	簡易委託駅
	大越駅	無人駅
	磐城常葉駅	無人駅
	船引駅	業務委託駅、みどりの窓口
	要田駅	無人駅

現在、上記区間では、普通列車が 1 日14~15往復運行している。ほとんどが郡山駅~小野新町駅間の運行であり、いわき駅までの本数は少ない。

令和4年7月、JR東日本株式会社では、磐越東線の小野新町駅~いわき駅間を「利用の少ない線区」として収支や乗客数を公表している。

船引駅及び要田駅は交通系ICカード(Suica<sup>※</sup>)対応駅となっている。

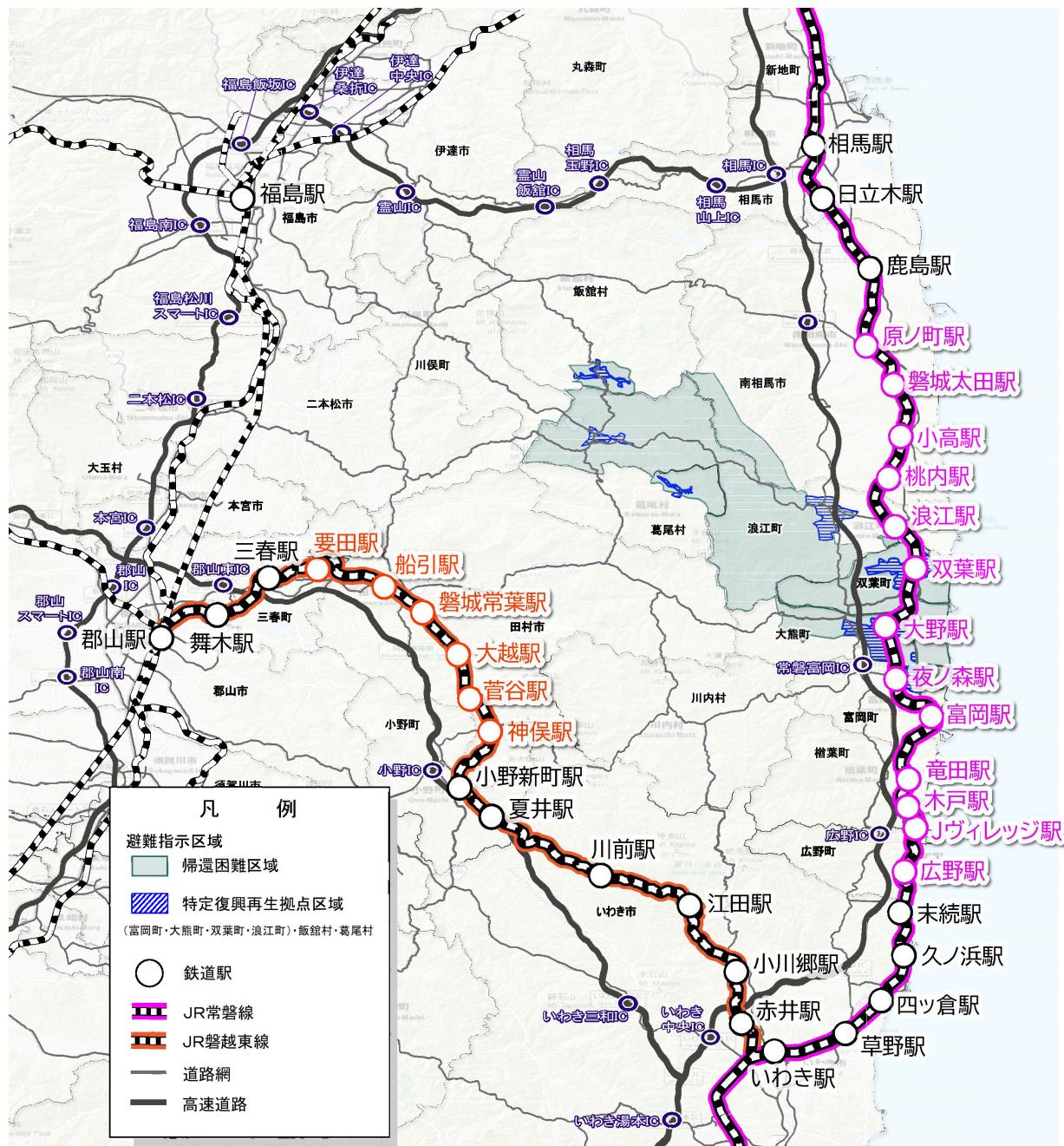
※ 「Suica」は、JR東日本株式会社の登録商標

船引駅は、郡山方面から葛尾村及び川内村へのアクセスルートの下車駅、小野新町駅及び神俣駅は、いわき方面又は郡山方面から川内村へのアクセスルートの下車駅となっている。

## <現状分析>

避難地域12市町村では、南北の広域公共交通はJR常磐線が、いわき~郡山間の広域公共交通はJR磐越東線が担っているが、それ以外の地域における広域公共交通は、バス路線が重要な役割を担っている。このため、広域的な移動ニーズに的確に対応できるよう、鉄道、バスの接続の円滑化が求められる。

●避難地域12市町村における鉄道の概況図



※避難地域12市町村におけるJR常磐線の駅はピンク色、JR磐越東線の駅はオレンジ色で表示。

## (2)バス路線

### ●高速バス、都市間バス

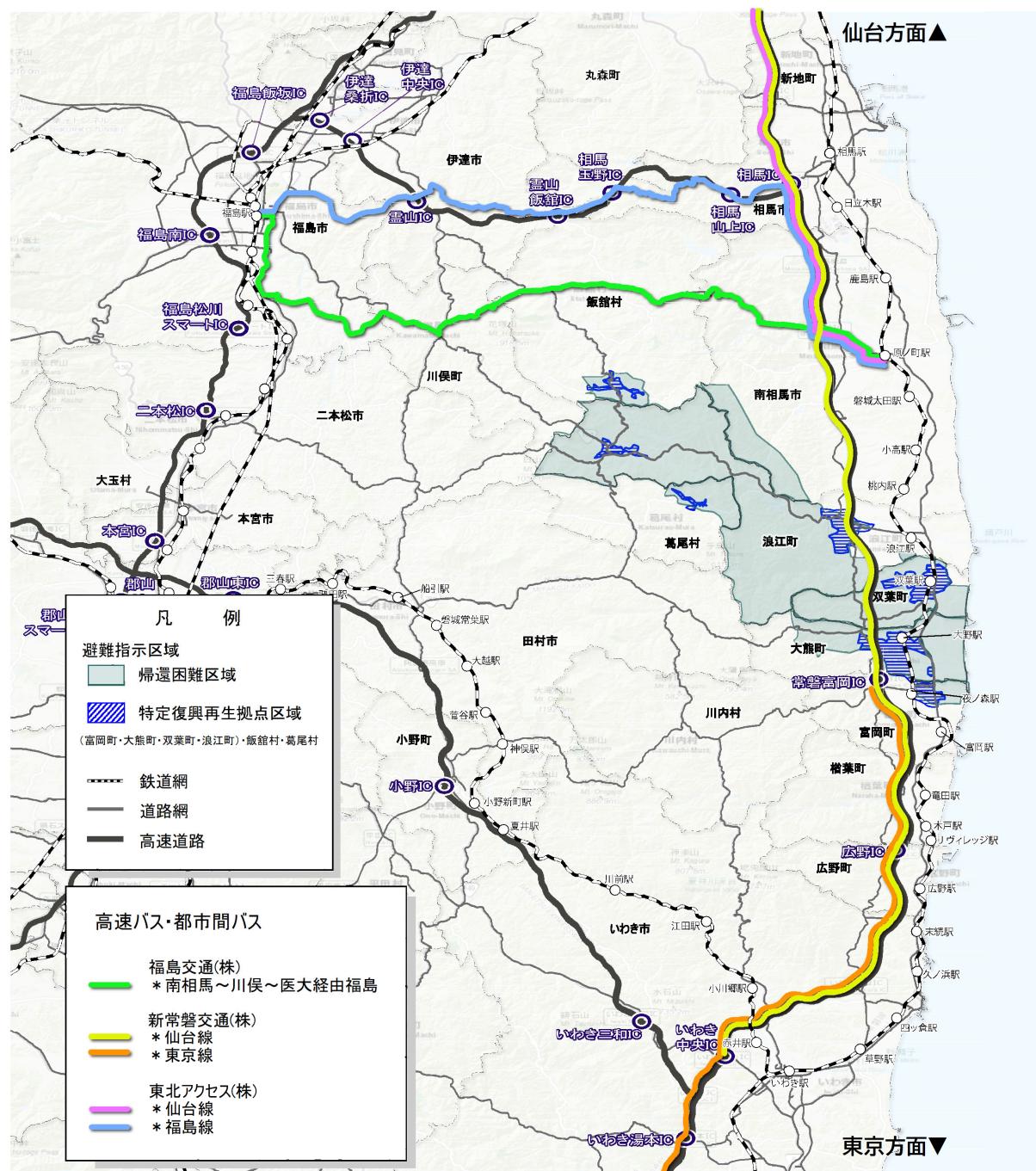
令和4年12月現在、避難地域12市町村では、以下の高速バス及び都市間バスが運行している。

運行事業者	運行区間	運行本数
福島交通(株)	* 南相馬～川俣～医大経由福島 南相馬市～飯舘村～川俣町～福島市	6往復
新常磐交通(株)	* 仙台線 いわき市、広野町、楢葉町、富岡町～仙台市	4往復
	* 東京線 富岡町、楢葉町、広野町、いわき市～東京	1往復
東北アクセス(株)	* 仙台線 南相馬市、相馬市、新地町～仙台市	4往復
	* 福島線 南相馬市、相馬市～福島市	4往復

上記のうち、福島交通株式会社が運行する路線(本計画に定める南相馬～川俣～医大経由福島系統)及び東北アクセス株式会社が運行する福島線は、避難地域12市町村と県内の中核都市(福島市)を結ぶ路線である。それ以外の路線は避難地域12市町村と県外を結ぶ路線である。

東北アクセス株式会社が運行する福島線は、南相馬市の福島ロボットテストフィールドを起点とする。以前は飯舘村を経由したルートも設定されていたが、現在は運休中となっている。

## ●高速バス、都市間バスの概況図



## ●路線バス

令和4年12月現在、避難地域12市町村では、以下の路線バスが運行している。

これらのうち、旧網形成計画で策定・運行された広域バス路線(葛尾・船引線、川内・船引線、川内・富岡線、いわき・富岡線、川内・小野・上三坂線)は、いずれも複数の市町村にまたがる路線であり、令和4年8月の実態調査では、少数ではあるが隣町へまたがる生活の足としての利用が確認されている。

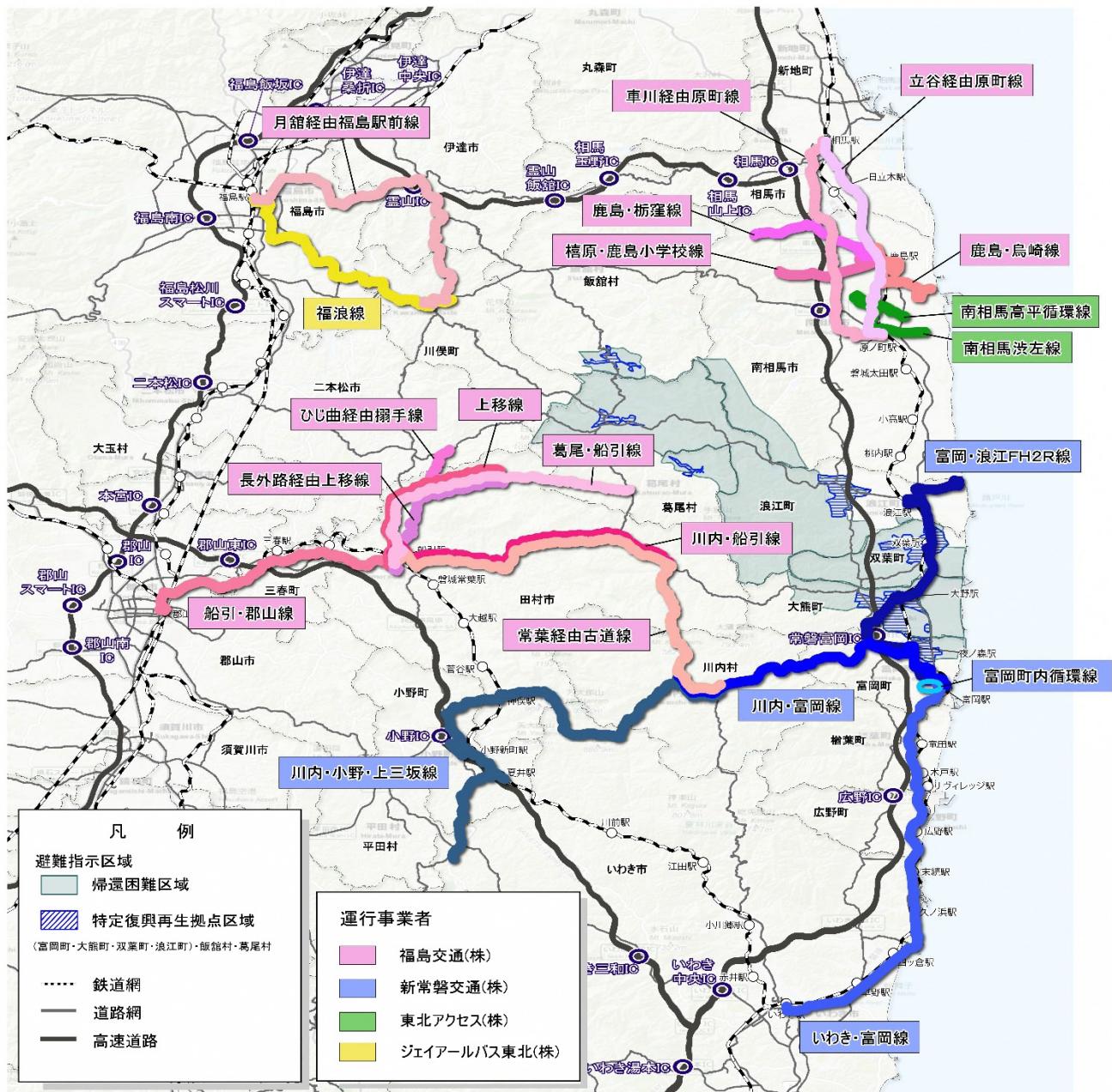
運行事業者	運行区間	運行本数
福島交通(株)	*立谷経由原町線 相馬市～南相馬市鹿島区～原町区 *車川経由原町線 相馬市～南相馬市鹿島区～原町区 *鹿島・栃窪線 南相馬市鹿島区内 *檍原・鹿島小学校線 南相馬市鹿島区内 *鹿島・烏崎線 南相馬市鹿島区内 *葛尾・船引線 葛尾村～田村市 *川内・船引線 川内村～田村市 *常葉経由古道線 田村市内 *長外路経由上移線 田村市内 *上移線 田村市内 *ひじ曲経由搦手線 田村市～二本松市 *船引・郡山線 田村市～三春町～郡山市 *月館経由福島駅前線 川俣町～伊達市～福島市	平日2往復 平日2往復 平日1～2往復 平日1～2往復 平日1～2往復 平日5、休日3往復 平日4、休日3往復 平日3、休日1往復 平日1、休日1往復 平日1、休日1往復 平日2、休日2往復 平日4、休日3往復 平日3、休日3往復
新常磐交通(株)	*川内・富岡線 川内村～富岡町 *いわき・富岡線 いわき市～広野町～楢葉町～富岡町 *川内・小野・上三坂線 川内村～小野町～いわき市	平日3往復 平日4、土曜3往復 平日3往復

運行事業者	運行区間	運行本数
新常磐交通(株)	* 富岡・浪江FH2R線 富岡町～大熊町～双葉町～浪江町 * 富岡・浪江FH2R線 浪江町内 * 富岡町内循環線 富岡町内	平日4往復 平日4往復 平日6、土曜6往復
東北アクセス(株)	* 南相馬高平循環線 南相馬市原町区内 * 南相馬渋左線 南相馬市原町区内	1～2往復 1～2往復
JRバス東北(株)	* 福浪線 川俣町～福島市	13～15往復

### <現状分析>

避難地域12市町村では、運行本数の少ないバス路線が多いが、通勤・通学の時間帯や鉄道への接続等、広域的な移動ニーズへの的確な対応と利便性の向上を図っていくことが求められる。

## ●路線バスの概況図

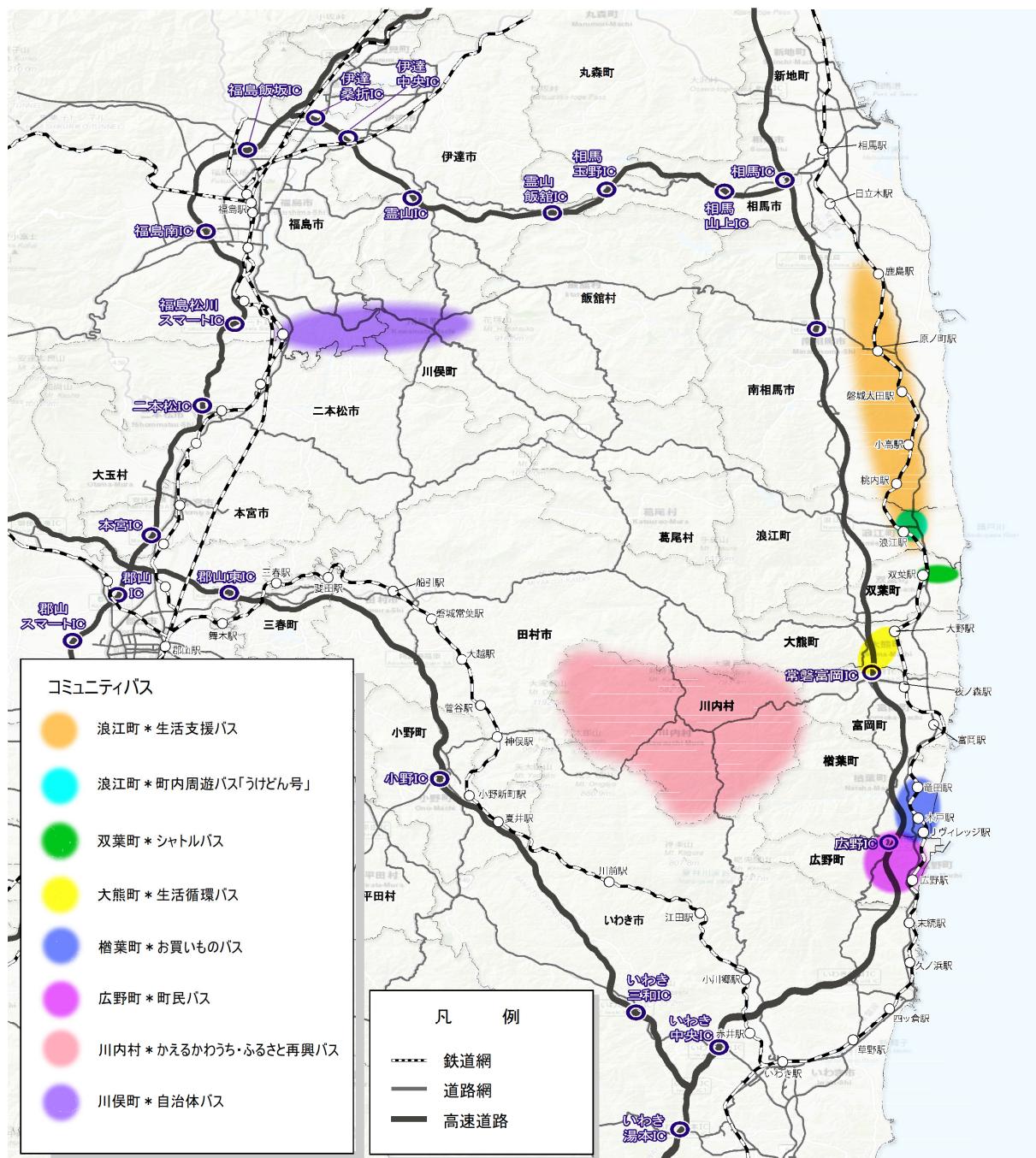


## ●コミュニティバス

令和4年12月現在、避難地域12市町村では、以下のコミュニティバス(定期運行サービス)が運行されている。

市町村	名称	運行ルート、特徴
浪江町	* 生活支援バス  * 町内周遊バス「うけどん号」	浪江町～南相馬市 毎週月・水・金運行、無料 浪江町～二本松市 毎月第2・4木曜運行、無料 浪江町中心部を循環 毎日夜間帯運行、無料
双葉町	* シャトルバス	双葉駅～伝承館・産業交流センター 毎日運行、200 円
大熊町	* 生活循環バス	大川原公営住宅～大野駅 毎日運行、無料 大川原公営住宅～富岡駅 毎日運行、無料
楓葉町	* お買い物のバス	楓葉町内4コース 毎週木・金運行、無料
広野町	* 町民バス	広野町内5コース 平日運行、無料
川内村	* かえるかわうち・ふるさと再興バス	川内村内10コース 平日運行、無料
川俣町	* 自治体バス	川俣高校前～松川駅 ①川俣松川線 ②川俣飯野線 平日運行(川俣町と福島市の共同運行)

## ●コミュニティバスの概況図



### (3)その他

#### ●タクシー

令和4年12月現在、避難地域12市町村におけるタクシー事業者数及び台数は以下のとおりである。

市町村	事業者数	保有台数
南相馬市	5社	45台
浪江町	1社	7台
双葉町	1社	5台
富岡町	3社	9台
楓葉町	3社	27台
広野町	1社	8台
川俣町	1社	6台
田村市	2社	29台

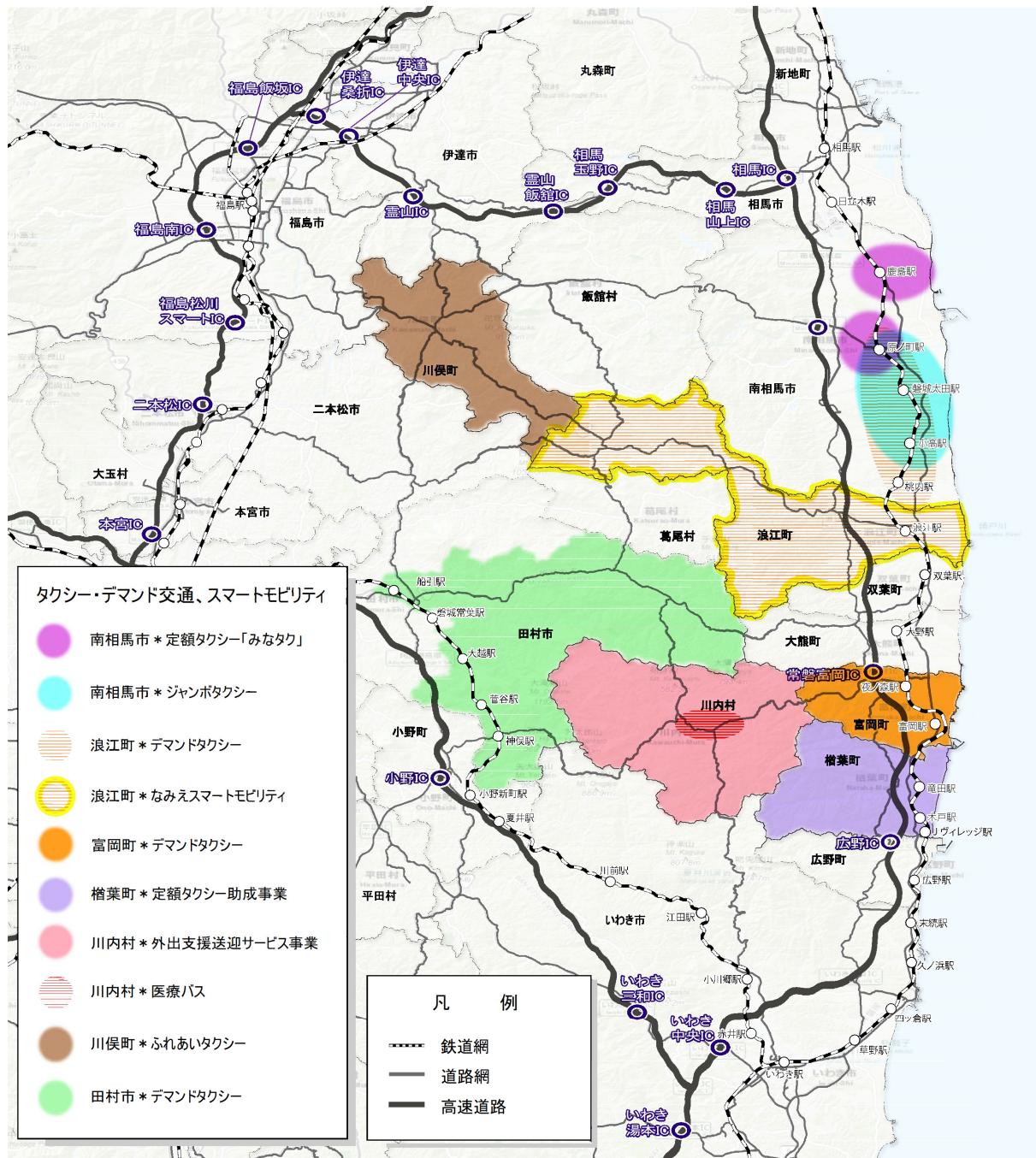
※一般社団法人福島県タクシー協会からの情報提供に基づく。休止中の事業者及び非会員を除く。

#### ●デマンド交通、スマートモビリティ

令和4年12月現在、避難地域12市町村では、以下のデマンド交通等が運行されている。

市町村	名称	サービス提供エリア
南相馬市	* 定額タクシー「みなタク」 * ジャンボタクシー	原町区、鹿島区 小高区
浪江町	* デマンドタクシー * なみえスマートモビリティ	浪江町内便、南相馬便 浪江町内
富岡町	* デマンドタクシー	富岡町内
楓葉町	* 定額タクシー助成事業	楓葉町内(利用者要件あり)
川内村	* 外出支援送迎サービス事業 * 医療バス	川内村～村内外 (利用者要件あり) 川内村内
川俣町	* デマンドタクシー「ふれあいタクシー」	川俣町内
田村市	* デマンドタクシー	田村市内及び小野町

## ●タクシー、デマンド交通、スマートモビリティの概況図



### <現状分析>

コミュニティバスやタクシー、デマンド交通、スマートモビリティは、鉄道や路線バス等の広域公共交通ではカバーできない域内交通を支えるために欠かせない移動手段である。今後も帰還住民や来訪者の移動ニーズに的確に対応するために、広域公共交通（路線バス）等の定期運行サービスと域内交通の適切な役割分担が求められる。

## 浪江町「なみえスマートモビリティ」

### 「なみえスマートモビリティ」とは

「なみえスマートモビリティ」は浪江町内の避難指示エリア以外の全域を運行しており、乗りたいときに、スマホアプリやデジタル停留所からスマモビを呼ぶと、最寄りの停留所に迎えに行くサービスである。

停留所は町内に250ヵ所、町中心部では実質徒歩1分以内にあり、木～土曜日は夜9時30分まで営業している。



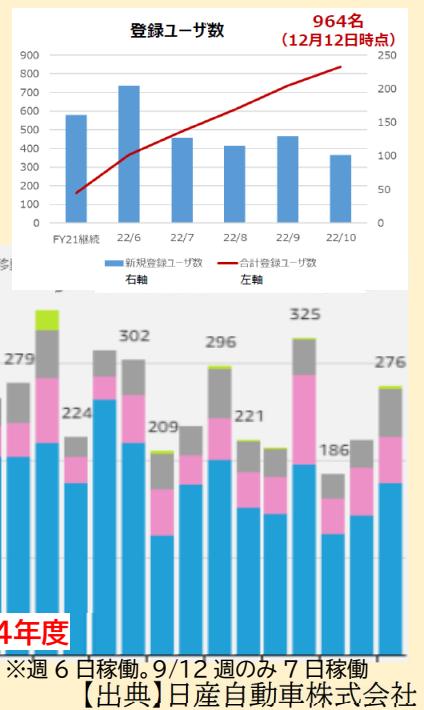
### ミニデジタル停留所サービス

ユーザー登録せずに使えるゲスト利用向け予約端末を令和4年10月12日から稼働開始し、9ヵ所にて稼働している。タクシーを呼ぶ感覚で気軽に利用でき、夜間の飲食店への移動や観光やビジネスでの来訪など、利用者の移動ニーズに合わせたサービスを提供している。また、郊外部など停留所の間隔がある地域では、ユーザー登録することで自宅の近くに停留所を設置できるため、より一層便利に利用できる。



### 利用状況

令和2年11月～令和3年2月及び令和3年6月～令和3年12月の約9ヶ月の実証実験の結果、1日の平均配車回数は40.8回となった。ユーザー登録数は令和4年12月時点で964名となっており、利用者は右肩上がりで増加している。実証運行を通じ、「なみえスマートモビリティ」のある景色が浪江町に定着している。



## 田村市「デマンドタクシー」

## 田村市「デマンドタクシー」

田村市では、これまでエリアごとに分かれて運行していた乗合タクシーを令和4年10月から「田村市デマンドタクシー」として実証運行を行っており、令和5年4月から新たに本格運行が開始される。

運行エリアや運行時間を拡充し、通院や買い物、送り迎え等、利用者の移動ニーズに合わせ、さらに便利で利用しやすく生まれ変わった。



事前登録不要でさらに便利に

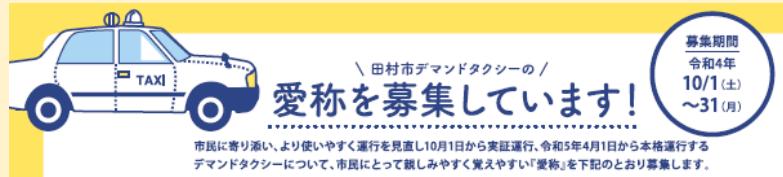
従来の乗合タクシーでは必要だった事前登録が不要になっている。利用30分前までに電話で予約するだけで利用することができる。

また、電話以外の予約方法として、LINE での予約受付の準備を進めており、より一層便利で気軽に利用できるようになる。(令和5年4月以降予約開始)



## 愛称の募集

市民に寄り添い、市民にとって親しみやすく覚えやすいデマンドタクシーになるような「愛称」を募集した。募集期間は令和4年10月1日～31日までとなっており、結果発表は令和5年4月に市政だより及びホームページにおいて発表予定。



【出典】:田村市

## 3-2 福島県避難地域広域公共交通網形成計画(旧網形成計画)の達成状況評価

### 目標1 複数市町村にまたがる公共交通の再開・充実

- ・ 県の主導の下、市町村間の広域公共交通を計画するための調整機関として「方部会」を開催し、現在、避難地域で生活されている方と、一時帰宅も含め避難地域に訪問される方の双方の視点に立ち、複数の市町村にまたがる路線バスの再開・充実及び継続運行を図ります。
- ・ 避難地域の広域的な日常生活の移動を支える、JR常磐線の運行再開を図ります。
- ・ 帰還の促進を図るための周知を行います。

#### 【施策の達成状況】

旧網形成計画に基づく6路線を地域公共交通確保維持改善事業(被災地特例)に位置付け、継続運行を図った。

利用状況は、事業1-6医大経由福島系統は、福島市～南相馬市間の都市間利用が多く、次いで相双地域から医科大学への利用となっており、通勤利用も見られたところである。令和元年度末からのコロナ禍で利用者数は減少し、回復半ばにある。

それ以外の路線では、主として高校生の通学利用が多く、次いで、買い物等での利用が見受けられる。事業1-1川内・富岡系統、事業1-2いわき・富岡系統、事業1-5川内・小野系統は、利用が低調であり、復興の進展を見据えながら、路線の在り方の検討を進めいく必要がある。

事業1-3葛尾・船引系統は、葛尾村にとって唯一の公共交通となっている。

このように、利用状況が低調な路線があるものの、避難地域の住民にとって通学・買い物・通院等に欠かせない路線として位置付けられており、今後も路線の維持・確保が求められる。

なお、帰還の促進を図るための周知活動として、「ふくしま復興のあゆみ」への掲載を始め、ホームページ等により周知広報を行った。

なお、個別路線の現状・課題の検証は、第5章にて行うものとする。

<避難地域12市町村を運行する広域路線バスの利用状況(1日当たり:人)>

	平成30年 事業年度	令和元年 事業年度	令和2年 事業年度	令和3年 事業年度	令和4年 事業年度
事業1-1 川内・富岡系統 平日3往復、休日 一	1.5	2.3	2.1	1.4	1.8
事業1-2 いわき・富岡系統 平日4往復、休日3往復	7.8	10.1	9.5	10.7	11.9
事業1-3 葛尾・船引系統 平日5往復、休日3往復	15.7	18.0	16.8	18.5	16.9
事業1-4 川内・船引系統 平日4往復、休日3往復	23.9	32.1	29.2	28.2	28.3
事業1-5 川内・小野系統 平日3往復、休日 一	3.4	5.3	6.9	9.8	10.3
事業1-6 医大経由福島系統 平日6往復、休日6往復	64.9	65.6	41.3	35.5	41.8
事業1-7 富岡・浪江FH2R系統 平日4往復、休日 一	—	—	—	1.3	2.5

**【評価指標】**

- 拠点内主要施設(高等学校・医療施設)まで、公共交通を利用してアクセス可能な市町村数

鉄道、広域路線バス等を利用して高等学校の始業時刻や医療機関の診療時間帯に間に合うようアクセス可能な市町村数は目標を達成しているものの、終業時刻や部活動の時間帯等に合わせたダイヤとはなっておらず、利便性の改善が課題である。

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値 令和4年度	評価
<高等学校> ・ふたば未来学園高等学校	3市町村 広野町、檜葉町、富岡町	7~8市町村	8市町村 広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、南相馬市	達成
・小高産業技術高等学校	3市町村 南相馬市、浪江町、飯館村	7~8市町村	8市町村 広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、南相馬市	達成
<医療施設> ・ふたば医療センター附属病院		8市町村	8市町村 広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、南相馬市	達成

## 目標2 広域公共交通と域内公共交通の有機的な連携

- ・復興拠点の整備等、復興まちづくりと連携を図りながら、広域公共交通と域内公共交通の結節点を設定し、双方の乗り継ぎ円滑化(ダイヤの調整や乗り継ぎ場所の確保等)を図ります。
- ・JR常磐線・広域路線バスと二次交通(タクシー・デマンド交通等)との機能分担を明確にし、域内公共交通の機能強化と通院・通学・買物の利便性向上を図ります。
- ・高齢者や移動困難者のための外出機会を促進するための支援策を行います。

### 【施策の達成状況】

計画期間中、主として以下の取組を実施した。

- 鉄道駅を結節点とし、ジャンボタクシー、定額タクシーの運行により高齢者・交通弱者等の外出を支援(南相馬市)
- 鉄道駅付近を経由するルート及び接続を考慮した町民バスの運行(広野町)
- 要支援・介護者、障がい者等の外出・移送支援の実施(広野町)
- 交通弱者を対象に町商業施設への送迎を目的としたお買い物バスを運行(楢葉町)
- 外出困難な方を対象に、おでかけタクシー助成事業を実施(楢葉町)
- 高齢者に適したマイクロモビリティの検証(試乗会)の実施(大熊町)
- 避難先でのコミュニティ支援バスの運行(双葉町)
- 鉄道駅を中心とした中心市街地の整備(浪江町)
- 村内デマンドバスによる公共広域バスへの乗り継ぎ強化(葛尾村)
- 予約により生活支援ワゴンがバス停まで送迎(飯館村)
- 駅前広場(交通ターミナル)の効率的な運用(いわき市)
- ダイヤ改正による域内公共交通と広域公共交通との乗り継ぎ強化(新常磐交通)



1人乗りの超小型4輪  
【出典 大熊町】



飯館村 生活支援ワゴン  
【出典 飯館村】

各市町村において域内公共交通を充実させるための取組が行われているが、これらの中には、無料運行であるにもかかわらず、利用が低調なものもある。

また、域内公共交通の多くが、鉄道や広域バス6路線との乗り継ぎを想定した運行ルート、運行ダイヤとなっていない状況にある。

さらには、域内公共交通の中には、当該市町村民に利用を限定するケースがあることや、サービスに関する情報が集約されておらず、サービスの存在自体を知ることが困難等の課題もある。

自家用車主体のライフスタイルが定着している中、引き続き、復興の進展を見据えた公共交通のニーズを調査・分析しながら、広域公共交通と域内公共交通の役割分担の合理化や必要に応じた統廃合に取り組む必要がある。

#### 【評価指標】

##### ○外出機会(公共交通利用機会)の増加

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値 令和4年度	評価
アンケート調査により、震災前に比べ外出機会が増加したと回答した割合	26%	39% 基準値×1.5	—	—

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、アンケート調査実施を見送り。

### 目標3 福島イノベーション・ココスト構想等拠点間の移動手段の確保

- ・ 研究拠点施設等の整備計画と連動し、周辺中核都市から拠点施設まで公共交通でアクセスできるよう、移動手段の確保を図ります。
- ・ 研究拠点施設や立地企業と協働し、拠点施設までの新たな交通手段の検討を行います。

#### 【施策の達成状況】

旧網形成計画の広域路線バス(医大経由福島系統【事業1-6】)、東北アクセス株式会社が運行するバス路線(南相馬ロボットテストフィールド線)、JR常磐線により、周辺中核都市である福島市、いわき市から10市町村の拠点施設まで、公共交通でアクセスできるようになっている。

公共交通分担率は低調であり、依然として自動車が移動手段の中心的役割を担っている。

研究拠点施設への移動ニーズを調査しながら、引き続き、最適な公共交通の在り方を検討していく必要がある。

#### 【評価指標】

○福島イノベーション・ココスト構想関連施設まで、公共交通を利用してアクセス可能な市町村数

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値 令和4年度	評価
福島ロボットテストフィールド (南相馬市)	—	10市町村	10市町村 広野町、楢葉町、 富岡町、大熊町、 双葉町、浪江町、 川内村、南相馬市、 飯舘村、川俣町	達成
福島水素エネルギー研究フィールド (浪江町)				
東日本大震災・原子力災害伝承館 (双葉町)				
廃炉環境国際共同研究センター (富岡町)	3市町村 広野町、楢葉町、富岡町	10市町村	10市町村 広野町、楢葉町、 富岡町、大熊町、 双葉町、浪江町、 川内村、南相馬市、 飯舘村、川俣町	達成
楢葉遠隔技術開発センター (楢葉町)				

## ○12市町村の従業人口及び公共交通分担率の増加

	基準値 平成30年度 ※	目標値 令和4年度	現況値 令和2年度	評価
従業人口	3.0千人	4.9千人	1.3千人	—
公共交通分担率	3.6%	5.4%	1.9%	—

※ 基準値は平成22年度の実績値である。

目標値は平成12年度の実績値と同等の値(基準値×1.5倍)としている。

国勢調査に基づく値となるため、現況値の年度は令和2年度となる。

## 目標4 避難地域の公共交通の利用促進と公共交通マネジメントの推進

- 公共交通の利用促進に向け、公共交通事業者や民間企業との連携を図りながら、避難地域の総合的な公共交通マネジメントの推進を図ります。
- 避難地域に初めて訪れる方や、これから帰還される方の公共交通の利用促進を図るため、バス利用の効果的な周知の実施を行います。
- 県の主導の下、市町村間の広域公共交通を計画するための調整機関として「方部会」を開催し、各自治体間で地域公共交通のノウハウや事業・情報の共有化を図るとともに、バス事業者の運転者の確保や、タクシー事業の再開・継続に向けた、避難地域の公共交通を支える人材の育成や確保のための支援を行います。

### 【施策の達成状況】

公共交通の利用促進に向け、福島県バス協会と連携した「福島バスまつり」の開催、バス・鉄道利用促進デー(毎月1日、11日、21日)などに取り組んだものの、令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出制限等の影響により、バス輸送人員は大幅に減少し、タクシー実働率も低下することとなった。

県では、令和2年度～4年度にわたり、県内バス事業者やタクシー事業者に対し国の臨時交付金を活用した緊急支援を行い、感染症対策及び公共交通の維持・確保を図った。

令和3年10月には、令和3年4月から運行を開始した広域路線バス(新常磐交通:富岡～浪江FH2R系統)を地域間幹線系統として旧網形成計画に位置付けるため、方部会を開催した。方部会の開催はこの1回のみであり、地域公共交通のノウハウや事業・情報の共有化を十分に図ることができたとは言い難い。

公共交通を支える人材は、運輸事業全体が慢性的な人手不足であり、定期路線の運行も危ぶまれる状況となっている。

**【評価指標】**

○バス輸送人員の増加

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値※ 令和2年度	評価
バス輸送人員	2, 115万人／年	2, 115万人／年	1, 342万人／年	未達成

○タクシー実働率の増加

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値※ 令和2年度	評価
タクシー実働率	60. 8%	60. 8%	52. 6%	未達成

### **3-3 福島県避難地域広域公共交通網形成計画(旧網形成計画)の総括**

計画に基づき避難地域12市町村を運行する7路線の広域路線バスが設定されたが、利用は低調である。

指標である「拠点内主要施設(高等学校・医療施設)まで、公共交通を利用してアクセス可能な市町村数」は目標を達成しているが、利用者数が少ないことから、住民や来訪者の移動ニーズに見合った運行形態となっていない可能性が高い。

このため、新たに策定する本計画では、上記の課題や旧網形成計画期間中のJR常磐線の全線運転再開等、広域公共交通を取り巻く状況の変化を踏まえながら、住民や来訪者の移動ニーズに見合った運行形態となるような広域路線バスの見直しや、域内公共交通との連携等による最適化を図るものとする。

広域公共交通は避難地域12市町村の復興を支える社会インフラであるとともに、超高齢化社会の本格到来、環境負荷の少ない移動手段としての重要性を踏まえ、利便性が高く、信頼できる移動手段として地域に定着するよう、関係機関等の連携による積極的な利活用に取り組む必要がある。

### 3-4 広域公共交通の課題

現状分析の結果、旧網形成計画の検証結果を踏まえ、避難地域12市町村における広域公共交通の課題を以下に整理する。

#### 課題① 更なる帰還促進のための広域公共交通ネットワークの構築

避難地域12市町村では、いまだ3万人に近い住民が避難生活を送っており、各市町村では、避難指示の解除時期等により帰還状況にばらつきが見られる。

避難地域12市町村では、学校、病院、商業施設などの生活関連施設は、全ての市町村には立地しておらず、原子力災害の影響により減少及び分散化している。これらの施設へアクセスするためには、広域的な移動が求められる場合もある。

希望する住民全員が帰還し、安全・安心に生活できるよう、生活関連施設への移動手段を確保するための広域公共交通ネットワークの構築に継続的に取り組む必要がある。



【出典】福島県　ふくしま復興情報ポータルサイト

## 課題② 交流人口・関係人口拡大のための広域公共交通ネットワークの構築

避難地域12市町村では、新たな産業団地や福島イノベーション・コースト構想等に基づく拠点施設が整備されており、今後も福島国際研究教育機構等の立地により、交流人口・関係人口の拡大が期待されるところである。

避難地域12市町村に新たに流入する人口に対しての効率的かつ利便性の高い移動手段が確保され、それによって産業基盤の復興・創生が促進されるよう、広域公共交通ネットワークの構築に継続的に取り組む必要がある。



【出典】福島県、廃炉環境国際共同研究センター

### 課題③ 持続可能な広域公共交通ネットワークの構築

旧網形成計画期間中は、新型コロナウイルス感染症が流行し、避難地域12市町村を運行する広域路線バスのみならず、全国的に公共交通の利用者数が減少し、その影響はいまだに続いている。

一方、旧網形成計画で策定・運行された広域バス路線は、通学・買物等、生活の足に欠かせない路線であり、関連自治体・交通関連事業者等が一体となり今後も維持・確保していくことが求められている。

このため、帰還住民や新たに流入する住民を含め、避難地域12市町村に住む全ての人々が、例えば、自動車運転免許証の返納等により自家用車の運転できなくなった場合でも遠方の病院に通院できるなど、長期にわたり安心して日常生活が送れるよう、最新技術の活用などによる公共交通の利便性の改善を図りながら、公共交通事業者の経営支援を含めた持続可能な広域公共交通ネットワークの構築に取り組む必要がある。



【出典】日産自動車株式会社、相馬市、新常磐交通株式会社

## 第4章 基本目標

---

### 4-1 避難地域12市町村における広域公共交通の意義・役割

広域公共交通は、県民の暮らしや生活圏域の経済活動を支えるとともに、本県の復興・創生を着実に進める上で、県域を越えた交流人口の拡大にも資する大切な社会基盤である。

避難地域12市町村における、広域公共交通は、上記に加え、以下の2点の意義・役割を有する。

#### ●住民帰還を促進するための社会基盤

東日本大震災・原発事故後、避難地域12市町村からピーク時で約10万人の住民が県内又は県外に避難し、その後、帰還は進んでいるものの、いまだ3万人近い住民が避難生活を送っている。

また、帰還困難区域の設定等により、復興公営住宅等の震災前とは別の場所での生活再建を余儀なくされた住民も多い。

こうした住民が安全・安心に生活できるよう移動手段を含めた日常生活の基盤を整備することは行政の責務である。

よって、避難地域12市町村では、原子力災害の全ての被災者が、居住地域にかかわらず、日常生活の移動手段が確保されている必要があり、特に代替となる移動手段がないエリアにおいては、利用人数の多寡にかかわらず、広域公共交通は維持・確保されなければならない。

#### ●福島イノベーション・コスト構想を支える社会基盤

福島イノベーション・コスト構想に基づき、避難地域12市町村のエリアでは、福島国際研究教育機構を始めとした拠点施設の整備が進められている。

鉄道駅やこれらの拠点施設を結ぶとともに、拠点施設間又は拠点施設と関連施設間を効率的かつ安全・安心に移動するための手段は、本構想の推進に伴い国内外からの研究者や拠点への来訪者など交流人口・関係人口の増加が想定される中、社会基盤の先行投資として整備される必要がある。

## 4-2 広域公共交通の将来像

本県では、福島県総合計画(令和4年度～12年度)において、県づくりの理念を以下のとおり掲げている。

### ●多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会(県)づくり

本県は原子力災害による様々な分断、風評、差別・偏見と10年にわたって戦ってきました。また、新型感染症により自由や人とのつながりが制限され、不安感や孤独感が増大するなどの困難に直面しています。

一方で、復興の軌跡の中で、本県に心を寄せてくださる皆さんとのご縁と協働により、数多くの絆が生まれました。

これらの経験から、本県は一人一人が互いに認め合い、つながりを広げ、共生できる地域社会(県)づくりを目指します。

### ●変化や危機にしなやかで強靭な地域社会(県)づくり

本県は、東日本大震災と原子力災害、さらに大規模災害、新型感染症など、三重、四重の困難な課題に直面し続けています。そして、それらの困難な課題への挑戦を続けてきた経験・知見からは、災害への対応力のみならず、コミュニティの再生など、地域の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けている本県ならではの回復力(レジリエンス)が培われています。

この本県で培われた強みを最大限いかしながら、様々な変化に対応できる強靭さ、健全さを備えた、人と人との支え合う地域社会(県)づくりを目指します。

### ●魅力を見いだし育み伸ばす地域社会(県)づくり

未曾有の複合災害の中にあって、福島が誇れる、おいしい食、美しい自然、県民の温かい心など、普段の生活では気づきにくい魅力や強みを改めて認識しました。

また、震災後、福島イノベーション・コースト構想などにより構築されたロボットや再生可能エネルギーなどの研究拠点は、ふくしまの未来を創る産業振興、人材育成を推進する大きな資産です。

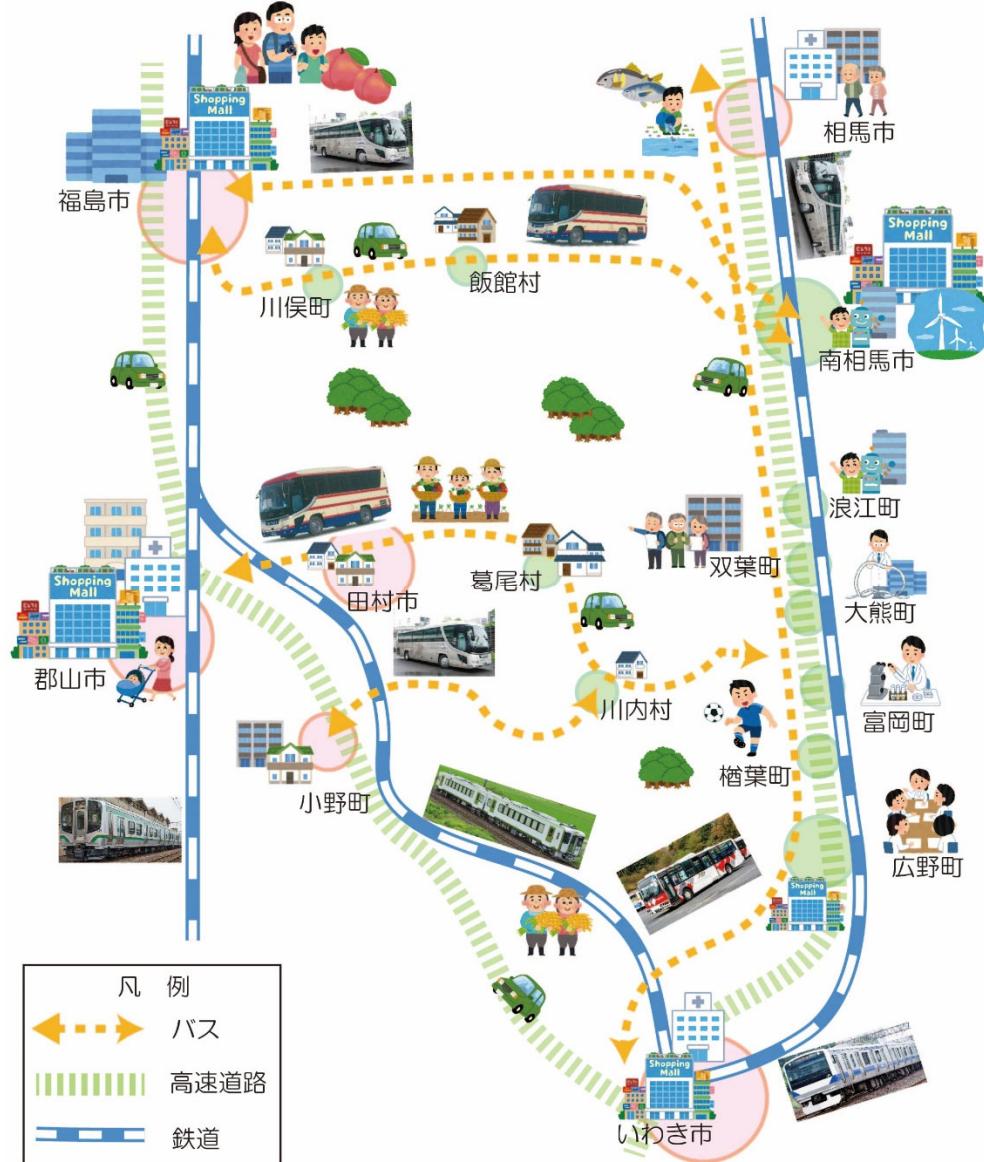
これらの財産を改めて見つめ直し、地域の魅力や価値に県民一人一人が関心を持ち次の世代へと育てつなげることができる地域社会(県)づくりを目指します。

「3-4広域公共交通の課題」や県の総合計画に掲げる将来像などを踏まえ、避難地域12市町村における広域公共交通の目指すべき将来像を以下のとおり設定する。

避難地域12市町村において、全ての住民が安心して暮らすとともに、交流人口等の新たな活力を呼び込むため、先進的で利便性が高く、充実した移動手段が確保されている。

生活拠点施設や福島イノベーション・コースト構想などにより構築された施設を相互につなぎ、交流の拡大やにぎわいを創出し、地域の魅力や価値を高めていく、持続可能な広域公共交通ネットワークが形成されている。

### ●広域公共交通の将来像



## **4-3 基本目標(計画期間内に達成する事項)**

3-4で示した避難地域12市町村における広域公共交通の課題を解決し、4-2で示した広域公共交通の将来像の実現に向けて、以下のとおり基本目標を定める。

### **(1)避難地域12市町村における広域路線バスの利便性向上**

旧網形成計画期間中の広域バス6+1<sup>※</sup>路線の利用状況や、生活関連施設の立地状況、福島イノベーション・コースト構想などに基づく拠点施設の整備などを踏まえ、広域バス6+1路線の運行ダイヤや運行本数等の改善を図り、利便性を高める。

※ 旧網形成計画では、平成30年4月の計画期間の開始時点で6路線、平成4年4月から新たに1路線(富岡～浪江FH2R系統、新常磐交通)を対象路線としている。

本計画の期間中は、DXによる運行形態の見直し等、利用ニーズに基づいた運行ダイヤの運行本数の最適化に継続的に取り組む。

なお、今後の避難指示解除に伴い、新たに設置される復興拠点等を経由するルートの設定など、復興の進展に応じた移動ニーズを的確に捉え、路線の新設・見直し等を柔軟に行うものとする。

**<3-4:広域公共交通の課題との関連>**

課題① 更なる帰還促進のための広域公共交通ネットワークの構築

課題② 交流人口・関係人口拡大のための広域公共交通ネットワークの構築

### **(2)避難地域12市町村における広域路線バスの利用促進**

地域公共交通は避難地域12市町村の復興・再生を支える重要な社会基盤であるから、地域公共交通に関わる様々な主体が一体となって、公共交通利用への関心を高め、公共交通利用のインセンティブを設定するなど、広域公共交通ネットワークを維持・確保していくための取組を推進する。

**<3-4:広域公共交通の課題との関連>**

課題③ 持続可能な広域公共交通ネットワークの構築

### **(3)避難地域12市町村における地域公共交通を維持・確保するための協議体制の充実・強化**

人口減少・高齢化の更なる進行により、多様化する移動ニーズに適切に対応していくため、法定協議会(福島県避難地域広域公共交通検討協議会)を基盤とした協議体制の充実・強化を図り、地域の多様な輸送資源の活用や、MaaS、AIなどの技術も活用した移動手段の効率化、生産性の向上に取り組む。

### <3-4:広域公共交通の課題との関連>

- 課題① 更なる帰還促進のための広域公共交通ネットワークの構築
- 課題② 交流人口・関係人口拡大のための広域公共交通ネットワークの構築
- 課題③ 持続可能な広域公共交通ネットワークの構築

## 【参考】関連する計画

### (1)福島県総合計画(令和4年度～12年度)

<政策分野別的主要施策－暮らし>

#### ●施策1:複合災害からの復興の加速化、避難地域の復興・再生

避難地域・生活再建のための避難解除等区域における生活環境等の整備や移住・定住の促進、交流人口・関係人口の拡大等によって、避難地域を始めとする本県の復興・再生を進めていきます。

##### (主な取組)

- 避難解除等区域における生活環境等の整備に関する取組  
避難解除等区域の道路等のインフラ施設、交通、医療、介護・福祉、買い物、防犯等の生活環境等の整備によって、避難解除等区域の復興・再生と住民帰還の促進を図ります。
- 避難解除等区域への新たな活力の呼び込みに関する取組  
避難解除等区域における移住・定住の促進や交流人口・関係人口の拡大など、新たな活力を呼び込むための取組を進めます。

<地域別的主要施策－相双地域>

##### (相双地域の目指す方向性)

帰還環境の整備に加え、交流・関係人口の拡大、持続可能な産業の創出・振興、次代を見据えた新たな社会基盤の構築等を進め、東日本大震災と原子力災害を乗り越え、活気と魅力に満ちた地域へと再生していきます。

##### (主要施策)

#### ●施策1:帰還促進と移住・定住の促進に向けた取組

- 帰還した住民、移住者、復興関連従事者等に必要な医療及び福祉サービスを確保できるよう、診療所や福祉施設の再開又は整備を支援します。
- 帰還した住民や移住者の生活に必要な買い物環境の整備や鳥獣被害対策に取り組みます。
- 地域住民の生活の足の確保や交流人口・関係人口の拡大を図るため、関係機関と連携してJR常磐線など公共交通の利活用促進に取り組みます。
- 東日本大震災・原子力災害伝承館を始めとした新たな復興・交流拠点の利活用を進め、復興ツーリズム、ホープツーリズムの体制づくりを推進します。
- 福島イノベーション・ココスト構想の進展により来訪者の増加が見込まれることから、国際教育研究拠点の整備を視野に入れた研究者やその家族を受け入れるための豊かな

住環境・生活環境、さらには、外国人受入体制の構築を進めます。

- ・スポーツ等を通じた交流の活性化を図るため、再始動したJヴィレッジを本県復興のシンボルとして有効活用し、交流人口の拡大に取り組みます。
- ・震災の教訓を国内外に発信するため、東日本大震災・原子力災害伝承館を始めとする管内の復興・交流拠点施設の利活用促進に取り組みます。

#### ●施策4:次代の潮流を踏まえた生活基盤の構築

- ・医療機関相互の役割分担や連携強化、医療と介護の連携を推進するなどにより医療提供体制の構築を図るとともに、医師や看護師等の医療従事者的人材確保対策及び定着支援に取り組みます。
- ・高齢者や障がい者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、市町村間の連携や、保健、医療、福祉の各分野におけるネットワークの構築を図ります。
- ・「福島12市町村の将来像」(避難地域12市町村)や、福島イノベーション・ココスト構想に基づく誰もが生活しやすい基盤づくりを進めます。

#### (2)福島12市町村の将来像に関する有識者検討会提言概要(令和3年3月)

<目指すべき30~40年後の地域の姿>

- ・避難指示の解除時期の違いに関わらず、いずれの市町村においても、防犯・防災はもとより、医療・介護・福祉、教育、買い物等における利便性が高く充実した生活環境が整備され、誰もが安心して暮らせるまちになっている。例えば、地域間連携の下、医療・福祉データの蓄積・共有・分析機能を備えた、高齢社会における先進的かつ安全・安心な生活環境が構築されている。また、福島県内各地域との連携はもとより、東京都市圏や仙台都市圏を含めた広域的な連携・協力を推進するための高規格幹線道路・地域高規格道路といった幹線道路ネットワークや地域間モビリティがより充実している。
- ・広域的な視点による多様性を生かした魅力ある観光地域づくりやホープツーリズム等の実施により、福島12市町村の魅力は大きく高まり、「誰もが住みたくなる、憧れるまち」となっており、帰還した住民や新たな移住・定住者、インバウンドを含めた観光や教育旅行など地域を訪れる交流人口等が増加している。

## 第5章 目標達成に向けた施策

活性化再生法第5条第4項の趣旨を踏まえ、事業別に以下のとおり目標を定める。

現行の被災地特例制度は令和7年事業年度(令和6年10月1日～令和7年9月30日)までの措置であり、現時点では令和8年事業年度(令和7年10月1日～令和8年9月30日)以降の措置は不透明であることから、目標値の設定は令和7年事業年度までとする。

令和8年事業年度以降の目標値については、今後の利用状況を見ながら、中間見直しの際に関係者で協議を行い設定するものとする。

### ●目標1「1日当たりの利用者数」

広域路線バスの1日当たりの利用者数を目標値とする。

<目標値設定の考え方>

被災地特例制度以外の国の支援制度である地域間幹線系統補助(通常補助)では、「1日当たりの輸送量」が15人以上150人未満であることが補助要件となっている。

本計画では、分かりやすい数値である「1日当たりの利用者数」を目標値とする。

輸送量と利用者数の違いは以下のとおり。

一般的に輸送量は利用者数を下回る。

・輸送量:バス路線の乗車密度(人)×運行回数(回)

乗車密度とは、バスに乗っている乗客数の全線(始発から終点まで)の平均。

・利用者数:バス路線の乗客数(延べ人数)

目標値について、具体的には、新型コロナウイルス感染症の流行前である令和元年事業年度(平成30年10月1日～令和元年9月30日)の実績値を基準値とする。

令和元年事業年度に運行していないバス路線については、直近の令和4年事業年度の実績値を基準値とする。

令和元～4年事業年度にかけて、利用者数が倍増している路線もあることを参考に、令和7年事業年度の目標値を基準値の2倍程度とする。

1便当たり1～2名以上乗車することは不可欠であるとの考えに基づき、目標値の上方修正を行う場合もある。

### ●目標2「事業収支」

事業収支は広域バス路線の経常費用に対する経常収益の割合(経常収益／経常費用)のことであり、事業収支の上昇を目指す。(100%を下回る路線は赤字路線)

## 施策1 広域路線バスの運行

### 事業1-1 川内～富岡系統

#### ●関連主体

新常磐交通株式会社、国、県、富岡町、川内村

#### ●事業内容

項目	内容
運行事業者	新常磐交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	小型バス(定員34名)
起点	川内車庫前
主な経由点	川内村役場、複合施設ゆふね、夜ノ森駅西口、とみおかアーカイブ・ミュージアム、富岡町役場、さくらモール・診療所前
終点	富岡駅前
停留所数	33箇所
運行距離	29.3km
所要時間	川内車庫前～富岡駅前 55分
運行回数	平日3往復
運賃	<対キロ区間制運賃> 川内車庫前～富岡駅前 ..... 950円 川内車庫前～さくらモール～診療所前 ..... 950円 ゆふね～富岡駅前 ..... 830円

## ●運行ルート図



## ●運行系統図(バス停一覧)

駅 公営住宅 商業施設 病院・診療所 公共等施設 産業団地

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 富岡駅前	富岡町	JR富岡駅
02 曲田住宅		曲田住宅
03 さくらモール・診療所前		さくらモールとみおか
04 警察署前		富岡町立とみおか診療所
05 今村病院		双葉警察署
06 富岡町役場		東京電力廃炉資料館
07 富岡町文化交流センター		富岡町役場
08 とみおかアーカイブ		ふたば医療センター附属病院
09 二小前		富岡町文化交流センター(学びの森)
10 二中前		富岡町総合スポーツセンター
11 夜ノ森駅西口		とみおかアーカイブ・ミュージアム
12 夜の森入口		
13 下町		
14 寺角		
15 上千里		
16 仲町		
17 上手岡		
18 境川		
		JR夜ノ森駅

バス停名称	市町村	主な周辺施設
19 五枚沢		
20 毛戸入口		
21 新鍋倉		
22 熊越		
23 ゆふね		複合施設ゆふね 川内村国民健康保険診療所 田ノ入工業団地
24 坂シ内	川内村	
25 下川内		
26 すわの杜公園		
27 宮の坂		商業施設 YO-TASHI
28 宮ノ下		
29 川内中前		川内村室内型村民プール
30 役場・かわうちの湯前		川内村役場 かわうちの湯
31 川内農協		
32 町分		
33 川内車庫前		



JR 富岡駅  
【出典】ユキサキ NAVI



商業施設 YO-TASHI  
【出典】川内村



かわうちの湯  
【出典】川内村



さくらモール とみおか

## ●現状・課題

東日本大震災・原発事故以降、長らく運休していた川内村と富岡町を結ぶバス路線について、平成30年4月から運行を再開。JR東日本鉄道路線(常磐線)から川内村を結ぶ唯一の二次交通であるとともに、川内村の住民が富岡町内の医療機関や商業施設、さらには相双地域の高等学校にアクセスするための重要な公共交通となっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年事業年度2.3人、令和2年事業年度2.1人、令和3年事業年度1.4人、令和4年事業年度1.8人と低調で推移しており、輸送密度も0.2人と低調である。

その要因として、震災以降、川内村から富岡町方面への人流が、いわき市や田村市方面に転換したこと、午前中の通学時間帯以外の便がないこと、川内村社会福祉協議会による高齢者を対象とした村外の医療機関や商業施設への無料送迎サービスとの競合などが挙げられる。

少数ながら、ふたば未来学園への通学利用、さくらモールとみおかへの買い物利用があり、川内村社会福祉協議会が取り組む無料送迎サービスは65歳以上高齢者に限定していることから、利用者のニーズに見合った運行となるよう、ダイヤの改善を図っていく必要がある。

## ●取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【新規】	川内村内の移動需要に対応すべく、新たに川内村複合商業施設YOTASHI前にバス停を設置する。
③ 運行ダイヤの見直し【新規】	午前中の通学以外の需要に対応すべく、新たに川内車庫前7~8時台始発のバスを増便する。

### ●事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

### ●目標値

年度	1日当たりの利用者数	事業収支
令和元年事業年度<基準値>	2. 3人	3. 9%
令和4年事業年度<現況値>	1. 8人	5. 7%
令和5年事業年度	5. 0人以上	上昇を目指す
令和6年事業年度	7. 5人以上	上昇を目指す
令和7年事業年度	10. 0人以上	上昇を目指す

※ 令和8年事業年度以降の目標値については、運行を継続する場合は、中間見直しの際に関係者で協議を行い設定するものとする。

### ●事業経費の負担(令和5～7年事業年度)

国	収支差等の1／2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1／2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

- ※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。
- ※ 令和5～7年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。
- ※ 令和8年事業年度以降の事業経費の負担の在り方については、今後の状況を見ながら、計画期間中に関係者で協議を行い、方針を決定するものとする。

## ●バス運行時刻表(令和5年4月1日現在)

【平日】富岡駅⇒ゆふね⇒川内車庫

停留所名	1	2	3
富岡駅前	13:30	5:30	17:35
曲田住宅	13:31	5:31	17:36
さくらモール・診療所前	13:31	5:31	17:36
警察署前	13:32	5:32	17:37
今村病院	13:33	5:33	17:38
とみおかアーカイブ・ミュージアム	13:34	5:34	17:39
富岡町文化交流センター	13:34	5:34	17:39
富岡町役場	13:35	5:35	17:40
二小前	13:38	5:38	17:43
二中前	13:39	5:39	17:44
夜ノ森駅西口	13:42	5:42	17:47
夜の森入口	13:44	5:44	17:49
下町	13:45	5:45	17:50
寺角	13:46	5:46	17:51
上千里	13:46	5:46	17:51
仲町	13:47	5:47	17:52
上手岡	13:49	5:49	17:54
境川	13:57	5:57	18:02
五枚沢	13:59	5:59	18:04
毛戸入口	14:01	6:01	18:06
新鍋倉	14:03	6:03	18:08
熊越	14:07	6:07	18:12
ゆふね	14:10	6:10	18:15
坂シ内	14:10	6:10	18:15
下川内	14:11	6:11	18:16
すわの杜公園	14:11	6:11	18:16
宮の坂	14:12	6:12	18:17
宮ノ下	14:13	6:13	18:18
川内中前	14:14	6:14	18:19
役場・かわうちの湯前	14:15	6:15	18:20
川内農協	14:17	6:17	18:22
町分	14:17	6:17	18:22
川内車庫前	14:25	6:25	18:30

※全ダイヤ、平日のみ運行

【平日】川内車庫⇒ゆふね⇒富岡駅

停留所名	1	2	3
川内車庫前	6:30	15:00	18:35
町分	6:30	15:00	18:35
川内農協	6:30	15:00	18:35
役場・かわうちの湯前	6:32	15:02	18:37
川内中前	6:33	15:03	18:38
宮ノ下	6:34	15:04	18:39
宮の坂	6:35	15:05	18:40
すわの杜公園	6:36	15:06	18:41
下川内	6:36	15:06	18:41
坂シ内	6:37	15:07	18:42
ゆふね	6:38	15:08	18:43
熊越	6:39	15:09	18:44
新鍋倉	6:42	15:12	18:47
毛戸入口	6:44	15:14	18:49
五枚沢	6:46	15:16	18:51
境川	6:48	15:18	18:53
上手岡	6:58	15:28	19:03
仲町	6:58	15:28	19:03
上千里	6:59	15:29	19:04
寺角	6:59	15:29	19:04
下町	7:00	15:30	19:05
夜の森入口	7:01	15:31	19:06
夜ノ森駅西口	7:03	15:33	19:08
二中前	7:06	15:36	19:11
二小前	7:07	15:37	19:12
とみおかアーカイブ・ミュージアム	7:11	15:41	19:16
富岡町文化交流センター	7:11	15:41	19:16
富岡町役場	7:12	15:42	19:17
今村病院	7:13	15:43	19:18
警察署前	7:14	15:44	19:19
さくらモール・診療所前	7:15	15:45	19:20
曲田住宅	7:15	15:45	19:20
富岡駅前	7:25	15:55	19:30

## 事業1-2 いわき～富岡系統

### ●関連主体

新常磐交通株式会社、国、県、富岡町、楢葉町、広野町、いわき市

### ●事業内容

項目	内容
運行事業者	新常磐交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	中型バス(定員57名)
起点	いわき駅前
主な経由点	波立薬師、久之浜駐在所、広野町役場、道の駅ならは、楢葉町役場、さくらモール・診療所前
終点	富岡駅前
停留所数	15箇所
運行距離	41.5km
所要時間	いわき駅前～富岡駅前 70分
運行回数	平日4往復
運賃	いわき駅前～富岡駅前 1,350円

## ●運行ルート図



## ●運行系統図(バス停一覧)

駅 公営住宅 商業施設 病院・診療所 学校 公共等施設

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 いわき駅前	いわき市	JRいわき駅、ラトブ
02 五色町		
03 神谷住宅口		
04 国道草野		
05 仁井田浦口		
06 東二丁目		
07 波立薬師		
08 久之浜駐在所		
09 広野町役場入口	広野町	広野町役場 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 大平未来団地 ひろのてらす
10 道の駅ならは	楢葉町	道の駅ならは
11 楢葉町役場		楢葉町役場 ここなら笑店街 ふたば復興診療所
12 月の下	富岡町	
13 さくらモール・診療所前		さくらモールとみおか 富岡町立とみおか診療所 廃炉資料館
14 曲田住宅		曲田住宅
15 富岡駅前		JR富岡駅 栄町団地



JR いわき駅  
【出典】株式会社交建設計



広野町役場  
【出典】福島県



ふたば未来学園中学校・高等学校  
(広野町)

【出典】ふたば未来学園中学校・高等学校



道の駅ならは

【出典】道の駅ならは



ここなら笑店街  
(楢葉町)

【出典】福島県



JR 富岡駅  
(富岡町)

【出典】ユキサキ NAVI

## ●現状・課題

主として、いわき市内から広野町方面への移動手段として利用され、ふたば未来学園への通学利用や、「道の駅ならは」温泉施設への移動手段としても利用されている。いわき市久之浜地区では唯一のバス路線となっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年事業年度10.1人、令和2年事業年度9.5人、令和3年事業年度10.7人、令和4年事業年度11.9人と低調である。その要因として、運行時帯の設定がふたば未来学園の通学時間(部活動終了時間)に合っていないことや、JR東日本鉄道路線(常磐線)との接続が不便であること、いわき市内の停留所が少ないと沿線の需要を取り込めていないことなどが挙げられる。

令和4年度時点の輸送密度も0.2人と低調である。

利用者のニーズに見合った運行となるよう、バス停の増設やダイヤの改善を図っていく必要がある。

## ●取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【新規】	いわき市内から双葉郡方面への移動需要にきめ細かに対応すべく、並行路線である「いわき四倉線」のバス停を本系統のバス停に追加する。あわせて、ここなら笑店街やJヴィレッジ前にバス停を新設するとともに、広野町役場前のバス停の場所を分かりやすい位置に移動することで利便性の向上を図る。
③ 運行ダイヤの見直し【新規】	ふたば未来学園への通学利便性の強化を図るため、部活動からの帰宅時間に合わせ、広野町役場入口18:14発よりも遅い時間帯での運行を設定する。

### ●事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

### ●目標値

年度	1日当たりの利用者数	事業収支
令和元年事業年度<基準値>	10. 1人	3. 9%
令和4年事業年度<現況値>	11. 9人	5. 7%
令和5年事業年度	15. 0人以上	上昇を目指す
令和6年事業年度	20. 0人以上	上昇を目指す
令和7年事業年度	30. 0人以上	上昇を目指す

※ いわき四倉線の統合による利用者増を見込む。

※ 令和8年事業年度以降の目標値については、運行を継続する場合は、中間見直しの際に関係者で協議を行い設定するものとする。

### ●事業経費の負担(令和5～7年事業年度)

国	収支差等の1／2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1／2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

- ※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。
- ※ 令和5～7年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。
- ※ 令和8年事業年度以降の事業経費の負担の在り方については、今後の状況を見ながら、計画期間中に関係者で協議を行い、方針を決定するものとする。

## ●バス運行時刻表(令和5年4月1日現在)

【平日】(急行)いわき駅⇒富岡駅

停留所名	1	2	3	4	5
いわき駅前発	7:00	8:45	11:30	16:35	16:35
五色町	7:04	8:49	11:34	16:39	16:39
神谷住宅口	7:09	8:54	11:39	16:44	16:44
国道草野	7:13	8:58	11:43	16:48	16:48
仁井田浦口	7:17	9:02	11:47	16:52	16:52
東二丁目	7:20	9:05	11:50	16:55	16:55
波立薬師	7:24	9:09	11:54	16:59	16:59
久之浜駐在所	7:28	9:13	11:58	17:03	17:03
広野町役場入口	7:50	9:25	12:10	17:15	17:15
道の駅ならは	7:57	9:32	12:17	17:22	17:22
楓葉町役場	8:03	9:38	12:23	17:28	17:28
月の下	8:12	9:47	12:32	17:37	17:37
さくらモール・診療所前	8:13	9:48	12:33	17:38	17:38
曲田住宅	8:13	9:48	12:33	17:38	17:38
富岡駅前	8:25	9:55	12:40	17:45	17:45

【平日】(急行)富岡駅⇒いわき駅

停留所名	1	2	3	4
富岡駅前発	7:40	12:45	16:15	17:50
曲田住宅	7:41	12:46	16:16	17:51
さくらモール・診療所前	7:41	12:46	16:16	17:51
月の下	7:42	12:47	16:17	17:52
楓葉町役場	7:51	12:56	16:26	18:01
道の駅ならは	7:57	13:02	16:32	18:07
広野町役場入口	8:04	13:09	16:39	18:14
久之浜駐在所	8:16	13:21	16:51	18:26
波立薬師	8:20	13:25	16:55	18:30
東二丁目	8:24	13:29	17:09	18:39
仁井田浦口	8:27	13:32	17:12	18:42
国道草野	8:31	13:36	17:16	18:46
神谷住宅口	8:35	13:40	17:20	18:50
五色町	8:40	13:45	17:25	18:55
いわき駅前	8:50	13:55	17:40	19:05

【土曜・日祝】(急行)いわき駅⇒富岡駅

停留所名	1	2	3
いわき駅前発	7:00	8:45	11:30
五色町	7:04	8:49	11:34
神谷住宅口	7:09	8:54	11:39
国道草野	7:13	8:58	11:43
仁井田浦口	7:17	9:02	11:47
東二丁目	7:20	9:05	11:50
波立薬師	7:24	9:09	11:54
久之浜駐在所	7:28	9:13	11:58
広野町役場入口	7:50	9:25	12:10
道の駅ならは	7:57	9:32	12:17
楓葉町役場	8:03	9:38	12:23
月の下	8:12	9:47	12:32
さくらモール・診療所前	8:13	9:48	12:33
曲田住宅	8:13	9:48	12:33
富岡駅前	8:25	9:55	12:40

【土曜・日祝】(急行)富岡駅⇒いわき駅

停留所名	1	2	3
富岡駅前発	12:45	16:15	17:50
曲田住宅	12:46	16:16	17:51
さくらモール・診療所前	12:46	16:16	17:51
月の下	12:47	16:17	17:52
楓葉町役場	12:56	16:26	18:01
道の駅ならは	13:02	16:32	18:07
広野町役場入口	13:09	16:39	18:14
久之浜駐在所	13:21	16:51	18:26
波立薬師	13:25	16:55	18:30
東二丁目	13:29	17:09	18:39
仁井田浦口	13:32	17:12	18:42
国道草野	13:36	17:16	18:46
神谷住宅口	13:40	17:20	18:50
五色町	13:45	17:25	18:55
いわき駅前	13:55	17:40	19:05

## 事業1-3 葛尾～船引系統

### ●関連主体

福島交通株式会社、国、県、葛尾村、田村市

### ●事業内容

項目	内容
運行事業者	福島交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	中型バス(定員57名)
起点	船引駅前
主な経由点	船引高校、瀬川住民センター、緑小学校、移農協
終点	落合
停留所数	57箇所
運行距離	27.5km
所要時間	船引駅前～落合 51分
運行回数	平日5往復
運賃	<対キロ区間制運賃> 落合～船引駅前 810円

### ●運行ルート図



## ●運行系統図(バス停一覧)

駅 公営住宅 商業施設 病院・診療所 公共等施設 学校 産業団地  
観光施設

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 船引駅前	田村市	JR船引駅
02 栄町		田村市役所
03 中町		たむら市民病院
04 安久津通り		
05 安久津橋		
06 馬場団地入口		
07 北区入口		
08 時の宮		
09 石崎団地		石崎北団地、石崎南団地
10 船引高校		船引高等学校
11 鐙ヶ池		ヨークベニマルメガステージ田村店
12 原		
13 大山原		
14 沼の下		
15 門鹿		
16 美山入口		
17 沢石入口		
18 大倉		
19 瀬川局前		
20 瀬川		
21 新館		
22 瀬川住民センター		
23 石橋		
24 山口		
25 石沢		
26 ひじ曲		
27 大石		
28 水中内		
29 岩登		
30 南移入口		
31 西作入口		
32 水の木入口		
33 東作入口		
34 緑小学校		
35 平入口		
36 移農協前		
37 上移		
38 移車庫		田村市役所移出張所

バス停名称	市町村	主な周辺施設
39 曲山	田村市	
40 下道		
41 大谷田		
42 境ノ岫		
43 上野川		
44 赤根久保		
45 東		🚃かつらおヤギ広場がらがらどん
46 湯殿		
47 清ノ内		
48 浜井場		
49 仲ノ内	葛尾村	
50 関場		
51 野川		
52 上重郎内		
53 重郎内		
54 湯ノ平		▣葛尾村産業団地
55 関下		
56 西ノ内		
57 落合		■葛尾村役場 ■葛尾村復興交流館あぜりあ



JR 船引駅 【出典】 田村市



船引高等学校 【出典】 船引高等学校



葛尾村役場 【出典】 福島県



葛尾村復興交流館あぜりあ 【出典】 葛尾村

## ●現状・課題

JR東日本鉄道路線(磐越東線)から葛尾村を結ぶ唯一の二次交通であるとともに、葛尾方面から船引高等学校(田村市)への通学や、田村市中心部の商業施設、さらには郡山方面の医療機関等にアクセスするための重要な公共交通となっている。

また、葛尾村は震災以降、高齢者のみの世帯が増加しており、免許返納等により運転免許証を持たない方からのニーズは震災前よりも多くなっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年度18.0人、令和2年度16.8人、令和3年度18.5人、令和4年度16.9人で推移しており、一定数の利用実績があるものの、輸送密度については令和4年度時点で2.1人と低調である。

葛尾村から田村高等学校(三春町)への通学移動や、郡山市方面の企業への通勤移動は、現時点では車での移動が中心となっているが、本路線とJR磐越東線との接続を改善することでバス利用への誘導が見込まれる。

## ●取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【新規】	葛尾村内での利便性を改善するため、バス路線の交通空白地帯への延伸について、利用実態を確認の上検討する。
③ 運行ダイヤの見直し【新規】	JR東日本鉄道路線(磐越東線)との乗り継ぎがスムーズに行えるよう、ダイヤの見直しを行う。

### ●事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

### ●目標値

年度	1日当たりの利用者数	事業収支
令和元年事業年度<基準値>	18.0人	10.4%
令和4年事業年度<現況値>	16.9人	12.2%
令和5年事業年度	20.0人以上	上昇を目指す
令和6年事業年度	30.0人以上	上昇を目指す
令和7年事業年度	40.0人以上	上昇を目指す

※ 令和8年事業年度以降の目標値については、運行を継続する場合は、中間見直しの際に関係者で協議を行い設定するものとする。

### ●事業経費の負担(令和5~7年事業年度)

国	収支差等の1／2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1／2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

- ※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。
- ※ 令和5~7年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。
- ※ 令和8年事業年度以降の事業経費の負担の在り方については、今後の状況を見ながら、計画期間中に関係者で協議を行い、方針を決定するものとする。

## ●バス運行時刻表(令和5年4月1日現在)

【平日】船引⇒葛尾

停留所名	1	2	3	4	5
船引駅前	7:30	10:30	12:20	15:50	18:17
栄町[田村市]	7:31	10:31	12:21	15:51	18:18
中町[田村市]	7:32	10:32	12:22	15:52	18:19
安久津通り	7:33	10:33	12:23	15:53	18:20
安久津橋	7:33	10:33	12:23	15:53	18:20
馬場団地入口	7:34	10:34	12:24	15:54	18:21
北区入口	7:35	10:35	12:25	15:55	18:22
時の宮	7:36	10:36	12:26	15:56	18:23
石崎団地	7:37	10:37	12:27	15:57	18:24
船引高校	7:38	10:38	12:28	15:58	18:25
鎧ヶ池	7:39	10:39	12:29	15:59	18:26
原[田村市]	7:40	10:40	12:30	16:00	18:27
大山原	7:41	10:41	12:31	16:01	18:28
沼の下[田村市]	7:42	10:42	12:32	16:02	18:29
門鹿	7:44	10:44	12:34	16:04	18:31
美山入口	7:45	10:45	12:35	16:05	18:32
沢石入口	7:46	10:46	12:36	16:06	18:33
大倉	7:48	10:48	12:38	16:08	18:35
瀬川局前	7:48	10:48	12:38	16:08	18:35
瀬川	7:49	10:49	12:39	16:09	18:36
新館	7:50	10:50	12:40	16:10	18:37
瀬川住民センター	7:51	10:51	12:41	16:11	18:38
石橋[田村市]	7:52	10:52	12:42	16:12	18:39
山口[田村市]	7:53	10:53	12:43	16:13	18:40
石沢	7:54	10:54	12:44	16:14	18:41
ひじ曲	7:56	10:56	12:46	16:16	18:43
大石	7:57	10:57	12:47	16:17	18:44
水中内	7:58	10:58	12:48	16:18	18:45
岩登	7:59	10:59	12:49	16:19	18:46
南移入口	8:00	11:00	12:50	16:20	18:47
西作入口	8:01	11:01	12:51	16:21	18:48
水の木入口	8:01	11:01	12:51	16:21	18:48
東作入口	8:02	11:02	12:52	16:22	18:49
緑小学校	8:02	11:02	12:52	16:22	18:49
平入口	8:03	11:03	12:53	16:23	18:50
移農協前	8:03	11:03	12:53	16:23	18:50
上移	8:04	11:04	12:54	16:24	18:51
移車庫	8:04	11:04	12:54	16:24	18:51
曲山[田村市]	8:05	11:05	12:55	16:25	18:52
下道	8:06	11:06	12:56	16:26	18:53
大谷田	8:07	11:07	12:57	16:27	18:54
境ノ岫	8:08	11:08	12:58	16:28	18:55
上野川	8:09	11:09	12:59	16:29	18:56
赤根久保	8:09	11:09	12:59	16:29	18:56
東	8:10	11:10	13:00	16:30	18:57
湯殿	8:10	11:10	13:00	16:30	18:57
清ノ内	8:11	11:11	13:01	16:31	18:58
浜井場[葛尾村]	8:11	11:11	13:01	16:31	18:58
仲ノ内[葛尾村]	8:12	11:12	13:02	16:32	18:59
閑場[葛尾村]	8:12	11:12	13:02	16:32	18:59
野川	8:13	11:13	13:03	16:33	19:00
上重郎内	8:14	11:14	13:04	16:34	19:01
重郎内[葛尾村]	8:15	11:15	13:05	16:35	19:02
湯ノ平	8:16	11:16	13:06	16:36	19:03
閑下[葛尾村]	8:17	11:17	13:07	16:37	19:04
西ノ内[葛尾村]	8:18	11:18	13:08	16:38	19:05
落合[葛尾村]	8:21	11:21	13:11	16:41	19:08

【平日】葛尾⇒船引

停留所名	1	2	3	4	5
落合[葛尾村]	7:30	8:45	12:00	14:30	17:20
西ノ内[葛尾村]	7:30	8:45	12:00	14:30	17:20
閑下[葛尾村]	7:30	8:45	12:00	14:30	17:20
湯ノ平	7:31	8:46	12:01	14:31	17:21
重郎内[葛尾村]	7:32	8:47	12:02	14:32	17:22
上重郎内	7:33	8:48	12:03	14:33	17:23
野川	7:33	8:48	12:03	14:33	17:23
閑場[葛尾村]	7:34	8:49	12:04	14:34	17:24
仲ノ内[葛尾村]	7:34	8:49	12:04	14:34	17:24
浜井場[葛尾村]	7:35	8:50	12:05	14:35	17:25
清ノ内	7:36	8:51	12:06	14:36	17:26
湯殿	7:37	8:52	12:07	14:37	17:27
東	7:38	8:53	12:08	14:38	17:28
赤根久保	7:39	8:54	12:09	14:39	17:29
上野川	7:39	8:54	12:09	14:39	17:29
境ノ岫	7:40	8:55	12:10	14:40	17:30
大谷田	7:42	8:57	12:12	14:42	17:32
下道	7:43	8:58	12:13	14:43	17:33
曲山[田村市]	7:44	8:59	12:14	14:44	17:34
移車庫	7:45	9:00	12:15	14:45	17:35
上移	7:45	9:00	12:15	14:45	17:35
移農協前	7:46	9:01	12:16	14:46	17:36
平入口	7:46	9:01	12:16	14:46	17:36
緑小学校	7:47	9:02	12:17	14:47	17:37
東作入口	7:47	9:02	12:17	14:47	17:37
水の木入口	7:48	9:03	12:18	14:48	17:38
西作入口	7:48	9:03	12:18	14:48	17:38
南移入口	7:49	9:04	12:19	14:49	17:39
岩登	7:50	9:05	12:20	14:50	17:40
水中内	7:51	9:06	12:21	14:51	17:41
大石	7:52	9:07	12:22	14:52	17:42
ひじ曲	7:53	9:08	12:23	14:53	17:43
石沢	7:55	9:10	12:25	14:55	17:45
山口[田村市]	7:56	9:11	12:26	14:56	17:46
石橋[田村市]	7:57	9:12	12:27	14:57	17:47
瀬川住民センター	7:58	9:13	12:28	14:58	17:48
新館	7:59	9:14	12:29	14:59	17:49
瀬川	8:00	9:15	12:30	15:00	17:50
瀬川局前	8:01	9:16	12:31	15:01	17:51
大倉	8:01	9:16	12:31	15:01	17:51
沢石入口	8:03	9:18	12:33	15:03	17:53
美山入口	8:04	9:19	12:34	15:04	17:54
門鹿	8:05	9:20	12:35	15:05	17:55
沼の下[田村市]	8:07	9:22	12:37	15:07	17:57
大山原	8:08	9:23	12:38	15:08	17:58
原[田村市]	8:09	9:24	12:39	15:09	17:59
鎧ヶ池	8:10	9:25	12:40	15:10	18:00
船引高校	8:11	9:26	12:41	15:11	18:01
石崎団地	8:12	9:27	12:42	15:12	18:02
時の宮	8:13	9:28	12:43	15:13	18:03
北区入口	8:14	9:29	12:44	15:14	18:04
馬場団地入口	8:15	9:30	12:45	15:15	18:05
船引駅前	8:18	9:33	12:48	15:18	18:08

【土曜・日祝】船引⇒葛尾

停留所名	1	2	3
船引駅前	11:00	15:00	18:17
栄町[田村市]	11:01	15:01	18:18
中町[田村市]	11:02	15:02	18:19
安久津通り	11:03	15:03	18:20
安久津橋	11:03	15:03	18:20
馬場団地入口	11:04	15:04	18:21
北区入口	11:05	15:05	18:22
時の宮	11:06	15:06	18:23
石崎団地	11:07	15:07	18:24
船引高校	11:08	15:08	18:25
鎧ヶ池	11:09	15:09	18:26
原[田村市]	11:10	15:10	18:27
大山原	11:11	15:11	18:28
沼の下[田村市]	11:12	15:12	18:29
門鹿	11:14	15:14	18:31
美山入口	11:15	15:15	18:32
沢石入口	11:16	15:16	18:33
大倉	11:18	15:18	18:35
瀬川局前	11:18	15:18	18:35
瀬川	11:19	15:19	18:36
新館	11:20	15:20	18:37
瀬川住民センター	11:21	15:21	18:38
石橋[田村市]	11:22	15:22	18:39
山口[田村市]	11:23	15:23	18:40
石沢	11:24	15:24	18:41
ひじ曲	11:26	15:26	18:43
大石	11:27	15:27	18:44
水中内	11:28	15:28	18:45
岩登	11:29	15:29	18:46
南移入口	11:30	15:30	18:47
西作入口	11:31	15:31	18:48
水の木入口	11:31	15:31	18:48
東作入口	11:32	15:32	18:49
緑小学校	11:32	15:32	18:49
平入口	11:33	15:33	18:50
移農協前	11:33	15:33	18:50
上移	11:34	15:34	18:51
移車庫	11:34	15:34	18:51
曲山[田村市]	11:35	15:35	18:52
下道	11:36	15:36	18:53
大谷田	11:37	15:37	18:54
境ノ岫	11:38	15:38	18:55
上野川	11:39	15:39	18:56
赤根久保	11:39	15:39	18:56
東	11:40	15:40	18:57
湯殿	11:40	15:40	18:57
清ノ内	11:41	15:41	18:58
浜井場[葛尾村]	11:41	15:41	18:58
仲ノ内[葛尾村]	11:42	15:42	18:59
閑場[葛尾村]	11:42	15:42	18:59
野川	11:43	15:43	19:00
上重郎内	11:44	15:44	19:01
重郎内[葛尾村]	11:45	15:45	19:02
湯ノ平	11:46	15:46	19:03
閑下[葛尾村]	11:47	15:47	19:04
西ノ内[葛尾村]	11:48	15:48	19:05
落合[葛尾村]	11:51	15:51	19:08

【土曜・日祝】葛尾⇒船引

停留所名	1	2	3
落合[葛尾村]	8:00	12:00	16:00
西ノ内[葛尾村]	8:00	12:00	16:00
閑下[葛尾村]	8:00	12:00	16:00
湯ノ平	8:01	12:01	16:01
重郎内[葛尾村]	8:02	12:02	16:02
上重郎内	8:03	12:03	16:03
野川	8:03	12:03	16:03
閑場[葛尾村]	8:04	12:04	16:04
仲ノ内[葛尾村]	8:04	12:04	16:04
浜井場[葛尾村]	8:05	12:05	16:05
清ノ内	8:06	12:06	16:06
湯殿	8:07	12:07	16:07
東	8:08	12:08	16:08
赤根久保	8:09	12:09	16:09
上野川	8:09	12:09	16:09
境ノ岫	8:10	12:10	16:10
大谷田	8:12	12:12	16:12
下道	8:13	12:13	16:13
曲山[田村市]	8:14	12:14	16:14
移車庫	8:15	12:15	16:15
上移	8:15	12:15	16:15
移農協前	8:16	12:16	16:16
平入口	8:16	12:16	16:16
緑小学校	8:17	12:17	16:17
東作入口	8:17	12:17	16:17
水の木入口	8:18	12:18	16:18
西作入口	8:18	12:18	16:18
南移入口	8:19	12:19	16:19
岩登	8:20	12:20	16:20
水中内	8:21	12:21	16:21
大石	8:22	12:22	16:22
ひじ曲	8:23	12:23	16:23
石沢	8:25	12:25	16:25
山口[田村市]	8:26	12:26	16:26
石橋[田村市]	8:27	12:27	16:27
瀬川住民センター	8:28	12:28	16:28
新館	8:29	12:29	16:29
瀬川	8:30	12:30	16:30
瀬川局前	8:31	12:31	16:31
大倉	8:31	12:31	16:31
沢石入口	8:33	12:33	16:33
美山入口	8:34	12:34	16:34
門鹿	8:35	12:35	16:35
沼の下[田村市]	8:37	12:37	16:37
大山原	8:38	12:38	16:38
原[田村市]	8:39	12:39	16:39
鎧ヶ池	8:40	12:40	16:40
船引高校	8:41	12:41	16:41
石崎団地	8:42	12:42	16:42
時の宮	8:43	12:43	16:43
北区入口	8:44	12:44	16:44
馬場団地入口	8:45	12:45	16:45
船引駅前	8:48	12:48	16:48

## 事業1-4 川内～船引系統

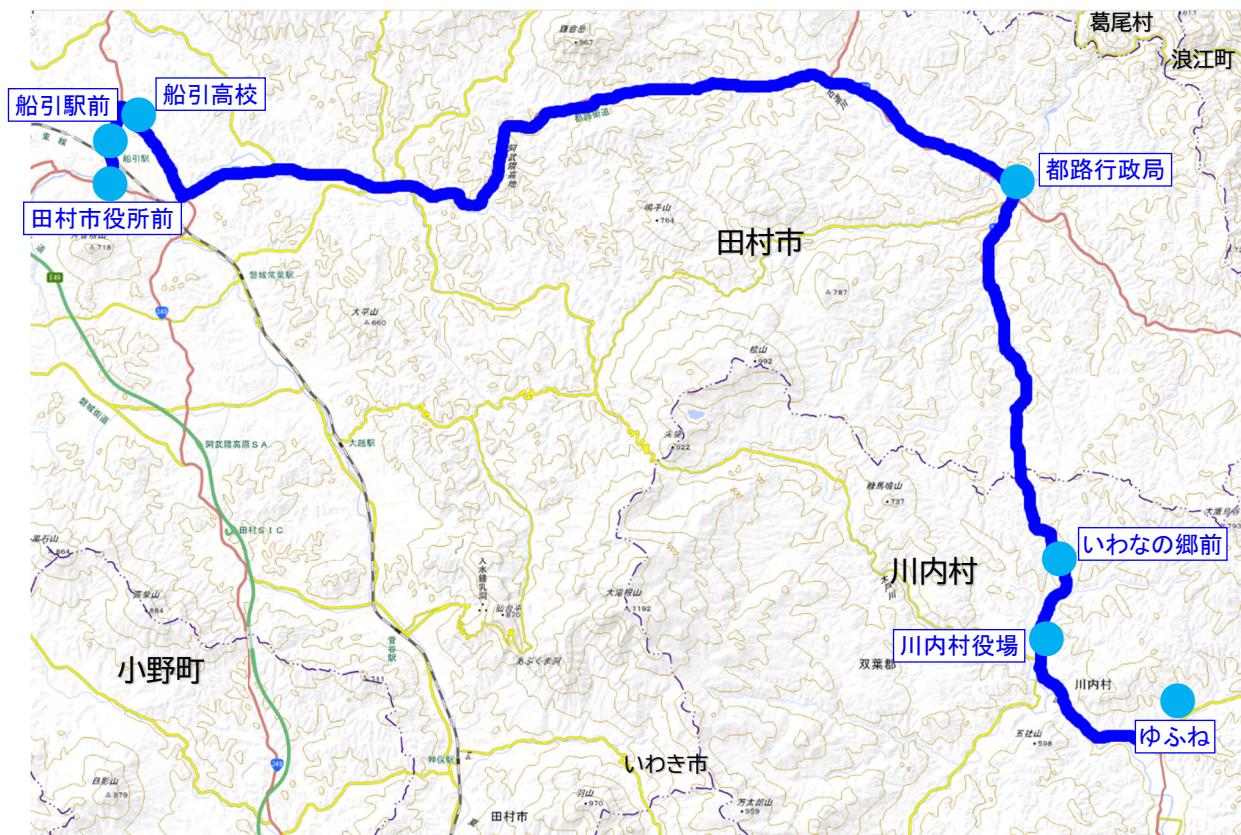
### ●関連主体

福島交通株式会社、国、県、川内村、田村市

### ●事業内容

項目	内容
運行事業者	福島交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	中型バス(定員57名)
起点	ゆふね
主な経由点	川内村役場・かわうちの湯、川内農協、いわなの郷、都路郵便局、都路小学校、船引高校、田村市役所
終点	船引駅前
停留所数	63箇所
運行距離	44.5km
所要時間	ゆふね～船引駅前 85分
運行回数	平日4往復
運賃	<対キロ区間制運賃> ゆふね～船引駅前 1,570円

### ●運行ルート図



### ●運行系統図(バス停一覧)

駅 公営住宅 商業施設 病院・診療所 公共等施設 学校 産業団地

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 船引駅前		JR船引駅
02 田村市役所前		田村市役所
03 石崎		
04 船引高校		船引高等学校 ヨークベニマルメガステージ田村店
05 源次郎		
06 東部台3丁目		
07 東部台4丁目		
08 舘柄前		
09 中の内		
10 板橋入口		
11 真城		
12 西向		
13 上鹿山入口		
14 川久保		
15 西田		
16 常光寺		
17 常葉荒町		
18 常葉中町		
19 常葉局前		
20 常葉上町		
21 常葉車庫		
	田村市	

バス停名称	市町村	主な周辺施設
22 本坊	田村市	
23 石蒔田		
24 堀田入口		
25 四重城入口		
26 沢又入口		 田村市東部産業団地
27 余平田		
28 月の田和		
29 山根		
30 雨乞平		
31 北作入口		
32 西戸		
33 平内地		
34 岩井沢		 都路町商業施設 Domo 岩井沢店
35 平蔵内		
36 言神入口		
37 楠梨		
38 新田		
39 上道の内		
40 中屋敷		
41 下道の内		
42 芹沢		
43 古道車庫		
44 都路行政局		 都路町商業施設 Domo 古道店
45 都路小学校前		
46 都路行政局		 田村市役所都路診療所
47 都路郵便局		
48 大龜神社		
49 白石		
50 合子入口		
51 春日前		
52 いわなの郷前	川内村	 いわなの郷
53 林		
54 車庫前		
55 川内農協		
56 役場かわうちの湯前		 川内村役場、  かわうちの湯
57 川内中前		 川内村室内型村民プール
58 宮ノ下		
59 宮の坂		 商業施設 YO-TASHI
60 すわの杜公園		
61 坂シ内		
62 ゆふね		 複合施設ゆふね  川内村国民健康保険診療所



JR 船引駅  
(田村市)  
【出典】田村市



田村市役所  
(田村市)  
【出典】福島県



かわうちの湯  
(川内村)  
【出典】川内村



複合施設ゆふね  
(川内村)  
【出典】特定非営利活動法人  
あぶくま地域づくり推進機構

## ●現状・課題

川内村から田村市の医療機関や商業施設、高等学校にアクセスするための重要な公共交通となっている。

1 日当たりの利用者数は、令和元年度32.1人、令和2年度29.2人、令和3年度28.2人、令和4年度28.3人で、JR東日本鉄道路線(磐越東線)の沿線から離れた田村市常葉町及び都路町の住宅地を経由することから、田村市内間の利用も多い傾向にあるものの、輸送密度については令和4年度時点で3.2人と低調である。

JR東日本船引駅での鉄道路線(磐越東線)との乗り換えに時間要する場合があり、鉄道利用者のニーズを取り込むため、鉄道を含めたダイヤの改善を図る余地がある。

## ●取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【新規】	田村市内における古道線との運行経路重複区間の見直しを行う。
③ 運行ダイヤの見直し【新規】	JR東日本鉄道路線(磐越東線)との乗り継ぎがスムーズに行えるよう、ダイヤの見直しを行う。

### ●事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

### ●目標値

年度	1日当たりの利用者数	事業収支
令和元年事業年度<基準値>	32.1人	18.3%
令和4年事業年度<現況値>	28.3人	17.5%
令和5年事業年度	40.0人以上	上昇を目指す
令和6年事業年度	50.0人以上	上昇を目指す
令和7年事業年度	60.0人以上	上昇を目指す

※ 令和8年事業年度以降の目標値については、運行を継続する場合は、中間見直しの際に関係者で協議を行い設定するものとする。

### ●事業経費の負担(令和5~7年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

- ※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。
- ※ 令和5~7年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。
- ※ 令和8年事業年度以降の事業経費の負担の在り方については、今後の状況を見ながら、計画期間中に関係者で協議を行い、方針を決定するものとする。

## ●バス運行時刻表(令和5年4月1日現在)

【平日】船引⇒川内

停留所名	1	2	3	4
船引駅前	6:45	11:55	16:00	18:20
田村市役所前	6:46	11:56	16:01	18:21
石崎	6:47	11:57	16:02	18:22
船引高校	6:48	11:58	16:03	18:23
源次郎	6:49	11:59	16:04	18:24
東部台三丁目	6:50	12:00	16:05	18:25
東部台四丁目	6:51	12:01	16:06	18:26
館柄前	6:53	12:03	16:08	18:28
中の内[田村市]	6:55	12:05	16:10	18:30
板橋入口	6:57	12:07	16:12	18:32
真城	6:58	12:08	16:13	18:33
西向[田村市]	6:59	12:09	16:14	18:34
上鹿山入口	7:00	12:10	16:15	18:35
川久保	7:02	12:12	16:17	18:37
西田	7:03	12:13	16:18	18:38
常光寺	7:04	12:14	16:19	18:39
常葉荒町	7:05	12:15	16:20	18:40
常葉中町	7:06	12:16	16:21	18:41
常葉局前	7:06	12:16	16:21	18:41
常葉上町	7:07	12:17	16:22	18:42
常葉車庫	7:07	12:17	16:22	18:42
本坊	7:07	12:17	16:22	18:42
石蒔田	7:08	12:18	16:23	18:43
堀田入口	7:09	12:19	16:24	18:44
四重城入口	7:09	12:19	16:24	18:44
沢又入口	7:11	12:21	16:26	18:46
余平田	7:11	12:21	16:26	18:46
月の田和	7:12	12:22	16:27	18:47
山根	7:14	12:24	16:29	18:49
雨乞平	7:16	12:26	16:31	18:51
北作入口	7:19	12:29	16:34	18:54
西戸	7:21	12:31	16:36	18:56
平内地	7:23	12:33	16:38	18:58
岩井沢	7:24	12:34	16:39	18:59
平蔵内	7:24	12:34	16:39	18:59
言神入口	7:25	12:35	16:40	19:00
檜梨	7:27	12:37	16:42	19:02
新田[田村市]	7:28	12:38	16:43	19:03
上道の内	7:29	12:39	16:44	19:04
中屋敷[田村市]	7:29	12:39	16:44	19:04
下道の内	7:30	12:40	16:45	19:05
芹沢[田村市]	7:32	12:42	16:47	19:07
古道車庫	7:36	12:46	16:51	19:11
都路行政局	7:37	12:47	16:52	19:12
都路小学校前	7:38	12:48	16:53	19:13
都路行政局	7:38	12:48	16:53	19:13
都路郵便局	7:38	12:48	16:53	19:13
大亀神社	7:39	12:49	16:54	19:14
白石[田村市]	7:40	12:50	16:55	19:15
合子入口	7:46	12:56	17:01	19:21
春日前	7:47	12:57	17:02	19:22
いわなの郷前	7:56	13:06	17:11	19:31
林[川内村]	7:57	13:07	17:12	19:32
車庫前	7:59	13:09	17:14	19:34
川内農協	8:00	13:10	17:15	19:35
役場・かわうちの湯前[川内村]	8:02	13:12	17:17	19:37
川内中前	8:04	13:14	17:19	19:39
宮ノ下[川内村]	8:05	13:15	17:20	19:40
宮の坂	8:05	13:15	17:20	19:40
すわの杜公園	8:06	13:16	17:21	19:41
坂ジ内	8:07	13:17	17:22	19:42
ゆふね	8:10	13:20	17:25	19:45

【平日】川内⇒上三坂

停留所名	1	2	3	4
ゆふね	6:25	8:15	13:55	17:35
坂ジ内	6:26	8:16	13:56	17:36
すわの杜公園	6:27	8:17	13:57	17:37
宮の坂	6:28	8:18	13:58	17:38
宮ノ下[川内村]	6:28	8:18	13:58	17:38
川内中前	6:29	8:19	13:59	17:39
役場・かわうちの湯前[川内村]	6:31	8:21	14:01	17:41
川内農協	6:33	8:23	14:03	17:43
車庫前	6:34	8:24	14:04	17:44
林[川内村]	6:36	8:26	14:06	17:46
いわなの郷前	6:37	8:27	14:07	17:47
春日前	6:46	8:36	14:16	17:56
合子入口	6:47	8:37	14:17	17:57
白石[田村市]	6:53	8:43	14:23	18:03
大亀神社	6:54	8:44	14:24	18:04
都路郵便局	6:55	8:45	14:25	18:05
都路行政局	6:55	8:45	14:25	18:05
都路小学校前	6:56	8:46	14:26	18:06
都路行政局	6:56	8:46	14:26	18:06
古道車庫	6:57	8:47	14:27	18:07
芹沢[田村市]	7:01	8:51	14:31	18:11
下道の内	7:03	8:53	14:33	18:13
中屋敷[田村市]	7:04	8:54	14:34	18:14
上道の内	7:05	8:55	14:35	18:15
新田[田村市]	7:05	8:55	14:35	18:15
檜梨	7:06	8:56	14:36	18:16
言神入口	7:08	8:58	14:38	18:18
平蔵内	7:09	8:59	14:39	18:19
岩井沢	7:09	8:59	14:39	18:19
平内地	7:10	9:00	14:40	18:20
西戸	7:12	9:02	14:42	18:22
北作入口	7:14	9:04	14:44	18:24
雨乞平	7:17	9:07	14:47	18:27
山根	7:19	9:09	14:49	18:29
月の田和	7:21	9:11	14:51	18:31
余平田	7:22	9:12	14:52	18:32
沢又入口	7:22	9:12	14:52	18:32
四重城入口	7:24	9:14	14:54	18:34
堀田入口	7:24	9:14	14:54	18:34
石蒔田	7:25	9:15	14:55	18:35
本坊	7:26	9:16	14:56	18:36
常葉車庫	7:26	9:16	14:56	18:36
常葉上町	7:26	9:16	14:56	18:36
常葉局前	7:27	9:17	14:57	18:37
常葉中町	7:27	9:17	14:57	18:37
常葉荒町	7:28	9:18	14:58	18:38
常光寺	7:29	9:19	14:59	18:39
西田	7:30	9:20	15:00	18:40
川久保	7:31	9:21	15:01	18:41
上鹿山入口	7:33	9:23	15:03	18:43
西向[田村市]	7:34	9:24	15:04	18:44
真城	7:35	9:25	15:05	18:45
板橋入口	7:36	9:26	15:06	18:46
中の内[田村市]	7:38	9:28	15:08	18:48
館柄前	7:39	9:29	15:09	18:49
東部台四丁目	7:40	9:30	15:10	18:50
東部台三丁目	7:41	9:31	15:11	18:51
源次郎	7:42	9:32	15:12	18:52
船引高校	7:43	9:33	15:13	18:53
石崎	7:44	9:34	15:14	18:54
田村市役所前	7:45	9:35	15:15	18:55
五升車	7:45	9:35	15:15	18:55
船引駅前	7:50	9:40	15:20	19:00

【土曜・日祝】川内⇒船引

停留所名	1	2	3
船引駅前	8:35	14:00	18:20
田村市役所前	8:36	14:01	18:21
石崎	8:37	14:02	18:22
船引高校	8:38	14:03	18:23
源次郎	8:39	14:04	18:24
東部台三丁目	8:40	14:05	18:25
東部台四丁目	8:41	14:06	18:26
館柄前	8:43	14:08	18:28
中の内[田村市]	8:45	14:10	18:30
板橋入口	8:47	14:12	18:32
真城	8:48	14:13	18:33
西向[田村市]	8:49	14:14	18:34
上鹿山入口	8:50	14:15	18:35
川久保	8:52	14:17	18:37
西田	8:53	14:18	18:38
常光寺	8:54	14:19	18:39
常葉荒町	8:55	14:20	18:40
常葉中町	8:56	14:21	18:41
常葉局前	8:56	14:21	18:41
常葉上町	8:57	14:22	18:42
常葉車庫	8:57	14:22	18:42
本坊	8:57	14:22	18:42
石蒔田	8:58	14:23	18:43
堀田入口	8:59	14:24	18:44
四重城入口	8:59	14:24	18:44
沢又入口	9:01	14:26	18:46
余平田	9:01	14:26	18:46
月の田和	9:02	14:27	18:47
山根	9:04	14:29	18:49
雨乞平	9:06	14:31	18:51
北作入口	9:09	14:34	18:54
西戸	9:11	14:36	18:56
平内地	9:13	14:38	18:58
岩井沢	9:14	14:39	18:59
平蔵内	9:14	14:39	18:59
言神入口	9:15	14:40	19:00
檜梨	9:17	14:42	19:02
新田[田村市]	9:18	14:43	19:03
上道の内	9:19	14:44	19:04
中屋敷[田村市]	9:19	14:44	19:04
下道の内	9:20	14:45	19:05
芹沢[田村市]	9:22	14:47	19:07
古道車庫	9:26	14:51	19:11
都路行政局	9:27	14:52	19:12
都路小学校前	9:28	14:53	19:13
都路行政局	9:28	14:53	19:13
都路郵便局	9:28	14:53	19:13
大龜神社	9:29	14:54	19:14
白石[田村市]	9:30	14:55	19:15
合子入口	9:36	15:01	19:21
春日前	9:37	15:02	19:22
いわなの郷前	9:46	15:11	19:31
林[川内村]	9:47	15:12	19:32
車庫前	9:49	15:14	19:34
川内農協	9:50	15:15	19:35
役場・かわうちの湯前[川内村]	9:52	15:17	19:37
川内中前	9:54	15:19	19:39
宮ノ下[川内村]	9:55	15:20	19:40
宮の坂	9:55	15:20	19:40
すわの杜公園	9:56	15:21	19:41
坂シ内	9:57	15:22	19:42
ゆふね	10:00	15:25	19:45

【土曜・日祝】川内⇒船引

停留所名	1	2	3
ゆふね	6:25	10:15	15:35
坂シ内	6:26	10:16	15:36
すわの杜公園	6:27	10:17	15:37
宮の坂	6:28	10:18	15:38
宮ノ下[川内村]	6:28	10:18	15:38
川内中前	6:29	10:19	15:39
役場・かわうちの湯前[川内村]	6:31	10:21	15:41
川内農協	6:33	10:23	15:43
車庫前	6:34	10:24	15:44
林[川内村]	6:36	10:26	15:46
いわなの郷前	6:37	10:27	15:47
春日前	6:46	10:36	15:56
合子入口	6:47	10:37	15:57
白石[田村市]	6:53	10:43	16:03
大龜神社	6:54	10:44	16:04
都路郵便局	6:55	10:45	16:05
都路行政局	6:55	10:45	16:05
都路小学校前	6:56	10:46	16:06
都路行政局	6:56	10:46	16:06
古道車庫	6:57	10:47	16:07
芹沢[田村市]	7:01	10:51	16:11
下道の内	7:03	10:53	16:13
中屋敷[田村市]	7:04	10:54	16:14
上道の内	7:05	10:55	16:15
新田[田村市]	7:05	10:55	16:15
檜梨	7:06	10:56	16:16
言神入口	7:08	10:58	16:18
平蔵内	7:09	10:59	16:19
岩井沢	7:09	10:59	16:19
平内地	7:10	11:00	16:20
西戸	7:12	11:02	16:22
北作入口	7:14	11:04	16:24
雨乞平	7:17	11:07	16:27
山根	7:19	11:09	16:29
月の田和	7:21	11:11	16:31
余平田	7:22	11:12	16:32
沢又入口	7:22	11:12	16:32
四重城入口	7:24	11:14	16:34
堀田入口	7:24	11:14	16:34
石蒔田	7:25	11:15	16:35
本坊	7:26	11:16	16:36
常葉車庫	7:26	11:16	16:36
常葉上町	7:26	11:16	16:36
常葉局前	7:27	11:17	16:37
常葉中町	7:27	11:17	16:37
常葉荒町	7:28	11:18	16:38
常光寺	7:29	11:19	16:39
西田	7:30	11:20	16:40
川久保	7:31	11:21	16:41
上鹿山入口	7:33	11:23	16:43
西向[田村市]	7:34	11:24	16:44
真城	7:35	11:25	16:45
板橋入口	7:36	11:26	16:46
中の内[田村市]	7:38	11:28	16:48
館柄前	7:39	11:29	16:49
東部台四丁目	7:40	11:30	16:50
東部台三丁目	7:41	11:31	16:51
源次郎	7:42	11:32	16:52
船引高校	7:43	11:33	16:53
石崎	7:44	11:34	16:54
田村市役所前	7:45	11:35	16:55
五升車	7:45	11:35	16:55
船引駅前	7:50	11:40	17:00

## 事業1-5 川内～小野系統

### ●関連主体

新常磐交通株式会社、国、県、川内村、小野町、いわき市

### ●事業内容

項目	内容
運行事業者	新常磐交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	小型バス(定員34名)
起点	ゆふね
主な経由点	すわの杜公園、川内村役場・かわうちの湯、川内農協、神俣駅、おのショッピングプラザ、小野高校、小野新町駅、夏井駅
終点	上三坂
停留所数	36箇所
運行距離	52.7km
所要時間	ゆふね～上三坂 93分
運行回数	平日3往復
運賃	ゆふね～上三坂 1,450円

### ●運行ルート図



## ●運行系統図(バス停一覧)

駅 公営住宅 商業施設 病院・診療所 公共等施設 学校 観光施設

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 ゆふね	川内村	複合施設ゆふね、川内村国民健康保険診療所
02 坂シ内		
03 下川内		
04 すわの杜公園		
05 宮の坂		商業施設 YO-TASHI
06 宮ノ下		
07 川内中前		川内村室内型村民プール
08 役場・かわうちの湯前		川内村役場、かわうちの湯
09 川内農協		
10 早渡		
11 下瀬耳上		
12 瀬耳上		
13 子安川		
14 広内		
15 館屋		
16 坂下		
17 平伏沼口		
18 木ノ葉橋		
19 小白井	いわき市	
20 入新田消防屯所前	田村市	
21 五郎山		
22 川向集会所前		
23 神俣駅		JR神俣駅、あぶくま洞
24 おのショッピングプラザ	小野町	おのショッピングプラザ・コムコム
25 小野町地方総合病院前		公立小野町地方総合病院
26 小野高校		小野高等学校
27 小野駅前		JR小野新町駅
28 夏井局前		JR夏井駅
29 夏井駅前		
30 夏井局前		
31 宮ノ前	いわき市	
32 和名田		
33 戸沢		
34 眃石		
35 国道三坂		
36 上三坂		



あぶくま洞  
(田村市)  
【出典】田村市



おのショッピングプラザ・コムコム  
(小野町)

【出典】ウェルカムふくしま 郡山情報館



公立小野町地方綜合病院  
(小野町)  
【出典】一般社団法人田村医師会

## ●現状・課題

川内村から小野町内の高等学校、商業施設、医療機関等にアクセスするための重要な公共交通であるとともに、いわき市川前地区では唯一のバス路線となっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年度5.3人、令和2年度6.9人、令和3年度9.8人、令和4年度10.3人となっており、令和4年度時点の輸送密度も0.4人と低調である。

その要因として、川内村社会福祉協議会による高齢者を対象とした村外への医療機関や商業施設への無料送迎サービスとの競合などが挙げられる。

令和8年度に小野高等学校(小野町)が船引高等学校(田村市)との統合再編により閉校となることから、通学利用者数の減少が予想されており、JR磐越東線との連携強化や、かわうちの湯のニーズに対応した休日ダイヤの設定等を図ることで利便性を向上させ、利用者を取り込んでいく必要がある。

## ●取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの 見直し【新規】	現在、川内村内において設定しているフリー乗降区間について、新たに小野町及びいわき市内において設定し、利便性を高める。
③ 運行ダイヤの 見直し【新規】	JR東日本鉄道路線(磐越東線)との乗り継ぎがスムーズに行えるよう、ダイヤの見直しを行う。

### ●事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

### ●目標値

年度	1日当たりの利用者数	事業収支
令和元年事業年度<基準値>	5. 3人	2. 8%
令和4年事業年度<現況値>	10. 3人	7. 2%
令和5年事業年度	12. 0人以上	上昇を目指す
令和6年事業年度	13. 5人以上	上昇を目指す
令和7年事業年度	15. 0人以上	上昇を目指す

※ 令和8年事業年度以降の目標値については、運行を継続する場合は、中間見直しの際に関係者で協議を行い設定するものとする。

### ●事業経費の負担(令和5~7年事業年度)

国	収支差等の1／2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1／2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

- ※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。
- ※ 令和5~7年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。
- ※ 令和8年事業年度以降の事業経費の負担の在り方については、今後の状況を見ながら、計画期間中に関係者で協議を行い、方針を決定するものとする。

## ●バス運行時刻表(令和5年4月1日現在)

【平日】川内⇒小野⇒上三坂

停留所名	1	2	3
ゆふね発	7:10	13:15	14:40
坂シ内	7:10	13:15	14:40
下川内	7:11	13:16	14:41
すわの杜公園	7:11	13:16	14:41
宮の坂	7:12	13:17	14:42
宮ノ下	7:13	13:18	14:43
川内中前	7:14	13:19	14:44
役場・かわうちの湯前	7:15	13:20	14:45
川内農協	7:17	13:22	14:47
早渡	7:19	13:24	14:49
下瀬耳上	7:20	13:25	14:50
瀬耳上	7:20	13:25	14:50
子安川	7:21	13:26	14:51
広内	7:22	13:27	14:52
館屋	7:23	13:28	14:53
坂下	7:24	13:29	14:54
平伏沼口	7:24	13:29	14:54
木ノ葉橋	7:25	13:30	14:55
小白井	7:37	13:42	15:07
入新田消防屯所前	7:44	13:49	15:14
五郎山	7:46	13:51	15:16
川向集会所前	7:48	13:53	15:18
JR神俣駅	7:50	13:55	15:20
おのショッピング プラザ	7:57	14:02	15:27
楓の木内	8:01	14:06	15:31
小野高校	8:03	14:08	15:33
小野駅前	8:08	14:13	15:38
夏井局前	8:13	14:18	15:43
夏井駅前	8:15	14:20	15:45
夏井局前	8:16	14:21	15:46
宮ノ前	8:19	14:24	15:49
和名田	8:27	14:32	15:57
戸沢	8:28	14:33	15:58
臼石	8:30	14:35	16:00
国道三坂	8:31	14:36	16:01
上三坂着	8:43	14:48	16:13

【平日】上三坂⇒小野⇒川内

停留所名	1	2	3
上三坂発	8:15	10:05	17:05
国道三坂	8:16	10:06	17:06
臼石	8:17	10:07	17:07
戸沢	8:19	10:09	17:09
和名田	8:21	10:11	17:11
宮ノ前	8:28	10:18	17:18
夏井局前	8:31	10:21	17:21
夏井駅前	8:33	10:23	17:23
夏井局前	8:34	10:24	17:24
小野駅前	8:40	10:30	17:30
小野高校	8:45	10:35	17:35
楓の木内	8:47	10:37	17:37
おのショッピング プラザ	8:51	10:41	17:41
JR神俣駅	8:58	10:48	17:48
川向集会所前	9:00	10:50	17:50
五郎山	9:02	10:52	17:52
入新田消防屯所前	9:04	10:54	17:54
小白井	9:11	11:01	18:01
木ノ葉橋	9:23	11:13	18:13
平伏沼口	9:24	11:14	18:14
坂下	9:24	11:14	18:14
館屋	9:25	11:15	18:15
広内	9:26	11:16	18:16
子安川	9:27	11:17	18:17
瀬耳上	9:28	11:18	18:18
下瀬耳上	9:28	11:18	18:18
早渡	9:29	11:19	18:19
川内農協	9:31	11:21	18:21
役場・かわうちの湯前	9:33	11:23	18:23
川内中前	9:34	11:24	18:24
宮ノ下	9:35	11:25	18:25
宮の坂	9:36	11:26	18:26
すわの杜公園	9:37	11:27	18:27
下川内	9:37	11:27	18:27
坂シ内	9:38	11:28	18:28
ゆふね着	9:48	11:38	18:38

全ダイヤ、平日のみ運行(祝日と8/13～8/16・12/30～1/3は運休)

## 事業1-6 南相馬～川俣～医大経由福島系統

### ●関連主体

福島交通株式会社、国、県、福島市、川俣町、南相馬市、飯舘村

### ●事業内容

項目	内容
運行事業者	福島交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	大型バス(高速バスタイプ、定員45名)
起点	原町駅前
主な経由点	南相馬市役所、いいたて村までい館、川俣営業所、飯野町 医大病院、大原綜合病院
終点	福島駅東口
停留所数	51箇所
運行距離	65.3km
所要時間	原町駅前～福島駅東口 1時間45分
運行回数	平日6往復、休日6往復

## ●運行ルート図



●運行系統図(バス停一覧)

駅 公営住宅 商業施設 病院・診療所 公共等施設 学校 産業団地

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 福島駅東口	福島市	JR福島駅
02 大町		福島県立医科大学(駅前キャンパス)
03 大原綜合病院		福島県庁、大原綜合病院
04 医大病院		福島県立医科大学附属病院
05 飯野町		福島市役所飯野支所
06 鶴沢宮前	川俣町	川俣西部工業団地
07 絹の里シルクピア前		こら・シルクピア、おりもの展示館 からりこ館
08 川俣町済生会病院入口		済生会川俣病院
09 川俣南小学校		川俣町新中町団地
10 川俣営業所		
11 川俣高校前	飯舘村	川俣高等学校
12 飯坂学校前		
13 萩平		
14 水境		
15 信田		
16 二枚橋局前	飯舘村	
17 飯舘境木		
18 尾石		
19 檜の木		
20 いこいの家		
21 市の沢	南相馬市	
22 深谷		
23 いいたて村までい館		いいたて村の道の駅までい館
24 飯舘農協前		
25 飯舘ふれ愛館前		大谷地団地
26 目玉打	南相馬市	
27 草野本町		
28 赤坂		
29 芦原		
30 糜塚		
31 坂下	南相馬市	
32 大芦		
33 バラ坂		
34 社地神		
35 下社地神		
36 杉内	南相馬市	
37 大原		
38 大原公会堂		
39 西下田		
40 かやの木		
41 信田沢	南相馬市	
42 新田原		

バス停名称	市町村	主な周辺施設
43 北長野	南相馬市	
44 長野		
45 南原		
46 南相馬市役所		<span style="color: #808000;">■</span> 南相馬市役所 <span style="color: #808000;">■</span> 南相馬市民文化会館(ゆめはっと) <span style="color: #808000;">■</span> 野馬追通り銘醸館 <span style="color: #808000;">▲</span> 南町団地 <span style="color: #808000;">▲</span> 栄町団地 <span style="color: #808000;">●</span> おおまちマルシェ
47 四ツ葉通り		
48 栄町		
49 栄町二丁目		
50 旭公園前		
51 旭町一丁目		
52 原町駅前		<span style="color: #808000;">●</span> JR原ノ町駅、 <span style="color: #808000;">■</span> 南相馬市立中央図書館 <span style="color: #808000;">▲</span> 大町西団地、 <span style="color: #808000;">▲</span> 大町東団地 <span style="color: #808000;">▲</span> 大町南団地



福島県立医科大学附属病院  
(福島市)  
【出典】公立大学法人  
福島県立医科大学附属病院



南相馬市役所  
(南相馬市)  
【出典】福島県



川俣高等学校  
(川俣町)  
【出典】川俣高等学校



いいたて村の道の駅までい館  
(飯舘村)  
【出典】いいたて村の道の駅までい館

## ●現状・課題

東日本大震災・原発事故以前は、福島交通が「原町～川俣」系統として運行していたバス路線について、平成29年10月から福島県立医科大学を経由し、福島駅東口までの延伸を行い、新たに「南相馬～川俣～医大経由」系統として運行を開始したバス路線である。

東日本大震災・原発事故の甚大な被害を受け、復興の途上にある相双地域と、本県の政治・行政等の都市機能が集積した県北地域を結ぶ主要な公共交通であるとともに、JR東日本鉄道線(東北新幹線、常磐線)から飯舘村を結ぶ唯一の二次交通<sup>※</sup>となっている。

さらには、相双地域から特殊医療や先進医療を提供する福島県立医科大学にアクセスするための重要な公共交通となっている。

※ 飯舘村内を経由する公共交通としては、福島交通株式会社のバス路線のほか、東北アクセス株式会社のバス路線が設定されているが、令和4年12月現在運休しており、運行再開は未定となっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年度65.6人、令和2年度41.3人、令和3年度35.5人、令和4年度41.8人で推移しており、令和2年度以降はコロナ禍の影響で利用が約4割減となっている。

主として、福島市～南相馬市間の移動手段として利用されており、通勤・通学での利用実績も見られる。また、相双地域から福島県立医科大学への移動手段としても利用実績が見られるなど、一定の利用ニーズはある一方で、令和4年度時点の輸送密度については5.4人と低調である。

当該路線が県北地域と相双地域を結ぶ主要な公共交通であることに鑑み、利用者及び潜在的なニーズを踏まえた運行ダイヤや運行ルートの見直しを不斷に継続していく必要がある。

なお、川俣町内の川俣高校前バス停から西の区間では、乗降に制約があり、利用者から改善を求める声が上がっていたことから、令和4年10月に当該ルールを撤廃している。

### ●取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【新規】	福島県立医科大学の診療時間外となる朝夕の時間帯において、県北地域～相双地域間の速達性向上のため、新たに医科大学を経由しないルートを検討する。 また、飯館村内の利便性向上のためのルート変更を検討する。
③ 運行ダイヤの見直し【新規】	JR東日本鉄道路線(磐越東線)との乗り継ぎがスムーズに行えるよう、ダイヤの見直しを行う。
④ 長距離、長時間移動の快適性の確保【新規】	大型バス(高速バスタイプ)を運用し、乗客の身体的負担の軽減を図る。

### ●事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

### ●目標値

年度	1日当たりの利用者数	事業収支
令和元年事業年度<基準値>	64.9人	23.3%
令和4年事業年度<現況値>	41.8人	17.6%
令和5年事業年度	60.0人以上	上昇を目指す
令和6年事業年度	90.0人以上	上昇を目指す
令和7年事業年度	120.0人以上	上昇を目指す

※ 令和8年事業年度以降の目標値については、運行を継続する場合は、中間見直しの際に関係者で協議を行い設定するものとする。

### ●事業経費の負担(令和5~7年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。  
 ※ 令和5~7年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。  
 ※ 令和8年事業年度以降の事業経費の負担の在り方については、今後の状況を見ながら、計画期間中に関係者で協議を行い、方針を決定するものとする。

## ●バス運行時刻表(令和5年4月1日現在)

【平日】福島駅東口→原ノ町駅前

停留所名	1	2	3	4	5	6
福島駅東口	6:15	9:50	12:30	15:00	16:05	18:25
大町[福島市]	6:18	9:53	12:33	15:03	16:08	18:28
医大病院[福島市]	6:37	10:12	12:52	15:22	16:27	18:47
飯野町	6:50	10:25	13:05	15:35	16:40	19:00
鶴沢宮前	6:55	10:30	13:10	15:40	16:45	19:05
絹の里シリクピア前	6:56	10:31	13:11	15:41	16:46	19:06
川俣町済生会病院入口	6:57	10:32	13:12	15:42	16:47	19:07
川俣南小学校	6:58	10:33	13:13	15:43	16:48	19:08
川俣営業所	7:04	10:39	13:19	15:49	16:54	19:14
川俣高校前	7:05	10:40	13:20	15:50	16:55	19:15
飯坂学校前	7:06	10:41	13:21	15:51	16:56	19:16
萩平[川俣町]	7:07	10:42	13:22	15:52	16:57	19:17
水境	7:12	10:47	13:27	15:57	17:02	19:22
信田[飯館村]	7:14	10:49	13:29	15:59	17:04	19:24
二枚橋局前	7:15	10:50	13:30	16:00	17:05	19:25
飯館境木	7:16	10:51	13:31	16:01	17:06	19:26
臼石	7:18	10:53	13:33	16:03	17:08	19:28
樅の木	7:19	10:54	13:34	16:04	17:09	19:29
いこいの家	7:20	10:55	13:35	16:05	17:10	19:30
市の沢[飯館村]	7:21	10:56	13:36	16:06	17:11	19:31
深谷[飯館村]	7:22	10:57	13:37	16:07	17:12	19:32
いいいたて村までい館	7:23	10:58	13:38	16:08	17:13	19:33
飯館農協前	7:24	10:59	13:39	16:09	17:14	19:34
飯館ふれ愛館前	7:25	11:00	13:40	16:10	17:15	19:35
目玉打	7:26	11:01	13:41	16:11	17:16	19:36
草野本町	7:27	11:02	13:42	16:12	17:17	19:37
赤坂[飯館村]	7:28	11:03	13:43	16:13	17:18	19:38
芦原	7:30	11:05	13:45	16:15	17:20	19:40
糠塚	7:32	11:07	13:47	16:17	17:22	19:42
坂下[南相馬市]	7:39	11:14	13:54	16:24	17:29	19:49
大芦	7:40	11:15	13:55	16:25	17:30	19:50
バラ坂	7:41	11:16	13:56	16:26	17:31	19:51
社地神	7:42	11:17	13:57	16:27	17:32	19:52
下社地神	7:43	11:18	13:58	16:28	17:33	19:53
杉内	7:45	11:20	14:00	16:30	17:35	19:55
大原[南相馬市]	7:46	11:21	14:01	16:31	17:36	19:56
大原公会堂	7:46	11:21	14:01	16:31	17:36	19:56
西下田	7:47	11:22	14:02	16:32	17:37	19:57
かやの木	7:48	11:23	14:03	16:33	17:38	19:58
信田沢	7:49	11:24	14:04	16:34	17:39	19:59
新田原	7:50	11:25	14:05	16:35	17:40	20:00
北長野	7:51	11:26	14:06	16:36	17:41	20:01
長野	7:52	11:27	14:07	16:37	17:42	20:02
南原[南相馬市]	7:53	11:28	14:08	16:38	17:43	20:03
南相馬市役所	7:56	11:31	14:11	16:41	17:46	20:06
四ツ葉通り	7:57	11:32	14:12	16:42	17:47	20:07
栄町[南相馬市]	7:58	11:33	14:13	16:43	17:48	20:08
栄町二丁目	7:59	11:34	14:14	16:44	17:49	20:09
旭公園前	8:00	11:35	14:15	16:45	17:50	20:10
原ノ町駅前	8:07	11:42	14:22	16:52	17:57	20:17

【平日】原ノ町駅前→福島駅東口

停留所名	1	2	3	4	5	6
原ノ町駅前	7:00	10:10	12:30	14:00	16:00	17:55
旭町一丁目[南相馬市]	7:00	10:10	12:30	14:00	16:00	17:55
旭公園前	7:00	10:10	12:30	14:00	16:00	17:55
栄町二丁目	7:01	10:11	12:31	14:01	16:01	17:56
四ツ葉通り	7:03	10:13	12:33	14:03	16:03	17:58
南相馬市役所	7:05	10:15	12:35	14:05	16:05	18:00
南原[南相馬市]	7:07	10:17	12:37	14:07	16:07	18:02
長野	7:08	10:18	12:38	14:08	16:08	18:03
北長野	7:09	10:19	12:39	14:09	16:09	18:04
新田原	7:10	10:20	12:40	14:10	16:10	18:05
信田沢	7:11	10:21	12:41	14:11	16:11	18:06
かやの木	7:12	10:22	12:42	14:12	16:12	18:07
西下田	7:13	10:23	12:43	14:13	16:13	18:08
大原公会堂	7:14	10:24	12:44	14:14	16:14	18:09
大原[南相馬市]	7:14	10:24	12:44	14:14	16:14	18:09
杉内	7:15	10:25	12:45	14:15	16:15	18:10
下社地神	7:16	10:26	12:46	14:16	16:16	18:11
社地神	7:17	10:27	12:47	14:17	16:17	18:12
バラ坂	7:18	10:28	12:48	14:18	16:18	18:13
大芦	7:19	10:29	12:49	14:19	16:19	18:14
坂下[南相馬市]	7:20	10:30	12:50	14:20	16:20	18:15
糠塚	7:28	10:38	12:58	14:28	16:28	18:23
芦原	7:30	10:40	13:00	14:30	16:30	18:25
赤坂[飯館村]	7:31	10:41	13:01	14:31	16:31	18:26
草野本町	7:33	10:43	13:03	14:33	16:33	18:28
目玉打	7:34	10:44	13:04	14:34	16:34	18:29
飯館ふれ愛館前	7:35	10:45	13:05	14:35	16:35	18:30
飯館農協前	7:35	10:45	13:05	14:35	16:35	18:30
いいいたて村までい館	7:38	10:48	13:08	14:38	16:38	18:33
深谷[飯館村]	7:39	10:49	13:09	14:39	16:39	18:34
市の沢[飯館村]	7:40	10:50	13:10	14:40	16:40	18:35
いこいの家	7:41	10:51	13:11	14:41	16:41	18:36
樅の木	7:42	10:52	13:12	14:42	16:42	18:37
臼石	7:43	10:53	13:13	14:43	16:43	18:38
飯館境木	7:45	10:55	13:15	14:45	16:45	18:40
二枚橋局前	7:46	10:56	13:16	14:46	16:46	18:41
信田[飯館村]	7:47	10:57	13:17	14:47	16:47	18:42
水境	7:49	10:59	13:19	14:49	16:49	18:44
萩平[川俣町]	7:52	11:02	13:22	14:52	16:52	18:47
飯坂学校前	7:53	11:03	13:23	14:53	16:53	18:48
川俣高校前	7:54	11:04	13:24	14:54	16:54	18:49
川俣営業所	7:56	11:06	13:26	14:56	16:56	18:51
川俣南小学校	7:58	11:08	13:28	14:58	16:58	18:53
川俣町済生会病院入口	7:59	11:09	13:29	14:59	16:59	18:54
絹の里シリクピア前	8:01	11:11	13:31	15:01	17:01	18:56
鶴沢宮前	8:02	11:12	13:32	15:02	17:02	18:57
飯野町	8:09	11:19	13:39	15:09	17:09	19:04
医大病院[福島市]	8:25	11:35	13:55	15:25	17:25	19:20
大原総合病院	8:47	11:57	14:17	15:47	17:47	19:42
福島駅東口	8:52	12:02	14:22	15:52	17:52	19:47

## 【土曜・日祝】福島駅東口⇒原ノ町駅前

停留所名	1	2	3	4	5	6
福島駅東口	6:15	9:50	12:30	15:00	16:05	18:25
大町[福島市]	6:18	9:53	12:33	15:03	16:08	18:28
医大病院[福島市]	6:37	10:12	12:52	15:22	16:27	18:47
飯野町	6:50	10:25	13:05	15:35	16:40	19:00
鶴沢宮前	6:55	10:30	13:10	15:40	16:45	19:05
絹の里シルクピア前	6:56	10:31	13:11	15:41	16:46	19:06
川俣町済生会病院入口	6:57	10:32	13:12	15:42	16:47	19:07
川俣南小学校	6:58	10:33	13:13	15:43	16:48	19:08
川俣営業所	7:04	10:39	13:19	15:49	16:54	19:14
川俣高校前	7:05	10:40	13:20	15:50	16:55	19:15
飯坂学校前	7:06	10:41	13:21	15:51	16:56	19:16
萩平[川俣町]	7:07	10:42	13:22	15:52	16:57	19:17
水境	7:12	10:47	13:27	15:57	17:02	19:22
信田[飯館村]	7:14	10:49	13:29	15:59	17:04	19:24
二枚橋局前	7:15	10:50	13:30	16:00	17:05	19:25
飯館境木	7:16	10:51	13:31	16:01	17:06	19:26
臼石	7:18	10:53	13:33	16:03	17:08	19:28
櫻の木	7:19	10:54	13:34	16:04	17:09	19:29
いこいの家	7:20	10:55	13:35	16:05	17:10	19:30
市の沢[飯館村]	7:21	10:56	13:36	16:06	17:11	19:31
深谷[飯館村]	7:22	10:57	13:37	16:07	17:12	19:32
いいたて村までい館	7:23	10:58	13:38	16:08	17:13	19:33
飯館農協前	7:24	10:59	13:39	16:09	17:14	19:34
飯館ふれ愛館前	7:25	11:00	13:40	16:10	17:15	19:35
目玉打	7:26	11:01	13:41	16:11	17:16	19:36
草野本町	7:27	11:02	13:42	16:12	17:17	19:37
赤坂[飯館村]	7:28	11:03	13:43	16:13	17:18	19:38
芦原	7:30	11:05	13:45	16:15	17:20	19:40
糠塚	7:32	11:07	13:47	16:17	17:22	19:42
坂下[南相馬市]	7:39	11:14	13:54	16:24	17:29	19:49
大芦	7:40	11:15	13:55	16:25	17:30	19:50
バラ坂	7:41	11:16	13:56	16:26	17:31	19:51
社地神	7:42	11:17	13:57	16:27	17:32	19:52
下社地神	7:43	11:18	13:58	16:28	17:33	19:53
杉内	7:45	11:20	14:00	16:30	17:35	19:55
大原[南相馬市]	7:46	11:21	14:01	16:31	17:36	19:56
大原公会堂	7:46	11:21	14:01	16:31	17:36	19:56
西下田	7:47	11:22	14:02	16:32	17:37	19:57
かやの木	7:48	11:23	14:03	16:33	17:38	19:58
信田沢	7:49	11:24	14:04	16:34	17:39	19:59
新田原	7:50	11:25	14:05	16:35	17:40	20:00
北長野	7:51	11:26	14:06	16:36	17:41	20:01
長野	7:52	11:27	14:07	16:37	17:42	20:02
南原[南相馬市]	7:53	11:28	14:08	16:38	17:43	20:03
南相馬市役所	7:56	11:31	14:11	16:41	17:46	20:06
四ツ葉通り	7:57	11:32	14:12	16:42	17:47	20:07
栄町[南相馬市]	7:58	11:33	14:13	16:43	17:48	20:08
栄町二丁目	7:59	11:34	14:14	16:44	17:49	20:09
旭公園前	8:00	11:35	14:15	16:45	17:50	20:10
旭町一丁目[南相馬市]	8:00	11:35	14:15	16:45	17:50	20:10
原ノ町駅前	8:07	11:42	14:22	16:52	17:57	20:17

## 【土曜・日祝】原ノ町駅前⇒福島駅東口

停留所名	1	2	3	4	5	6
原ノ町駅前	7:00	10:10	12:30	14:00	16:00	17:55
旭町一丁目[南相馬市]	7:00	10:10	12:30	14:00	16:00	17:55
旭公園前	7:00	10:10	12:30	14:00	16:00	17:55
栄町二丁目	7:01	10:11	12:31	14:01	16:01	17:56
四ツ葉通り	7:03	10:13	12:33	14:03	16:03	17:58
南相馬市役所	7:05	10:15	12:35	14:05	16:05	18:00
南原[南相馬市]	7:07	10:17	12:37	14:07	16:07	18:02
長野	7:08	10:18	12:38	14:08	16:08	18:03
北長野	7:09	10:19	12:39	14:09	16:09	18:04
新田原	7:10	10:20	12:40	14:10	16:10	18:05
信田沢	7:11	10:21	12:41	14:11	16:11	18:06
かやの木	7:12	10:22	12:42	14:12	16:12	18:07
西下田	7:13	10:23	12:43	14:13	16:13	18:08
大原公会堂	7:14	10:24	12:44	14:14	16:14	18:09
大原[南相馬市]	7:14	10:24	12:44	14:14	16:14	18:09
杉内	7:15	10:25	12:45	14:15	16:15	18:10
下社地神	7:16	10:26	12:46	14:16	16:16	18:11
社地神	7:17	10:27	12:47	14:17	16:17	18:12
バラ坂	7:18	10:28	12:48	14:18	16:18	18:13
大芦	7:19	10:29	12:49	14:19	16:19	18:14
坂下[南相馬市]	7:20	10:30	12:50	14:20	16:20	18:15
糠塚	7:28	10:38	12:58	14:28	16:28	18:23
芦原	7:30	10:40	13:00	14:30	16:30	18:25
赤坂[飯館村]	7:31	10:41	13:01	14:31	16:31	18:26
草野本町	7:33	10:43	13:03	14:33	16:33	18:28
目玉打	7:34	10:44	13:04	14:34	16:34	18:29
飯館ふれ愛館前	7:35	10:45	13:05	14:35	16:35	18:30
飯館農協前	7:35	10:45	13:05	14:35	16:35	18:30
いいたて村までい館	7:38	10:48	13:08	14:38	16:38	18:33
深谷[飯館村]	7:39	10:49	13:09	14:39	16:39	18:34
市の沢[飯館村]	7:40	10:50	13:10	14:40	16:40	18:35
いこいの家	7:41	10:51	13:11	14:41	16:41	18:36
櫻の木	7:42	10:52	13:12	14:42	16:42	18:37
臼石	7:43	10:53	13:13	14:43	16:43	18:38
飯館境木	7:45	10:55	13:15	14:45	16:45	18:40
二枚橋局前	7:46	10:56	13:16	14:46	16:46	18:41
信田[飯館村]	7:47	10:57	13:17	14:47	16:47	18:42
水境	7:49	10:59	13:19	14:49	16:49	18:44
萩平[川俣町]	7:52	11:02	13:22	14:52	16:52	18:47
飯坂学校前	7:53	11:03	13:23	14:53	16:53	18:48
川俣高校前	7:54	11:04	13:24	14:54	16:54	18:49
川俣営業所	7:56	11:06	13:26	14:56	16:56	18:51
川俣南小学校	7:58	11:08	13:28	14:58	16:58	18:53
川俣町済生会病院入口	7:59	11:09	13:29	14:59	16:59	18:54
絹の里シルクピア前	8:01	11:11	13:31	15:01	17:01	18:56
鶴沢宮前	8:02	11:12	13:32	15:02	17:02	18:57
飯野町	8:09	11:19	13:39	15:09	17:09	19:04
医大病院[福島市]	8:25	11:35	13:55	15:25	17:25	19:20
大原総合病院	8:47	11:57	14:17	15:47	17:47	19:42
福島駅東口	8:52	12:02	14:22	15:52	17:52	19:47

## 事業1-7 富岡～浪江FH2R系統

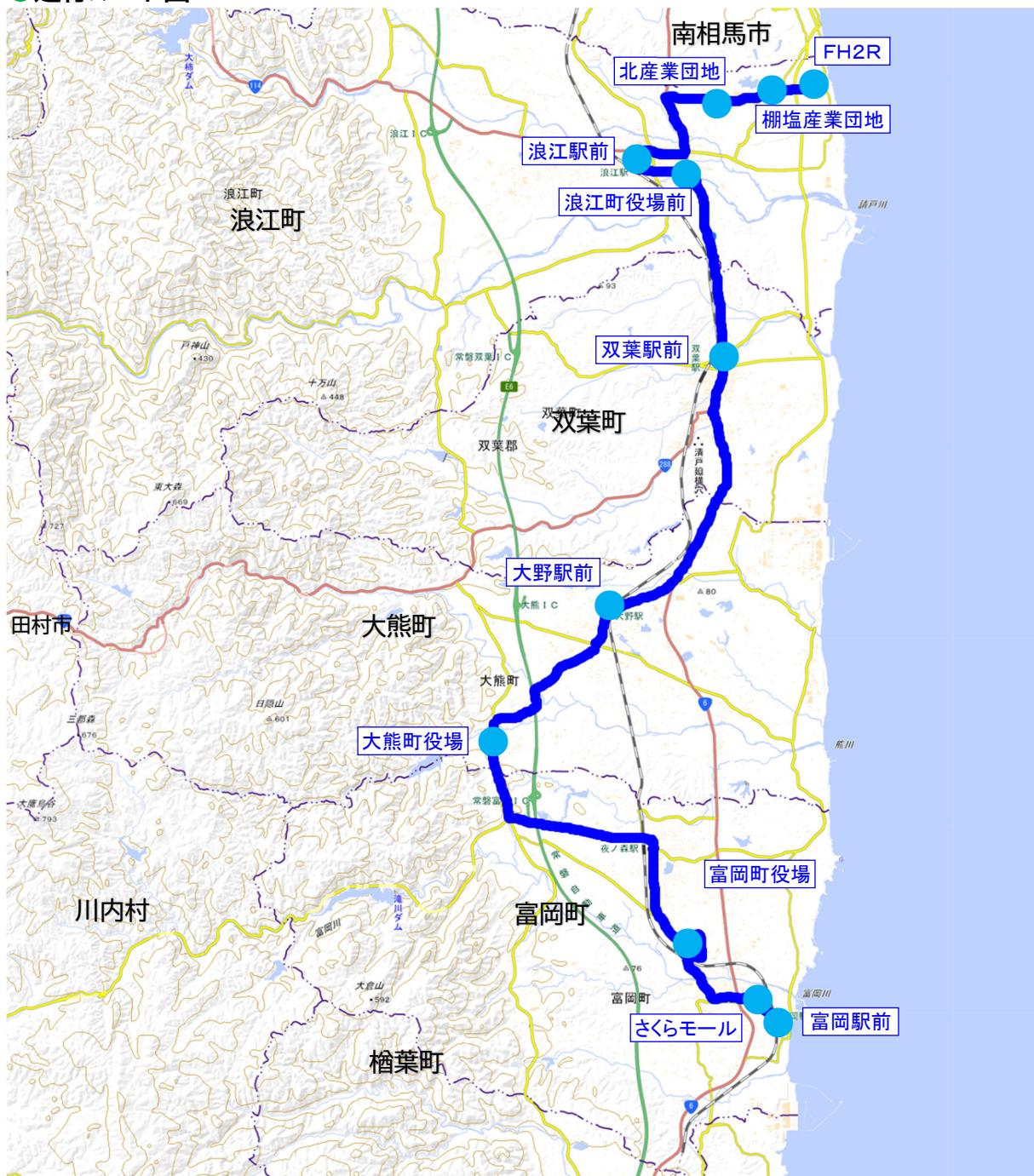
### ●関連主体

新常磐交通株式会社、国、県、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町

### ●事業内容

項目	内容
運行事業者	新常磐交通株式会社
運行事業者	平日運行
使用車両	大型バス(定員67名)
起点	富岡駅前
主な経由点	とみおかアーカイブ・ミュージアム、富岡町役場、大熊町役場 双葉駅前、浪江町役場前、北産業団地入口、棚塙産業団地入口
終点	FH2R
停留所数	20箇所
運行距離	往路(北行き)34.5km、復路(南行き)35.4km
所要時間	富岡駅前～FH2R 1時間4分
運行回数	平日4往復
運賃	<対キロ区間制運賃> 富岡駅前～富岡町役場170円 富岡駅前～大熊町役場550円 双葉駅前～北産業団地入口550円 双葉駅前～棚塙産業団地入口590円 浪江駅前～北産業団地入口310円 浪江駅前～棚塙産業団地入口370円

### ●運行ルート図



## ●運行系統図(バス停一覧)

駅 公営住宅 商業施設 病院・診療所 公共等施設 産業団地

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 富岡駅前	富岡町	JR富岡駅、栄町団地
02 曲田住宅		曲田住宅
03 さくらモール・診療所前		さくらモールとみおか 富岡町立とみおか診療所 廃炉資料館
04 警察署前		双葉警察署
05 今村病院		
06 とみおかアーカイブ・ミュージアム		とみおかアーカイブ・ミュージアム
07 富岡町文化交流センター		富岡町文化交流センター(学びの森) 富岡町総合スポーツセンター
08 富岡町役場		富岡町役場 ふたば医療センター附属病院 廃炉環境国際共同研究センター
09 二中前		
10 大熊町役場	大熊町	大熊町役場、大川原災害公営住宅 大川原再生賃貸住宅、大熊西工業団地
11 大野駅前		JR大野駅、大熊町産業交流施設
12 双葉駅前		JR双葉駅、双葉町役場、駅西住宅
13 浪江町役場前	浪江町	浪江町役場、イオン浪江店 浪江診療所、幾世橋住宅団地 幾世橋集合住宅 JR浪江駅、福島国際研究教育機構
14 浪江駅前		御殿南団地
15 権現堂元町		道の駅なみえ
16 道の駅なみえ		浪江町北産業団地
17 北産業団地入口		浪江町棚塩産業団地
18 棚塩産業団地入口		福島ロボットテストフィールド(浪江滑走路・滑走路附属格納庫)
19 浪江滑走路		福島水素エネルギー研究フィールド
20 FH2R		



とみおかアーカイブ・ミュージアム  
(富岡町)

【出典】震災伝承ネットワーク協議会事務局



富岡町役場  
(富岡町)

【出典】東京電力ホールディングス株式会社



富岡町文化交流センター  
(富岡町)  
【出典】富岡町文化交流センター 学びの森



JR 大野駅  
(大熊町)



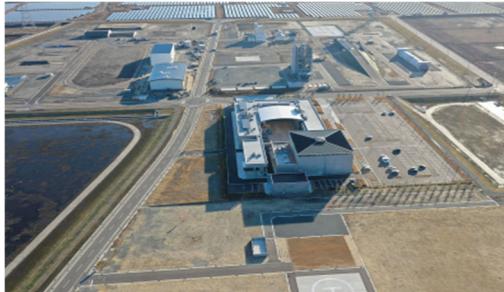
JR 双葉駅  
(双葉町)



双葉町役場  
(双葉町)



大熊町役場本庁舎  
【出典】大熊町



福島ロボットテストフィールド  
(南相馬市、浪江町)  
【出典】福島県



道の駅なみえ  
【出典】福島県



福島水素エネルギー研究フィールド  
(浪江町)  
【出典】福島県

## ●現状・課題

令和3年4月から新常磐株式会社が自主運行を開始した路線であり、令和3年10月開催の福島県避難地域広域公共交通計画協議会(県北・相双北部方部会及び双葉南部協議会)において、旧網形成計画の追加事業として承認。それに伴い、令和5年度事業(令和4年10月～令和5年9月)から被災地域を運行する地域間幹線系統(被災地特例)として支援対象としている。

運行は平日のみの設定であり、運行本数は富岡駅前～FH2R間が4往復、浪江町役場前～FH2R間が8往復となっている。富岡駅前～FH2R間は運行時間帯に偏りが見られる。

運行本数に着目すると、浪江町内のシャトルバスという性格が強い。

1日当たりの利用者数は、令和3年度は平均1.3人、令和4年度は2.5人にとどまっており、沿線には、福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)や浪江町の産業団地などの復興拠点が立地しているが、極めて低調である。

沿線各自治体では、それぞれが運行する無料の公共交通機関があり、また、当該バス路線のルートに沿って鉄道(JR常磐線)も運行している。現状、当該バス路線は、これらの公共交通機関に比べて、利便性、速達性の面で不利である。

復興途上にある双葉郡の大部分のエリアでは、新たな定住人口の流入や、そのためのまちづくりは長期的な課題であることから、避難指示解除後の移動ニーズの高まりを想定した先行投資として、当該バス路線の役割を積極的にアピールしていく必要がある。

## ●取組の方向性(改善点)

項目	内容
① JR 常磐線の役割分担【新規】	JR常磐線は日中運行していない時間帯があり、交通空白の時間帯を埋めるための移動手段として、バスのダイヤの見直しを行う。
② JR 常磐線との接続の見直し	富岡駅、大野駅、双葉駅、浪江駅において、鉄道から円滑な乗り継ぎができるようダイヤの改善を行う。
③ ルート区間の分岐【新規】	大熊町の復興進展を見据えながら、移動ニーズにきめ細かに対応できるよう、大野駅バス停等を折り返しとしたルート区間の分岐を検討する。
④ 利活用の推進【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。

### ●事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和8年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

### ●目標値

年度	1日当たりの利用者数	事業収支
令和4年事業年度<現況値>	2.5人	3.7%
令和5年事業年度	5.0人以上	上昇を目指す
令和6年事業年度	7.5人以上	上昇を目指す
令和7年事業年度	10.0人以上	上昇を目指す

※ 令和8年事業年度以降の目標値については、運行を継続する場合は、中間見直しの際に関係者で協議を行い設定するものとする。

### ●事業経費の負担(令和5~7年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

- ※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。
- ※ 令和5~7年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。
- ※ 令和8年事業年度以降の事業経費の負担の在り方については、今後の状況を見ながら、計画期間中に関係者で協議を行い、方針を決定するものとする。

## ●バス運行時刻表(令和5年4月1日現在)

【平日】富岡駅⇒大野駅⇒双葉駅⇒浪江(FH2R)・浪江町役場⇒浪江駅⇒FH2R

停留所名	1	2	3	4	5	6	7	8
富岡駅前	6:55	7:55	-	-	14:00	14:50	-	-
さくらモール・診療所前	6:56	7:56	-	-	14:01	14:51	-	-
警察署前	6:57	7:57	-	-	14:02	14:52	-	-
今村病院	6:58	7:58	-	-	14:03	14:53	-	-
とみおかアーカイブ・ミュージアム	6:59	7:59	-	-	14:04	14:54	-	-
富岡町文化交流センター	6:59	7:59	-	-	14:04	14:54	-	-
富岡町役場	7:00	8:00	-	-	14:05	14:55	-	-
二中前	7:04	8:04	-	-	14:09	14:59	-	-
前大熊町役場	7:14	8:14	-	-	14:19	15:09	-	-
大野駅前	7:25	8:25	-	-	14:30	15:20	-	-
双葉駅前	7:34	8:34	-	-	14:39	15:29	-	-
浪江町役場前	7:42	8:42	10:30	11:25	14:47	15:37	17:00	18:00
浪江駅前	7:44	8:44	10:32	11:27	14:49	15:39	17:02	18:02
権現堂元町	7:45	8:45	10:33	11:28	14:50	15:40	17:03	18:03
道の駅なみえ	7:47	8:47	10:35	11:30	14:52	15:42	17:05	18:05
北産業団地入口	7:51	8:51	10:39	11:34	14:56	15:46	17:09	18:09
棚塩産業団地入口	7:54	8:54	10:42	11:37	14:59	15:49	17:12	18:12
浪江滑走路	7:54	8:54	10:42	11:37	14:59	15:49	17:12	18:12
FH2R	7:59	8:59	10:47	11:42	15:04	15:54	17:17	18:17

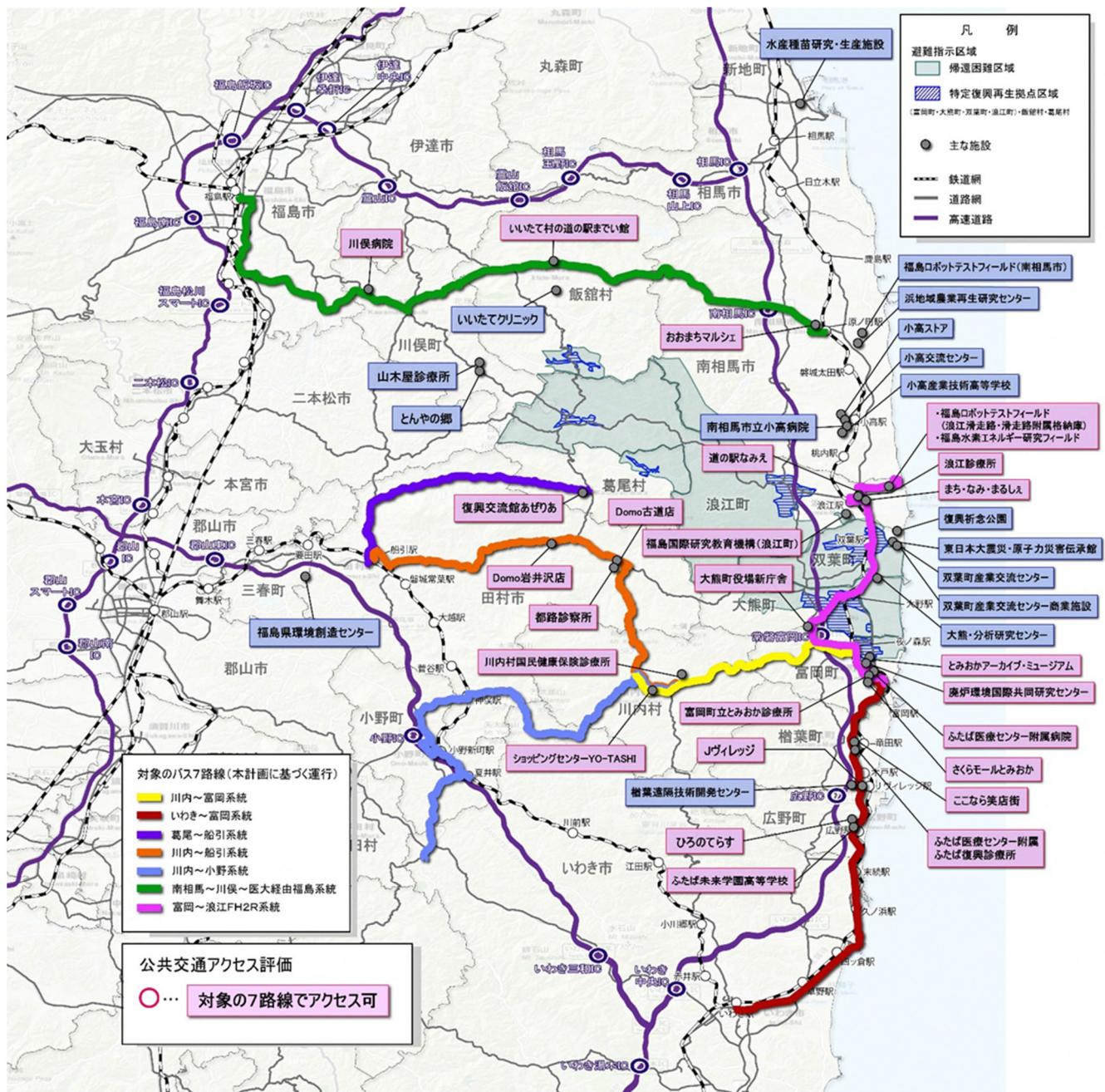
【平日】浪江(FH2R)⇒双葉駅⇒大野駅⇒富岡駅・FH2R⇒浪江駅⇒浪江町役場

停留所名	1	2	3	4	5	6	7	8
FH2R	8:02	9:02	10:50	11:45	15:07	15:57	17:20	18:20
浪江滑走路	8:04	9:04	10:52	11:47	15:09	15:59	17:22	18:22
棚塩産業団地入口	8:04	9:04	10:52	11:47	15:09	15:59	17:22	18:22
北産業団地入口	8:06	9:06	10:54	11:49	15:11	16:01	17:24	18:24
道の駅なみえ	8:13	9:13	11:01	11:56	15:18	16:08	17:31	18:31
権現堂元町	8:15	9:15	11:03	11:58	15:20	16:10	17:33	18:33
浪江駅前	8:18	9:18	11:06	12:01	15:23	16:13	17:36	18:36
浪江町役場前	8:20	9:20	11:08	12:03	15:25	16:15	17:38	18:38
双葉駅前	-	-	11:16	12:11	-	-	17:46	18:46
大野駅前	-	-	11:25	12:20	-	-	17:55	18:55
前大熊町役場	-	-	11:36	12:31	-	-	18:06	19:06
二中前	-	-	11:46	12:41	-	-	18:16	19:16
富岡町役場	-	-	11:50	12:45	-	-	18:20	19:20
富岡町文化交流センター	-	-	11:50	12:45	-	-	18:20	19:20
とみおかアーカイブ・ミュージアム	-	-	11:51	12:46	-	-	18:21	19:21
今村病院	-	-	11:52	12:47	-	-	18:22	19:22
警察署前	-	-	11:53	12:48	-	-	18:23	19:23
さくらモール・診療所前	-	-	11:54	12:49	-	-	18:24	19:24
富岡駅前	-	-	11:57	12:52	-	-	18:27	19:27

【土曜・日祝】はダイヤなし

【出典】新常磐交通バス時刻表(2022年4月1日)

## ●<参考>本計画に基づく広域バス路線ネットワーク図



## 施策2 浜通り地方を運行する地域公共交通のDX推進

### ●実施主体

福島交通株式会社、新常磐交通株式会社、東北アクセス株式会社、国、県、いわき市

### ●現状・課題

政府では、令和元年6月「成長戦略フォローアップ」を閣議決定し、令和7年6月末までにキャッシュレス決済比率を倍増、4割程度を目指すこととしている。

公共交通機関でのキャッシュレス決済は、アフターコロナを見据えたライフスタイルへの適合、利便性の向上に伴う利用者層の拡大、決済のスピード向上による定時運行の確保などのメリットがある。

また、利用データを分析・活用し、地域公共交通体系の持続的な改善につなげる、いわゆる地域公共交通のDXに貢献するものである。

避難地域12市町村を含む浜通り地方の公共交通では、JR常磐線については、一部の駅を除いてSuica利用可能エリアとなっており、また、福島交通のバス路線では、すでにICカード(NORUCA)でのキャッシュレス決済が可能となっている。

しかしながら、福島交通のICカード(NORUCA)は、導入からすでに10年以上経過しているが、全国的に普及している決済手段との相互利用ができない片利用のシステムであり、機能拡張が困難である。

新常磐交通のバス路線では、プリペイド式の磁気カードが導入されているものの、現金決済が主流となっている。

東日本大震災・原発事故の甚大な被害を受け、いまだ復興途上にある浜通り地方において、産業の集積、移住・定住の促進、交流・関係人口の拡大のための社会基盤として、持続可能な公共交通ネットワークの構築は重要であり、キャッシュレス決済システムの導入は、そのメリットを踏まえ、中核的な事業に位置付けられるものである。

導入に当たっては、ライトユーザーから日常的な利用者まで幅広く取り込むため、累計で2億枚以上発されている交通系ICカード(全国相互利用サービス)や、それぞれ数千万人規模の登録者数となっているスマートフォンアプリ(PayPay、楽天ペイ、d払い等)など、全国的に広く普及した決済サービスを活用することが望ましい。

## ●事業内容

### (1)バス路線へのキャッシュレス決済システムの導入

福島交通株式会社、新常磐交通株式会社が浜通り地方で運行するバス路線(高速バスを除く)において、新たにキャッシュレス決済システムを導入し、又は現行のキャッシュレス決済システムの改善を図る。

福島交通株式会社のバス路線では、現行のNORUCA(ノルカ)カード決済のシステム更新を行い、QRコード決済及び非接触クレジットカード決済に対応できるようにする。

新常磐交通株式会社のバス路線では、JR東日本地域連携ICカードを導入する。

東北アクセス株式会社のバス路線では、Suica や nanaco 等の電子マネー、QR コード決済及び非接触クレジットカード決済に対応できるようにする。

### (2)キャッシュレス決済システムの利用実績に基づく公共交通体系の改善

県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会は、(1)に基づく利用データについて、データマイニング等の手法により分析を行い、本計画に基づいて運行する広域路線バスの改善案を策定する。

バス事業者は、改善案に基づきダイヤ等の見直しを行うものとする。

### (3)バスロケーションシステムの導入

新常磐交通株式会社のバス路線では、新たにGTFSと連携するバスロケーションシステムを導入し、スマートフォン等での路線やダイヤ検索、運行状況を可視化し、利便性の向上を図る。

### ●事業スケジュール

年度	内容
令和5年度	福島交通株式会社、新常磐交通株式会社において、キャッシュレス決済システムの導入又は更新を行う。また、新常磐交通株式会社では、バスロケーションシステムの導入を行う。
令和6年度	福島交通株式会社において、新NORUCAシステムの運用を開始する。 新常磐交通株式会社において、地域連携ICカード及びバスロケーションシステムの運用を開始する。
令和7年度	県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会においてデータ分析、広域路線バスの改善案を策定する。 バス事業者では、改善案に基づきダイヤ等の見直しを行う。
令和8年度	県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会においてデータ分析、広域路線バスの改善案を策定 バス事業者では、改善案に基づきダイヤ等の見直しを行う。
令和9年度	県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会においてデータ分析、広域路線バスの改善案を策定 バス事業者では、改善案に基づきダイヤ等の見直しを行う。

### ●目標値

年度	キャッシュレス決済可能な路線バス(浜通り地方) におけるキャッシュレス決済利用率
令和5年度	—
令和6年度	70.0%以上
令和7年度	80.0%以上
令和8年度	85.0%以上
令和9年度	90.0%以上

※ 「Suica」は、JR東日本(株)の登録商標である。

「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標である。

「PayPay」は、Zホールディングス株式会社の登録商標である。

「楽天ペイ」は、楽天株式会社の登録商標である。

「d払い」は、株式会社NTTドコモの登録商標である。

# キャッシュレス決済システム

## 「キャッシュレス決済システム」とは

交通系ICカード、クレジットカード、デビットカード、電子マネー、QRコード等による現金以外の電子的な運賃の決済サービスであって、繰り返し利用できるものをいう。現金によらないタッチにより決済することが可能であり、その便利さから全国的に拡がっている状況にある。

## キャッシュレス決済導入のメリット

### 【利用者へのメリット】

#### ●地域の利用者の利便性向上

→切符購入が不要となり公共交通利用のバリア軽減  
→乗継・高齢者割引等の多様なサービスを1枚で利用可  
→乗降時間の短縮による定時性の確保  
→非接触式カードによるポストコロナへの対応

#### ●地域外利用者の利便性向上

→訪日外国人を始めとする旅行者や国内観光者の移動の円滑化

### 【事業者へのメリット】

#### ●交通事業者の経営革新

→正確な旅客データの入手及び分析に基づく、効果的・効率的な輸送の実現

### 【地域へのメリット】

#### ●地域のサービス向上・活性化

→自治体・関係施設との連携によるサービス向上と地域経済の活性化

●バス IC カードの普及率が 90%では、導入前に比べ停車時間が 30%短縮する

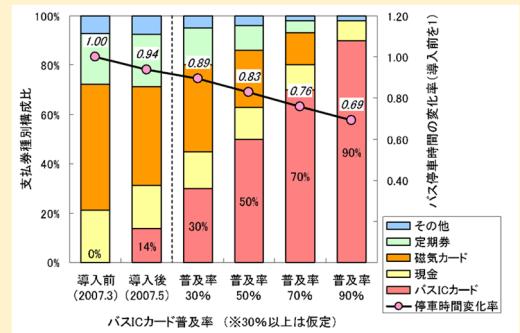


図 バス IC カードの普及率とバス停車時間の関係

出典：矢部努、中村文彦：バス IC カードの導入による効果計測に関する研究、土木計画学研究・講演集、vol. 38、2008



【出典】福島交通株式会社

## 地域連携 IC カード

### 地域連携 IC カードとは

地域のバス事業者が運行するバスの定期券や各種割引などの地域独自サービスの機能に加えて、Suica エリア及び Suica と相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどの Suica サービスが1枚で利用可能な 2in1 カードである

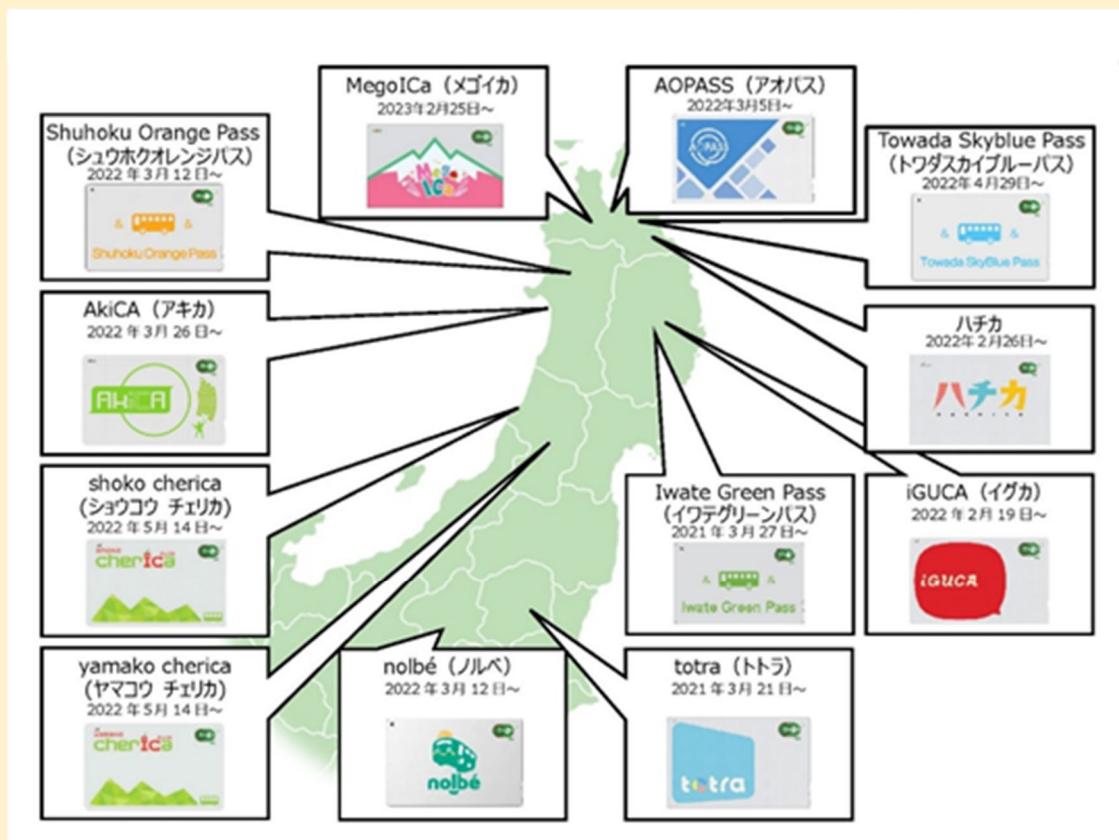
- 「新幹線 e チケット」「タッチで Go!新幹線」のご利用や、「JRE POINT」の登録など、Suica の各種機能をご利用いただけます。
- IC 、 Suica マークのあるお店で電子マネーとしてご利用いただけるほか、 IC 、 Suica マークのあるコンビニエンスストア、セブン銀行 ATM などでチャージができます。

※地域連携 IC カードを導入したバスでは、 Suica や Suica と相互利用可能な交通系 IC カードでもご乗車いただけます。



### 地域連携 IC カードのサービス開始エリア

2022年までに開始した地域連携ICカード



※「Suica」は、JR東日本(株)の登録商標である。

【出典】東日本旅客鉄道株式会社

### **施策3 地域公共交通の維持・確保**

#### **●実施主体**

福島県避難地域広域公共交通検討協議会

#### **●事業内容**

福島県避難地域広域公共交通検討協議会の構成員は、互いの立場を尊重しながら、避難地域12市町村における地域公共交通の将来への維持・確保に向けて連携して以下に取り組む。

#### **(1)域内公共交通の維持・確保**

地域の実情に即した生活交通の確保に取り組む。また、MaaSやAI等の新技術を活用した新たな移動手段の実証運行に取り組むとともに、成功事例の水平展開を図る。

#### **(2)広域公共交通と域内公共交通の乗り継ぎ環境の改善**

ダイヤの見直し等による、鉄道、広域路線バスなどの広域公共交通と、市町村内を運行する域内公共交通の乗り継ぎ環境の向上に継続的に取り組む。

#### **(3)地域住民に公共交通の利用促進を働き掛けるためのイベントの企画、インセンティブの検討・充実**

自動車での移動から環境に優しい移動手段である公共交通への転換を図るため、イベントの企画、インセンティブの検討及び展開により、地域住民に公共交通の利用を促す。

#### **(4)避難地域12市町村を運行する公共交通ネットワークの周知**

本計画に基づく広域路線バスを始め、鉄道や域内公共交通の乗降場所、運賃、運行ダイヤ等を分かりやすく周知するため、ホームページ、スマートフォンサイト等を活用した情報提供の仕組みを検討する。

#### **(5)路線バスやタクシーの人材確保**

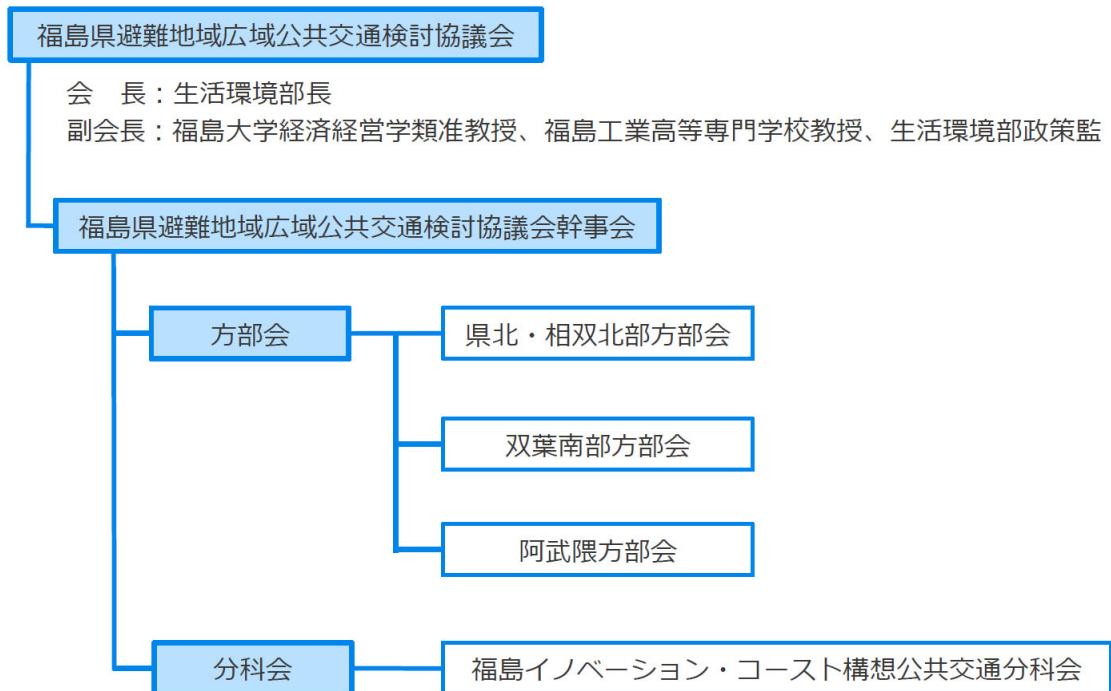
路線バスやタクシーなどの地域公共交通を支える人材の確保・育成に取り組む。

## 第6章 計画の推進体制

### 6-1 推進体制

本計画の推進及び進捗管理は、福島県避難地域広域公共交通検討協議会が行う。

#### ●実施体制のイメージ図



福島県避難地域広域公共交通検討協議会  
(令和4年度第2回協議会 (12月27日開催)より)

## 6-2 関係する主体と役割

計画の推進に当たっては、交通政策基本法(平成25年法律第92号)第6条(連携等による施策の推進)の規定に基づき、各主体が連携し、一体となって、計画目標の達成に向けて取り組む必要がある。

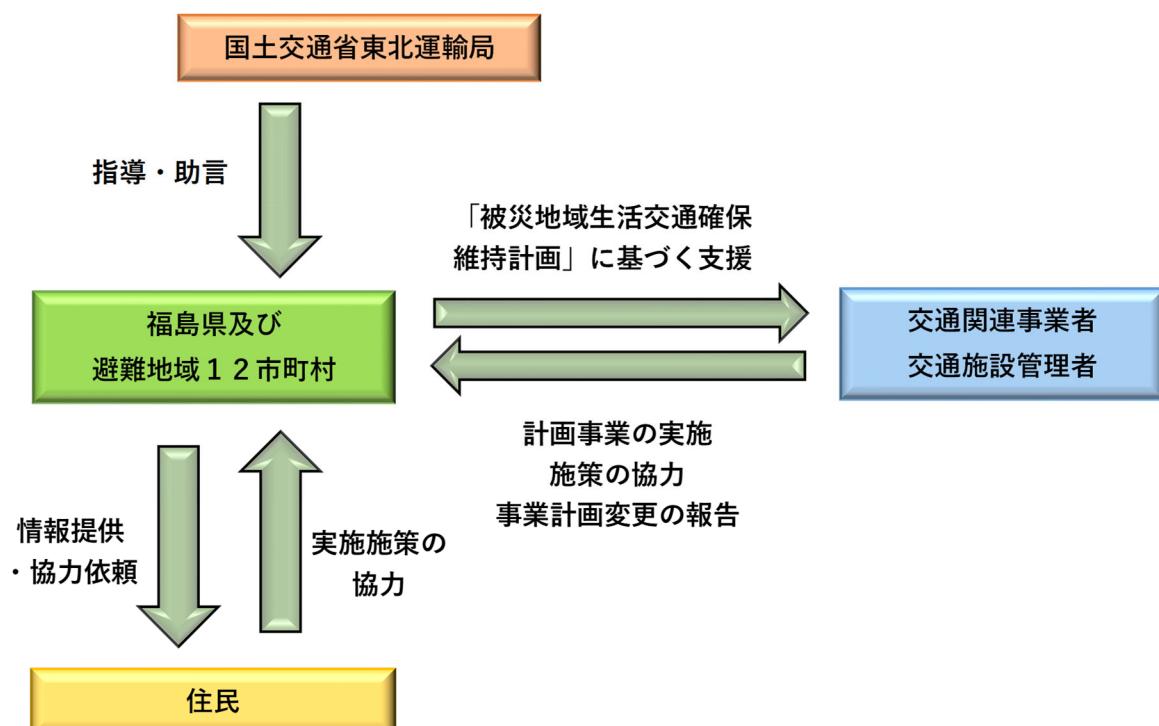
### 交通政策基本法

(連携等による施策の推進)

第6条 交通に関する施策の推進は、まちづくり、観光立国の実現その他の観点を踏まえ、

当該施策相互間の連携及びこれと関連する施策との連携を図りながら、国、地方公共団体、運輸事業その他交通に関する事業を行う者(以下「交通関連事業者」という。)、交通施設の管理を行う者(以下「交通施設管理者」という。)、住民その他の関係者が連携し、及び協働しつつ、行われなければならない。

### ●計画の推進のための主体と役割



## ●国土交通省東北運輸局

計画の推進について、指導・助言を行う。

(国の責務)

第8条 国は、第2条から第6条までに定める交通に関する施策についての基本理念(以下単に「基本理念」という。)にのっとり、交通に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

2 国は、情報の提供その他の活動を通じて、基本理念に関する国民等の理解を深め、かつ、その協力を得るよう努めなければならない。

## ●福島県及び避難地域12市町村

計画の推進に当たり、情報の提供その他の活動を通じて、住民その他の者の理解を深め、かつ、その協力を得るよう努める。

なお、県は、交通事業者が本計画に定めるとおり事業を行う場合は、交通事業者に対し、毎年度、県(福島県生活交通対策協議会)が国土交通省に提出する「被災地域生活交通確保維持計画」に基づく支援を行うものとする。

(地方公共団体の責務)

第9条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、交通に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的・社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

2 地方公共団体は、情報の提供その他の活動を通じて、基本理念に関する住民その他の者の理解を深め、かつ、その協力を得るよう努めなければならない。

## ●交通関連事業者及び交通施設管理者

計画に定める事業を適切に行うよう努めるとともに、地方自治体が実施する本計画に基づく施策に協力するよう努める。

なお、交通関連事業者は、本計画に定める事業実施に当たり、運行本数、運行時間帯等の変更を行う場合は、事前に県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会に対し報告を行うものとする。

(交通関連事業者及び交通施設管理者の責務)

第10条 交通関連事業者及び交通施設管理者は、基本理念の実現に重要な役割を有していることに鑑み、その業務を適切に行うよう努めるとともに、国又は地方公共団体が実施する交通に関する施策に協力するよう努めるものとする。

2 前項に定めるもののほか、交通関連事業者及び交通施設管理者は、基本理念にのっとり、その業務を行うに当たっては、当該業務に係る正確かつ適切な情報の提供に努めるものとする。

## ●住民

計画の基本理念についての理解を深め、地方自治体が実施する施策に協力するよう努める。

(国民等の役割)

第11条 国民等は、基本理念についての理解を深め、その実現に向けて自ら取り組むことができる活動に主体的に取り組むよう努めるとともに、国又は地方公共団体が実施する交通に関する施策に協力するよう努めることによって、基本理念の実現に積極的な役割を果たすものとする。

### 6-3 計画の評価方法

本計画は、第4章で設定した目標及びその達成状況を見ながら、進捗状況を管理するものとする。

福島県避難地域広域公共交通検討協議会において、毎年度の達成状況を評価し、評価結果は公表する。

目標値未達成の場合は、その原因を分析し、適宜事業内容の見直しを行う。

計画2年目時点で「被災地特例」終了後の制度要件を見据え、中間評価及び目標の見直し、必要に応じ計画の一部改定を行う。

計画4年目時点には最終評価を行い、次期計画策定に向けた検討を行う。

#### <計画推進のPDCA>

	令和5年度 R5.4 R5.10	令和6年度 R6.4 R6.10	令和7年度 R7.4 R7.10	令和8年度 R8.4 R8.10	令和9年度 R9.4 R9.10
事業の実施	→	→	→	→	→
中間評価		→			
最終評価				→	

#### <本計画に基づく広域路線バスの運行>

	令和5年度 R5.4 R5.10	令和6年度 R6.4 R6.10	令和7年度 R7.4 R7.10	令和8年度 R8.4 R8.10	令和9年度 R9.4 R9.10
5年事業年度	→				
6年事業年度		→			
7年事業年度			→		
8年事業年度				→	

※ 令和8年事業年度以降(令和7年10月～)の広域路線バスの運行については、令和6年度中に、「被災地特例」終了後の制度要件を踏まえ検討を行う。

## 福島県避難地域広域公共交通検討協議会規約

### (目的)

第1条 福島県避難地域広域公共交通検討協議会(以下「協議会」という。)は、避難地域12市町村において住民が日常生活を送るために必要な地域公共交通ネットワークを構築するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法第59号。以下「法」という。)第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画(令和2年11月の改正法施行前に策定された地域公共交通網形成計画を含む。以下「計画」という。)を策定する。

### (事務所)

第2条 協議会は、事務所を次のところに置く。  
福島県生活環境部生活交通課内

### (事業)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の業務を行う。  
(1)計画の策定及び変更に関すること。  
(2)計画に位置付けられた事業の実施に関すること。  
(3)地域の実情を踏まえた先行的・部分的な運行に関すること。  
(4)前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要なこと。

### (組織)

第4条 協議会は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

### (会長及び副会長)

第5条 会長は福島県生活環境部長とし、副会長は会長の任命による。  
2 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。  
3 副会長は、会長を補佐して協議会の業務を掌理し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。この場合、副会長が複数いるときは、会長があらかじめ指名した順序で、その職務を代理する。

### (協議会の委員)

第6条 協議会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

### (会議)

第7条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長が議長となる。  
2 会議の議決方法は原則として全会一致とするが、成立しない場合は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。  
3 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じる協議については、非公開で行うものとする。  
4 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。  
5 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

#### (協議結果の尊重義務)

第8条 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

#### (幹事会)

第9条 協議会に提案する事項について、具体的な協議又は調整をするため、協議会に幹事会を設置する。幹事会には座長、副座長を設置する。

#### (方部会)

第10条 協議会に提案する事項について、部分的に協議又は調整をするため、必要に応じて幹事会の下に方部会を設置する。

#### (分科会)

第11条 第3条各号に掲げる業務について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じ幹事会の下に分科会を設置することができる。

#### (事務局)

第12条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 事務局は、福島県生活環境部生活交通課に置く。
- 3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。
- 4 事務局は、協議会の庶務を行う。

#### (委任)

第13条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

##### 附 則

この規約は、平成28年5月24日から施行する。

##### 附 則

この規約は、平成28年9月5日から施行する。

##### 附 則

この規約は、令和4年7月21日から施行する。

## 別表

- ・福島県 生活環境部長
- ・福島県 生活環境部政策監
- ・計画を作成しようとする地方公共団体の副市町村長(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村)
- ・東日本旅客鉄道株式会社 東北本部福島支店長
- ・東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社総務部企画室長
- ・新常磐交通株式会社 代表取締役社長
- ・福島交通株式会社 代表取締役社長
- ・東北アクセス株式会社 代表取締役社長
- ・ジェイアールバス東北株式会社 福島支店長
- ・公益社団法人福島県バス協会会長
- ・一般社団法人福島県タクシー協会会長
- ・国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所長
- ・福島県 土木部道路計画課長
- ・福島県警察 交通企画課長
- ・国立大学法人福島大学 経済経営学類准教授(地域経済論)
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構福島工業高等専門学校 教授(都市経済学)
- ・福島県PTA連合会会長
- ・福島県社会福祉協議会会長
- ・福島県老人クラブ連合会会長
- ・日本労働組合総連合会福島県連合会会長
- ・国土交通省東北運輸局 福島運輸支局長
- ・復興庁福島復興局次長
- ・東日本高速道路株式会社東北支社 いわき管理事務所長
- ・福島市 都市政策部交通政策課長
- ・郡山市 建設交通部総合交通政策課長
- ・いわき市 都市建設部都市計画課総合交通対策担当課長
- ・相馬市 企画政策課長
- ・双葉地方町村会事務局長
- ・公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島オフィス交流促進部長
- ・福島県 企画調整部企画調整課長
- ・福島県 企画調整部福島イノベーション・コースト構想推進課長
- ・福島県 避難地域復興局避難地域復興課長
- ・福島県 商工労働部商工総務課長
- ・福島県 保健福祉部保健福祉総務課長
- ・福島県 観光交流局観光交流課長
- ・福島県 土木部土木企画課長
- ・福島県 教育庁教育総務課長
- ・福島県 病院局病院経営課長
- ・福島県 相双地方振興局長
- ・その他会長が必要と認める者